THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS
JAPAN EAST REGION
2020-2021
BULLETIN

国際会長主題　「価値観、エクステンション、リーダーシップ」
スローガン　「命の川を信じよう」
アジア太平洋地域会長主題　「変化をもたらそう」
スローガン　「奮い立たせよう」

2021.10.1 発行　第 2 号通巻 65 号

主題「変化をたのしもう！」　Let's enjoy "Changes"

副題「助け合い、分かち合い」"Let's help and share each other."

東日本区理事　板村 哲也（東京武蔵野多摩）

最初から最後までコロナ漬けで、異例ずくめの 1 年間でしたが、この難局を乗り越えられましたのは、ワイズメンズクラブ国際協会や、アジア太平洋地域のご指導、ご支援、また、ワイズと YMCA の諸先輩のご指導、ご支援、さらに区の役員、監事、各委員会の委員、クラブ会長・会員の皆さま、キャビネットの皆さまおよび区事務所のお働きとご協力があってのことで、深く感謝申し上げます。誠にありがとうございました。

この 1 年を通して、厳しい環境に直面しても動揺せずそれを切り抜ける術を身に付けているワイズの人生経験の豊かさや、危機をはね返し、自分に有利なものにする人間のしたたかさ、頼もしさといったものを感じました。また組織も個人も自己ではなかなか進められない改革が環境の変化、外圧により急速に進むことを実感しました。

また、コロナで苦しむのは社会の全員であり、全員がお互いに助け合い、分かち合わねば生きていけないという、極めて単純でかつ人間として根本的なことを、改めて認識しました。一方で、この 1 年間に私たちがコロナの下で得たスキル、ノウハウはコロナ終息後も間違いなくワイズの発展に役立つものと確信しました。

残念ながら、区の最大の課題である会員増強が大幅未達で期を終えることになりました。私たちは引き続き、コロナを乗り越えるということと、組織の強化、会員増強という難題に取り組んでいかねばなりません。次年度は自分が出来なかったことも含め、大久保理事の重点課題と目標が達成されるよう、トロイカの一員として尽力してまいります。

皆さまと共に歩みました、1 年間の活動の要約を下記の通りご報告をさせていただきます。

活動結果要約

・コロナ禍
国内/地域/国際の対面活動の大幅減少、リモート/ハイブリッドの会議/例会/研修/行事の浸透、
国内/地域/国際会議の大幅増加（Zoom）、工夫した活動、書類のデータ化浸透、区事務所一時閉鎖(3 回)、
新しいスキルとノウハウの獲得、Zoom のメリット享受、一方で Zoom 利用格差の拡大
・クラブ、会員
会員数(6 月末現在）813 名（目標比△167 名）、新クラブ誕生(1)、IBC(1)、DBC(1)
・中期事業
Change! 2022 プロジェクト（継続）、東日本区の一般社団法人化（2021.7.1 設立登記）、
ワイズ国際協会 100 周年/東西日本区 25 周年記念行事（取組開始）
・今期行事
YVLF 中止、研修会（2 回）、東日本大震災 10 年行事、第 24 回東日本区大会
・決算（6 月末、単位：万円）
前期区費を徴収せず、経費減少
収入 821、支出 1,340、収支残△519。前期繰越金 1,110、今期繰越金 591

Ⅰ．基本方針

(1) 変化（変わっている、変わろう、変えよう）
環境は常に変化している。会員数の減少に潜む問題の本質を捉え、まず自分（個人/Y's）が変わり、次に周りを変えよう。

(2) 助け合い、分かち合い
相手を思いやる心は 10 万年前にヒトが人間になれた理由。現在の人類がＤＮＡとして持つ。ワイズの基本。この心を忘れない。

(3) みんなちがって、みんないい
ちがい、多様性を認め合い、お互いに尊重し合い、共存。

Ⅱ．取り組むべき課題

(1) EMC：Change! 2022 推進（Y's の質、量の変化）。充実した奉仕活動のために。
(2) 組織の在り方の検討（法人化の検討）
(3) 外部への広報活動
（SNS の活用、会員一人一人が広報マン）
(4) 活動のベクトル(力の大きさと方向)の変更。
内向き(仲間向き)から外向き(世間向き)へ。
(5) 世代交代、後継者育成
(6) YMCA との関係強化（ｲｺｰﾙﾊﾟｰﾄﾅｰとして）
(7) 国際・アジア太平洋地域への関与

Ⅲ．達成目標

2020～2021 年度　東日本区達成目標		
担当	事業	目標
ｷｬﾋﾞﾈｯﾄ	PWALP	800 円／人以上
地域奉仕	CS	1,250 円／人以上
	ASF	500 円／人以上
	FF	500 円／人以上
国際・交流	BF	2,000 円／人以上
	TOF	1,300 円／人以上
	EF	記念献金
	RBM	800 円／人以上
	YES	500 円／人以上
	IBC	7 クラブ締結
	DBC	2 クラブ
会員増強	新クラブ設立（E）	5 クラブ
	会員増強（MC）	150 名
JEF（東日本区ワイズ基金）		500,000 円
LT（ﾘｰﾀﾞｰｼｯﾌﾟﾄﾚｰﾆﾝｸﾞ）	次期部長・次期事業主任研修会	
	次期クラブ会長・部役員研修会	
	各部における部内研修(適宜)	
区報		2 回発行

Ⅳ．クラブ・会員の現状

今年度会員増強目標：150 名（注）
算出根拠：2022 年 12 月末の目標人数 1246 人、目標設定時(2020 年 2 月)人数 875 人
今年度の増員目標人数：(1,246 人－875 人)÷2.5 年＝148.4 人/年 → 150 人/年

2019 年 7 月 1 日		2020 年 7 月 1 日		2021 年 1 月 1 日		2021 年 6 月 30 日	
会員数	クラブ数	会員数	クラブ数	会員数	クラブ数	会員数	クラブ数
849	61	**830**	60	838	61	**813**	60
▲11	2	▲45	▲1	8	1	▲25	▲1

2020 年 7 月 1 日～2021 年 6 月 30 日の動静：会員増 56 名、会員減 73 名（休会 24、解散 12、逝去 13、転出 3)。

Ⅴ．活動結果

1．区運営

(1) 体制
・キャビネットに多くのクラブから
・女性の活躍、元理事、若手の起用
・新事務所長（直前事務所長がサポート）
・区事務所一時閉鎖（3 回）

(2) 運営
・年度：コロナ感染期間中に始まりコロナ感染期間中に終わるコロナ漬けの 1 年
・強調月間変更
・区で Zoom アカウント契約（2 アカウント）
・Zoom によるリモート会議、行事
・会議等の書類のデータ化浸透

・前期区費支払免除
・年度予算修正
・富士クラブから区に 100 万円寄付（8 月）
「樫村メモリアルプロジェクト」として運用
・会計規則およびシステム検討
・一般社団法人化の推進・実施
・区ウェブサイトの更新検討開始

２．クラブ異動

(1) 解散
・東京山手クラブ（設立 1953 年 9 月）解散
2020 年 6 月。
・沖縄クラブ解散予定（届：2021 年 5 月 19 日）
(2) 新クラブ
・千葉ウエストクラブ
設立総会（7/18)、チャーターナイト（10/3）
会員 8 名
・下記の地域に新クラブ設立の動き
牛久、新宿、甲府、文京区、沖縄、静岡
(3) IBC
・甲府 21/豪州アデレード（11/14 締結 Zoom ハイブリッド）
(4) DBC
・石巻広域/神戸ポート/東京むかでのトライアングル（6/6 締結）
(5) 湘南・沖縄部
・沖縄クラブの解散（第 4 回役員会で承認）
・沖縄那覇クラブに解散の意向あり

３．中期取組事業

(1) 会員増強運動
①Change! 2022 事業（継続）
・2022 年をゴールとする中期会員増強運動の開始､2022 年末までに会員数 1,246 名またはそれ以上を目標。(2018.11.10)
・Change! 2022 特別委員会設置（2019.07.06）
今年度中も毎月委員会開催、毎月ニュースレターを発行。クラブ FB を開設、アクションプランⅡを策定。区の広報手段の導入(QR コードと説明動画)/ウェブサイト（HP）の更新開始
②EMC 事業委員会を拡大 EMC 事業委員会としメンバーを拡大、2 か月に 1 度開催。
(2) 東日本区の法人化
・2018-2019 年度に法人化の再検討開始。
・文献・組織検討委員会から理事に答申あり
（2020.10.19）
・第 2 回役員会で法人化準備委員会を設置。
・委員会から理事に一般社団法人化の答申あり
（3/20）
・第 3 回役員会(4/10)で一般社団法人化とその定款を承認
・年次代議員会(6/12)で承認
・定款認証（6/16 於：新宿公証役場）
・東京法務局に設立登記（2021.7.1）
・法人化準備委員会解散（2021.7.7）
(3) ワイズ国際協会 100 周年/東西日本区 25 周年記念行事
・東西交流実行委員会（注：東西合同）発足（1/11）
・委員長：古田西日本区理事
・開催：2023 年 2 月 4 日～5 日（於：ANA クラウンプラザホテル新神戸）
(4) アジア太平洋地域のワイズ 100 周年行事
ソング･フェスト､食べ物と伝統のコンテスト、環境事業

４．行事

(1)諸会議（開催方法は全て Zoom）
①常任役員会
6/26、7/29、10/25、12/4、1/28、2/25、3/26、4/27、5/31、6/28（次年度第 1 回）
②役員会
・第 1 回役員会（7/11）
・臨時役員会（8/18）
・第 2 回役員会（11/7）
・第 3 回役員会（4/10）
・第 4 回役員会（6/11）
③代議員会
・臨時代議員会（8/29）
・年次代議員会（6/12）
④東西理事連絡会議
10/11、4/29
⑤東西交流会実行委員会
1/11、2/7、3/14、4/26、5 /24
⑥YMCA/Y's パートナーシップ委員会

9/1、12/10、3/18、5/18
⑦法人化準備委員会
11/20、12/18、1/15、2/19、3/19
⑧文献・組織検討委員会
7/20、9/29、10/12、10/27、12/14、2/15、3/17、5/25、6/21
⑨LT 委員会
8/14、10/16、1/22、2/26、4/16、6/30
⑩CS・Y サ事業委員会
9/25
⑪EMC 事業委員会
8/19、10/21、12/2、2/3、4/7、6/2
⑫Change! 2022 推進委員会
7/1、8/5、9/9、10/7、11/4、12/6、1/8、2/5、3/5、4/2、5/7、6/4
⑬国際・交流事業委員会
9/20、5/9
⑭ユース事業委員会
8/6、3/23、4/18、5/8
⑮奈良傳賞選考委員会
5/20
⑯表彰会議
5/31
⑰ワイズメネット委員会
なし
⑱東日本大震災支援対策本部会議
1/24
⑲東西日本区合同・翻訳/通訳業務打ち合わせ
3/23
⑳JEF（東日本区ワイズ基金）委員会
6/17
(2)YVLF（9/11-13）
中止
(3)部大会
・実施（関東東部 10/3、東新部 10/10、あずさ部 10/17、富士山部 9/26、湘南・沖縄部 10/3）
・中止（北海道部、北東部）
(4) YMCA
・STEPⅡ出講　10/26（Zoom）
・第 10 回日本 YMCA 同盟協議会（6/19）
(5)次期部長・事業主任研修会
10/31（Zoom）出席：25 名
(6)次期会長・部役員研修会
3/6 （Zoom） 出席：78 名
(7) 東日本大震災 10 年行事
①3.11 記念礼拝と追悼の集い
3/11（於石巻、ハイブリッド）
②献金
3/11（於石巻、ハイブリッド）
区より 50 万円、有志（1 部、11 クラブ、個人 30 名）80 万円、合計 130 万円
③東日本大震災 10 年誌発行（制作中）
(8) 第 24 回東日本区大会
・日時：6 月 12 日(土) 13:30～16:30
・場所：常盤ホテル（甲府）
・方式：ハイブリッド
・ホストクラブ：甲府 21
・登録費：なし
・総支出：1.510,331 円（区一般会計より支出）

５．決算（6 月末、単位：万円）

（詳細は会計報告参照）

収入	821
支出	1,340
当期剰余金	△519
前期繰越金	1,110
次期繰越金	591

６．各種献金、募金

・礼拝献金
なし
・事業別献金
詳細：別資料参照
・3.11 献金
計 130 万円（前述）
・インド新型コロナウイルス緊急アピール
計 5,000 スイスフラン（8 クラブ、個人 10 名、樫村メモリアルプロジェクト）

７．JEF（東日本区ワイズ基金）

・7/1～6/30 献金：604,263 円
・期末残高：13,100,476 円

８．新設、改正された規約等

・Change! 2022 推進委員会規則（11/7）
・新クラブ設立支援金規則（11/7）
・東日本区法人化準備委員会規則（11/7）
・東日本区定款施行細則（4/10）
・経理規程（2021.7.10）
・金銭出納管理規則（2021.7.10）
・決裁権限表（2021.7.10）

9．広報
・区報第 1 号発行（7 月）
・理事通信発行　13 回（毎月 1 日および 6/30）
・区報第 2 号発行（2021 年 10 月予定）
・クラブ FB の導入
・QR コードの導入検討
・区ウェブサイト（HP）の更新検討開始

10. 人事（敬称略）
・事務所長　小林隆
・次々期理事　佐藤重良（甲府 21 クラブ）
・区ユース代表（RYR）石井悠紀子
・次期の次々期理事　山田公平（承認）
・2021-2023 年度監事　田中博之（承認）

11. 東西日本区合同事業
・東西日本区合同・翻訳/通訳業務チーム（発展）
・ワイズ･YMCA パートナーシップ委員会(継続)
・ワイズ国際協会 100 周年/東西日本区 25 周年記念行事検討開始（新規）

12. 表彰
詳細：別資料参照

13. 国際
・第 18 回 IYC/第 74 回国際大会（8 月@デンマーク ）中止
・国際会議（ICM20）(8/8-10 Zoom)
・BF 代表来日（東日本区）延期
・国際議員推薦（10 月 9 日締め切り）なし
・第 30 回アジア太平洋地域大会ホスト立候補（11 月 30 日締め切り）　なし
・国際選挙（1/29　オンライン）投票率 90.5%
・RDE サミット（5/29-30）
・100 周年記念国際大会（2022 年 8 月於ハワイ）中止。

14. アジア太平洋地域
(1) 会議・研修（全て Zoom）
・地域議会（8/15-16）
・理事・次期理事会議（11/6）
・地域事業主任会議（11/21）
・地域第一四半期議会（12/5）
・次期理事研修会（1/16）
・地域年央議会（2/28）
・地域リーダー育成プログラム（11/28）
・次期理事トレーニング（1/16）
・GOLD（9/27）
・The Bolts and Nuts of Extension & Membership Conservation（EMC の要点）（3/13）
・Review Meeting（5/16）
・次期理事・部長・事業主任研修会（5/22）
・地域憲法改正説明会（6/13）
・最終地域議会（6/26）
(2) その他
・地域ブリテン No.3 に東日本区特集掲載(12 月)
・ワイズ国際協会 100 年記念東日本区資料提供

15. 監査
・中間：4/8（ハイブリッド）
・期末：7/7（ハイブリッド）

Ⅵ. 今後の課題
・会員増強（特に若い人）
・後継者（若手）育成
・繋がり
・グローカルクラブ
・区ウェブサイトの更新
・会計システム
・Zoom 活用の推進、格差の是正
・組織の再検討
・定款等の再検討
・文書管理規程
・東日本区事務所運営規則
・事務所のリモート運営　以上

2020-2021 Japan East Region Activity Report

Theme: “Let’s enjoy Changes.”

Slogan: “Let’s help and share each other.”

Tetsuya Itamura

Regional Director (Home Club: Tokyo-Musashinotama)

I would like to express my deepest gratitude to the Y's Men' International and the Asia Pacific Area for their guidance and support, to the senior members of Y's movement and YMCA for their guidance and support, and the Regional officers, auditors, committee members, club presidents, and members, cabinet members, and the Regional Office for their hard work and cooperation.

Throughout this year, I have felt and realized the following:

- The richness of life experience of Y's members who have learned how to get through challenging situations without getting upset
- Toughness and dependability of human beings who can bounce back from crises and turn them to their advantage.
- Changes in the environment and external pressures can lead to rapid progress in reforms that organizations and individuals cannot easily carry out independently
- It is everyone in society who suffers from the Corona. We cannot survive unless we all help and share, which is extremely simple and fundamental for human beings.
- New skills and know-how we gained under the Corona pandemic will definitely help develop Y's movement even after the Corona.

I regret to say that we ended the term with a significant shortfall in membership growth, the biggest challenge for the Region. We must continue to tackle the difficult task of overcoming Corona, strengthening our organization, and increasing membership. As a member of the Troika, I will do my best to ensure that the key issues and goals set by RD Okubo are achieved.

Summary of Activities

Under the Corona pandemic

Significant decrease in national/regional/international face-to-face activities, Penetration of remote/hybrid meetings/ /trainings/events, Significant increase in national/regional/ international meetings (Zoom), Creative activities, Digitalization of documents, temporary closure of the Regional Office (3 times), Acquisition of new skills and know-how, Enjoyment of the benefits of Zoom, On the other hand, widening of the gap in the use of Zoom

Club and membership

Membership (as of the end of June): 813 (167 less than target), New club (1), IBC (1), DBC (1)

Medium-term projects

Change! 2022 Project (continued), Incorporation of Japan East Region as a General Incorporated Association (July 1, 2021), Start of an initiative of commemorative events for the 100th anniversary of YMI and the 25th anniversary of Japan East and Japan West Regions.

Main events of this term

Youth Volunteer Leaders Forum cancelled, Workshops (2 times), the 10-year commemorative event for the Great East Japan Earthquake, the 24th Regional Convention.

Financial results (end of June, unit: 10,000 yen)

No collection of Regional dues in the first semester, Expenses decreased,
Income: 821, Expenses: 1,340, Balance: -519, Carry-over from previous year: 1,110, Carry-over from current year: 591

年度後半の次期理事の役割

次期理事
大久保　知宏（宇都宮）

本年度、次期理事を務めました大久保です。年度の後半での次期理事の役割は、板村理事、山田直前理事とのトロイカ体制から、板村理事、佐藤次々期理事とのトロイカ体制への移行ということが加わってきます。1 月からは現体制での常任役員会での役割と、毎月の次期キャビネット準備会を開催してあいまいだった次期の目標を明確にする役割を並行して行うこととなり、なかなか大変な作業となりました。各会議体の皆さんのご協力をいただきました。ありがとうございました。また、委員として参加した法人化準備委員会では、本委員会に加えて長時間の事務局会議が行われ、役員会、代議員会議案とすることができました。代議員会では、多くの意見が出され、反対票が投じられる議案となりました。この代議員会での議論を糧として、一般社団法人としても運営をしっかりと行い、各クラブの活動にとってプラスとなるよう取り組んでいきたいと思います。

直前理事を終えて

直前理事
山田　敏明（十勝）

板村哲也理事の下、1 年間直前理事として奉仕させて頂きました。

コロナ禍の中、行動の制限はありましたが、板村理事は果敢にそして前向きに東日本区運営に努力されましたことは、高く評価できる活動内容でした。私は、特別なサポートは出来ませんでしたが、区役員候補者指名委員長として、次期の次々期理事を山田公平ワイズ（宇都宮クラブ）に受諾していただき、感無量です。

今後は、十勝クラブの会員増強を中心に、活動を原点から始めます。

東日本区の益々の発展を祈念し、微力ながらワイズメンとしての自覚をもって行動してまいります。

ありがとうございました。

書記の仕事を終えて

書記
小山　久恵（東京サンライズ）

年度初めに、お役に立てるかは自信がないが、猫の手ぐらいにはなれるよう努力するというようなことを書きましたが、猫の手にすらなれなかったなと反省しています。至らぬところを理事、副書記始め、キャビネットの皆さまにいつも助けていただきました。また、多くの方々から励ましのお言葉をいただき元気づけられました。曲りなりにもお役を全うできたことに感謝申し上げます。

今年度は、実際に顔を合わせて話すということがほとんどありませんでした。会合の後、ちょっと寄って一杯ということもできませんでした。役員の皆さま、委員会の皆さまと親しくなれなかったことが残念です。反対にズームでの会議が増え、週に 4 回なんてこともありました。わざわざ出かけなくともよく、レコーディングができるのは大きな利点でした。

ワイズを変えよう、変えなければと、今まで言われてきましたが、ここでかなり変わりました。次の年度の皆さまが、どう変えてくださるか楽しみです。

理事のサポート役として

広報・伝達専任委員　兼　副書記
渡辺　大輔（東京武蔵野多摩）

副書記として、理事、書記のサポートができればと、毎月の理事通信の編集、区報の編集などを担当させていただきました。初めてのことばかりで、うまくできたかはわかりませんが、発行物を年間を通して遅滞なく発行できてよかったです。

広報・伝達専任委員としては、区の Zoom ア

カウントの管理や、いろいろな会にて Zoom のサポートをさせていただきました。区などの Facebook ページの管理、発行物の区の HP への掲載などをさせていただきました。今年度は、いろいろとリモートを用いた会合がたくさんありましたので、個人的にも勉強になりました。

今後も、リモート会議の方法や、Facebook ページの使い方のわからない方はお問い合わせください。

一年間、大変お世話になりありがとうございました。

会計の任を終えて

会計

利根川　恵子（川越）

区の会計の任務としては、「区の運営について理事を補佐するとともに、区の財務全般について統括する」となっています。補佐となったかどうかはわかりませんが、区役員として、常任役員会、区役員会、代議員会、区大会とかかわってまいりました。

しかし、今年度はコロナ禍で区事務所が閉鎖され、会計の実務については小林事務所長にお任せするかたちとなりました。この場を拝借し、お礼を申し上げます。

ただし、会計の大きな任務である会計報告の最終決算報告書がまだ代議員会で承認されておりませんので、承認されるまで気を抜かずに任務を果たしたいと思います。

一点だけ申し添えたいのは、東日本区文献・組織検討委員会の委員を兼務した関係で、「東日本区経理規程」「金銭出納管理規則」を関係者のご尽力を得て策定することができました。今後、東日本区が一般社団法人となったことからも、変化に対応する会計システムの構築が必要となります。上記 2 つの規程、規則に加えて、新しい会計システムの導入により、後に続く会計の方の便宜が図れれば幸いです。

一年間、たいへんお世話になりました。ありがとうございました。

副会計の任を終えて

副会計

吉田　公代（川越）

区の副会計の任務は、会計の補佐をすることで、この任務を全うできたかどうか疑問が残りますが、オブザーバー参加として、召集された Zoom ミーティングには、出来る限り出席し、気迫ある討議を見ることが出来き、圧倒されました。

一年間お疲れ様でした。ありがとうございました。

東日本区事務所報告

東日本区事務所所長

小林　隆（沼津）

コロナで開けコロナが拡大した一年間でした。2020 年 12 月 3 日からの緊急事態宣言により事務所が閉鎖され 2021 年 3 月 21 日まで続きました。事務所が開所されたと思いきや、4 月 25 日緊急事態宣言の発令となり、事務所は 6 月 25 日まで閉鎖されました。

結局、事務所は約半年の開所で、リモートワークが主体となり、流行先端の事務所に変革しました。このような中で、小山前所長に助けられ、何とか一年間を終えることができました。ありがとうございました。

各クラブの皆さまには、痒い所に手が届くようなことができませんでしたがご容赦願います。今後の 2021-22 年度は、事務所としては、一般社団法人への対応もあり、少し忙しくなりますので、これからも宜しくお願いいたします。

2020～2021「コロナ禍の EMC」

会員増強事業主任
伊藤幾夫(東京多摩みなみ)

1 1 年間の活動方針の振り返り
今期の活動主題は
「Change!2022 の実現を目指して＝具体的な行動の 1 年」としました。
①この 1 年、各クラブが 1～2 名の純増
②この 1 年、各部が 1 つ以上の新クラブ設立
③この 1 年、各クラブが魅力を外部に発信
④この 1 年、各部がエクステンション委員会を継続的に開催

2 コロナ禍、厳しい会員増強
この 1 年、コロナ禍の中にあって、各クラブの会員増強は厳しい状況を強いられました。
2020 年 7 月前期半年報 830 名(同年 1 月後期半年報より 45 名減)のスタートでした。2021 年 1 月後期半年報は 838 名で、前期半年報と比べて＋8 名でした。全体的に厳しい状況でしたが、関東東部の千葉ウエストクラブ新設、あずさ部の甲府 21 クラブの 9 名入会、北東部の石巻広域クラブの 4 名入会など健闘も見られました。甲府 21 クラブ、石巻広域クラブに共通しているのは、クラブ活動の「活発化」と「見える化」があげられます。この 2 つの要素が会員増強に繋がっていると思われます。

3 例会実施状況調査（別紙一覧表）
コロナ禍は、クラブ活動の停滞ばかりでなく、例会開催にも大きな影響を与えていることが例会実施状況報告書から明らかになりました。
例会中止を余儀なくされたクラブも多数ある一方でオンライン（Zoom）を利用した例会、また、対面式とオンラインを併用したハイブリッド方式での例会など工夫をこらしているクラブも多く見られます。

4 偶数月に拡大 EMC 事業委員会を開催
コロナ禍で、私たちが獲得したものとして、オンライン（Zoom）での会議があります。この利点を生かして、2 か月に 1 度偶数月に拡大 EMC 事業委員会を開催しました。
各部の部長、エクステンション委員長、会員増強事業主査、Change! 2022 推進委員およびオブザーバーが出席して、各部の会員増強の様子や新クラブ設立の動きなどを情報交換しました。
また、各部での EMC セミナーなどの開催を要請しました。東新部は 2 月 20 日、関東東部 3 月 28 日にそれぞれオンラインで開催されました。各部でのエクステンション委員会の報告では、関東東部の牛久地域への新クラブ設立の動き、あずさ部甲府クラブの甲府駅北口方面での新クラブ準備など具体的な動きが報告されました。

5 「見える化」SNS 活用準備
Change! 2022 推進委員会は毎月開催していますが、2、3、4、5 月の委員会では、会員獲得のツールとして、ワイズ紹介名刺に QR コードを貼り付けて、FB（フェイスブック）を通して、各クラブの活動を見ることができるよう準備を進めています。また、東日本区の HP のリニューアル（現在の HP は会員向け仕様となっているので、外向け仕様のものも作成）も検討しています。
現在 30 以上のクラブで FB を活用して、外部へクラブ紹介を展開していますが、なかでも、石巻広域クラブは YouTube などを活用して発信しており、これからのワイズにとって参考になると思われます。

6 新クラブ設立の支援金について
新クラブ設立を支援するために、下記 2 つの支援金制度がありますので、活用してください。
①東日本区 YES 基金
設立総会時にスポンサークラブ（または部）に 10 万円支援
②Change! 2022 助成金
スポンサークラブ（または部）に 5 万円、新クラブに 5 万円支援

7 クラブ例会実施状況調査で見えてきたもの
年度末に例会実施状況一覧表をまとめることができました（別紙）。私たちがコロナ禍で得たものとして、オンラインシステム（Zoom）があげられます。試行錯誤を繰り返しながらもこの便利な機能を利用できるところまできました。
ところが約半数弱のクラブはオンラインを利用されていません。理由は様々あると思いますが、ICT（情報通信技術）格差が生じているとしたら、直ちに改善の必要性があります。「誰も取り残さない」は SDGs のコンセプトですが、ワイズにもあてはまると思います。次年度の課題として申し送りたいと思います。

2020.5-2021.4　東日本区各クラブ例会実施状況　一覧表

会員増強事業主任 伊藤幾夫 2021.5.23

○：通常(対面)例会　Z：Zoom（オンライン）　H：ハイブリッド(対面とオンライン併用)　×：中止(休会)

クラブ名	会員数 2020.7	会員数 2021.1	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	出席率 平均%
北海道部	46	46													
札　幌	8	8	○	○	○	○	○	○	○	○	○	H	H	H	80
北　見	11	11	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	82
十　勝	18	18	×	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	66
札幌北	9	9	×	×	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	84
北東部	132	136													
仙　台	13	13	○	○	○	○	○	×	○	○	○	×	○	×	61
前　橋	7	7	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	–
宇都宮	31	31	Z	Z	Z	Z	○	○	○	Z	Z	Z	Z	Z	39
仙台青葉城	14	14	×	Z	H	Z	H	×	×	×	×	×	H	×	61
足　利	1	3	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	–
会　津	5	5	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	93
宇都宮東	8	7	○	○	×	×	×	×	○	×	×	×	×	○	77
那　須	6	6	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	78
もりおか	14	13	×	○	○	×	×	○	○	×	×	○	×	○	51
仙台広瀬川	15	15	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	Z	64
石巻広域	18	22	×	○	H	H	H	H	H	H	H	H	H	H	56
関東東部	132	137													
東京江東	22	22	Z	H	Z	Z	H	H	H	Z	Z	Z	○	H	66
千　葉	14	11	×	○	○	○	○	○	○	○	×	H	H	H	73
東京グリーン	16	16	Z	○	○	Z	○	Z	○	Z	Z	Z	Z	Z	69
埼　玉	8	8	×	×	×	×	○	×	○	×	×	×	×	○	67
東京北	12	12	×	○	○	×	○	○	○	○	×	×	×	○	84
所　沢	11	11	×	Z	Z	H	H	H	H	H	H	H	H	H	60
東京ひがし	15	15	×	○	○	Z	H	H	H	Z	Z	Z	Z	Z	64
川　越	10	10	Z	○	H	H	H	○	H	H	H	H	H	○	86
茨城	9	9	Z	Z	Z	Z	Z	Z	Z	H	Z	Z	Z	Z	61
東京ベイサイド	15	15	Z	×	×	Z	×	H	×	×	×	Z	×	×	50
千葉ウエスト	–	8	ー	ー	ー	ー	ー	○	○	○	×	Z	○	H	100
東新部	88	89													
東　京	27	27	Z	Z	○	H	H	H	H	H	H	H	H	H	74
東京むかで	11	12	×	○	○	○	○	○	○	○	○	Z	Z	Z	88
東京世田谷	12	13	×	○	H	H	H	H	H	H	H	H	H	H	89
東京町田コスモス	8	8	Z	Z	×	Z	Z	Z	Z	Z	Z	Z	Z	Z	60
東京センテニアル	8	8	×	○	○	×	○	○	○	×	×	×	×	×	45
東京多摩みなみ	12	12	×	×	Z	Z	Z	Z	Z	Z	Z	Z	Z	Z	75
東京町田スマイリン	10	9	×	×	Z	Z	Z	Z	Z	Z	Z	Z	Z	Z	57
あずさ部	166	171													
甲　府	33	33	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	61
東京西	12	12	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	○	H	97
東京武蔵野多摩	11	11	×	○	×	Z	Z	Z	H	Z	Z	H	Z	Z	78
松　本	10	9	○	○	○	○	○	○	○	○	×	Z	○	○	67
東京サンライズ	19	19	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	64
甲府２１	38	43	×	○	○	○	○	○	○	×	×	H	H	○	82
東京八王子	13	13	×	○	○	○	○	H	H	○	○	Z	Z	○	80
東京たんぽぽ	9	9	×	○	○	×	○	○	○	○	×	○	○	×	68
富士五湖	11	11	Z	H	H	○	H	H	○	H	Z	H	H	H	87
長　野	10	10	○	○	○	×	○	○	○	H	×	H	H	×	59
湘南・沖縄部	101	97													
横　浜	12	11	×	Z	H	H	H	H	H	H	×	Z	Z	Z	78
沖縄那覇	1	3	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	–
鎌　倉	8	9	×	×	○	×	○	○	×	×	×	×	×	Z	70
横浜とつか	12	12	×	×	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	85
厚　木	15	13	×	×	×	×	○	Z	Z	○	Z	Z	Z	Z	60
金沢八景	12	11	×	○	○	×	○	○	○	×	×	×	○	×	73
横浜つづき	17	17	×	○	○	○	○	○	○	○	○	Z	H	H	84
沖　縄	15	12	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×	×	×	70
横浜つるみ	9	9	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	96
富士山部	165	162													
熱　海	45	45	×	○	×	○	○	○	○	×	○	○	○	○	73
沼　津	15	15	×	×	○	×	Z	Z	Z	Z	Z	Z	Z	Z	82
伊　東	18	18	×	○	○	×	○	×	×	×	×	×	×	×	82
三　島	11	10	○	Z	○	Z	Z	Z	Z	○	Z	Z	Z	Z	75
下　田	7	7	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	97
熱海グローリー	13	13	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	98
御殿場	21	21	○	○	○	○	○	○	○	○	Z	○	○	○	84
富　士	15	14	○	×	×	○	○	×	×	×	×	×	○	×	67
富士宮	20	19	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	68
東　日　本　区	830	838													

地域奉仕・YMCA サービス事業活動報告

地域奉仕・YMCAサービス事業主任
小原史奈子（東京たんぽぽ）

コロナ禍で様々な行動制限があり、ワイズ活動を普段通り行う事は大変難しい１年でした。そのような中でも、CS 活動や YMCA 支援、各種献金にご協力を頂き、有難うございました。感染拡大により、世界 YMCA 同盟から各国の YMCA や地域支援への協力要請を受け、ワイズの国際協会は国際 ASF 献金を使ってサポート。東日本区では集めた献金から 113,710 円を国際へ送金させて頂きました。皆様のご協力に感謝申し上げます。また、コロナ禍において、国内各地域での問題解決の為にお働き頂き有難うございました。手作りマスク運動から始まり、子ども、ユース、留学生への食糧支援。対面での集まりが難しい時、フェイスブック、Zoom や YouTube など活用して情報発信、交流、イベント開催など臨機応変に対応して頂きました。今では多くのメンバーがツールを利用し距離を感じることなくオンライン又は対面式とのハイブリッドで繋がる事が出来るようにも。環境問題では、国際協会から全世界のワイズへ Week4Waste プロジェクト環境美化活動推進の提案があり、感染状況に応じて個人またはグループで美化活動に参加して頂きました。今後の活動継続も期待しています。

2020-21 年度は新型コロナウィルスの影響や、豪雨被害など自然災害が次々起こり、一番はご自身の身を守って頂きながらワイズ･YMCA 活動をそれぞれの地域に合せて考え、実行し、情報のシェアをして頂きました。コロナ禍においても、次々に新しい手法を見つけて元気を取り戻すワイズ･YMCA 活動。その良さや可能性を再発見したのではないでしょうか。ご自身の地域や他団体とも交流を持ち、更なる活躍の場が得られますように。次の深尾香子事業主任と連携を持ち、活動のサポートをさせて頂きたいと思います。多くの学びを有難うございました。

ユース事業の１年

ユース事業主任
三田　庸平（もりおか）

１年間東日本区ユース事業主任を務めさせて頂きました。コロナという思わぬ事態の中、ユース事業として何かできることはないか、と模索しながら活動を進めてまいりました。YVLF・オープンフォーラム Y などユース事業の大きな活動もすべて中止にすることとなりました。また、各部のユース事業もできないことが多くあり、ユースの目立つ活動は何一つできずに終わりました。最後に行えたのも、コロナ禍で各部への聞き取りのみとなってしまいました。この聞き取りも早い段階で行い、検討できることも出てきたのかなと思っています。聞き取り調査で分かったのは、何もできなかったクラブがほとんどだったこと。そして、東日本区ユース事業からの提案があると動きやすい部分もあったのかなと感じました。

この事態の中では特にもっと各部の主査さんたちと連絡を取り合い、進めていけたのかなと思っています。

１年通して何もできないままのユース活動になってしまい、反省ばかりだったと思います。コロナが収束するのを待つのではなく、できることを見つけ、収束したときに弾けられるように今から準備してユース事業を盛り上げていきたいと思いました。

最後になりますが、１年間ユース事業を支えてくださった皆さんに感謝いたします。

＜おことわり＞

本誌での執筆者の掲載順は、紙面調整の関係上、一部で「東日本区役員および委員長等」に記載の順とはなっていないことをご了承下さい。　　東日本区理事　板村哲也

2020-2021 交流事業について

国際・交流事業主任
米長　晴信（甲府２１）

今年度の目標は新規 IBC 締結各部１つでしたが、残念ながら１つ（甲府 21・アデレード）にとどまりました。しかし、Zoom によるリモート締結式という新たな形で執り行う事ができ、コロナで何かと不自由ななか、国際的な式典はむしろ工夫次第で実現可能という結果を残す事ができました。また、西日本区のご協力もいただき、年度末に西日本区大会内でトライアングル DBC（石巻広域・東京むかで・神戸ポート）も締結する事ができました。まだまだウィルスが猛威をふるう中、自クラブの活動が自由にならない状態でなかなか外に目を向けるのは難しいのですが、IBC や DBC を模索して行くことはリモートの活用法を訓練してコロナ社会下で積極的に活動をして行くためのよい訓練になるのではないでしょうか。

また、BF 事業（切手収集）については、大会や評議会のほとんどがリモート開催されたため、郵送の手段で集められました。しかし、郵送費と販売価格が逆転する現象が生じているため、原則郵送による収集はせず、可能な限り持ち運びによる納入方法を検討すべきだという結論に至りました。

ワクチンの接種率が向上してきましたが、社会が元通りに平常化されるにはまだ時間がかかりそうです。それぞれのクラブの皆様の英智を結集してよりよい活動ができるよう頑張ってまいりましょう。

2020～2021北海道部　活動報告

北海道部部長
中村　義春（十勝）

「心を高めよう！～ワイズダムの繋がりを友情の輪に～」の主題のもと、1 年間部長を務めさせていただきました。コロナ禍の影響により、北海道部でも三密状態を避けての制限された活動を余儀なくされることとなりましたが、そのような状況下、以下の事業を行いました。

・部役員会　Zoom による Web 会議

第 1 回、2020 年 7 月 30 日　第 1 回評議会開催の件、前期活動報告・決算報告、今期部長活動方針の説明等。

第 2 回、2020 年 10 月 23 日　部全会員交流会の日程の承認、部報の発行について協議。

第 3 回、2021 年 3 月 29 日　第 2 回評議会・次期役員研修会の開催の件、区法人化説明報告等。

・部評議会　Zoom による Web 会議

第 1 回、2020 年 8 月 21 日　全ての議案を承認、中でも 8 月 21 日予定の部大会をはじめ、諸事業（チミケップキャンプ場のワーク・各種 CS 事業）はコロナ禍の影響で中止と決定。

第 2 回　2021 年 4 月 26 日　2021-2022 年度部大会・部評議会は、2022 年 2 月 19 日（土）十勝管内鹿追町然別湖畔「ホテル風水」にて開催、ホストクラブは十勝クラブと決定。今年度、北海道部事業、クラブ活動については支出を伴う活動がほとんどできていないが、YMCA が果たしている地域貢献、ユース育成の活動は地道に続けられているため、北海道 YMCA の活動を支えるため、ブランチを含めた事業（チャリティーラン当初 6 月予定）に 300,000 円を支援。

次期役員研修会　2021-2022 年度東日本区理事方針について、大久保知宏次期理事（宇都宮ワイズメンズクラブ）の基調講演を伺った。

・部長公式訪問
北海道緊急事態宣言発令により全クラブ中止。
・北海道部　第１回全会員交流会
2020 年 11 月 13 日　初めての試みとして、Zoom による Web 会議（ワールド･カフェ方式）にて「コロナの今　これからのワイズ」のテーマにより開催、東日本区からも 2 名の参加協力を頂きました。北海道部としての参加者は 10 数名、Web 会議はまだまだ我が部ではハードルが高いのでしょうか?
・北海道部各クラブの状況
部内 4 クラブの活動としては、Zoom や対面による例会等を開催されるクラブもあったが、期の後半はコロナの影響でほとんど休止となった。
以上、制約のある中、思ったような活動ができませんでしたが、ご協力に感謝申し上げます。
次年度も再度部長を務めさせていただきます。
今年度できなかった活動等、コロナ禍の中ではありますが、臨機応変に対応し、積極的に関わっていきたいと思っております。

北東部部長方針

北東部部長
南澤　一右（仙台青葉城クラブ）

①石巻広域クラブ例会公式訪問：8/28
②仙台青葉城クラブ 40 周年記念例会出席：松島大観荘 8/30-9/1
③櫛引修平君（1995 年生）仙台青葉城クラブ入会式立会：9/17
④仙台青葉城クラブ 40 周年記念エクスカーション参加：9/21
～キリシタンの足跡を訪ねて～「胆沢平野開拓の祖-後藤寿庵の足跡をめぐる旅」
⑤石巻広域クラブ入会式・転入式立会：11/27
入会者：姉歯一紀さん、千葉直美さん、
南奈央子さん、福島和州太郎さん
転入者：川上直哉さん（仙台青葉城クラブより転入）
⑥宇都宮クラブ落語例会部長公式訪問
Zoom 参加：1/13
⑦那須クラブ新年例会部長公式訪問
Zoom 参加：1/22
⑧3.11 記念礼拝と追悼の集い参列～東日本大震災から 10 年～:3/11
⑨石巻広域クラブ DBC 仮調印式出席：4/23
神戸ポートクラブ･東京むかでクラブ DBC 仮調印式
※役員会、拡大 EMC 委員会等は除く

関東東部活動報告

関東東部部長
柿沼　敬喜（東京グリーン）

コロナ禍の中での活動の 1 年でした。
各クラブとも例外なく、リアル例会の開催や恒例の CS 事業の実施などに苦慮して、事業の中止や規模の縮小などをせざるを得ない状況でしたが、部としての行事は区役員の方々をはじめ、部役員、クラブ会長および会員各位の協力のもと感染防止対策などを施し、お蔭様で新クラブ（千葉ウエストクラブ）の設立総会、引き続いての部大会の中でのチャーターナイトや初めての企画としてインタビュー型の「EMC を考える集い」および 3 回の評議会や 2 回の研修会の開催などを曲がりなりにも消化することができました。
しかし、部行事の実施にあたっては、コロナの感染状況により、その都度、会議体（リアル会議では参加人数の制限、全員のマスク着用、発表用マイクの消毒など、また、オンライン会議ではハイブリッド方式や全て Zoom での会議の実施等）を変更して行うこととなり、大変な、ご不自由、ご不便をおかけしたことと、改めて関係各位様のご協力とご支援に感謝申し上げます。
また、各クラブへの公式訪問では、リアル例会がままならない中、多くのクラブは Zoom 等を利用してのオンラインにて、まずは、既クラブ員との絆を大切にしての役員会や例会ばかりではなく、会場や距離に全く左右されることのないメリ

ットを生かし合同例会や DBC、IBC との交流が図られるなどの副産物も生まれ、今後も新しい会議体として定着していくものと思われました。

なお、CS 事業としては、困窮している留学生支援や従来から開催していた「こども食堂」が中止となる中フードパントリーなどの新しい形態の事業にも協賛・参加するクラブも生まれました。最後に、期末に当たり、茨城県牛久地区に YMCA との協働作業による新クラブ設立の機運がみられますので、スポンサークラブのみならず部としても情報、資金両面での支援を次期へ引き継いでいく所存です。

東新部 24 期報告

東新部部長

加藤　義孝（東京）

昨年度東新部の活動は殆どコロナ感染防止の対策により部の活動はオンラインによる会議或いはハイブリッドな人数を制限し三密を避ける対応を行い非常にギクシャクした歯がゆい形の大会や評議会、役員会でありました。しかし Zoom による会議もやり方を改善しながらも少しずつ改善が図られ使い方がわかり問題点を共有する事が可能になりましたがやはり現場で感じる空気や親しみ、握手や挨拶の大切さも忘れがたいものを感じています。

東新部のテーマは「友情の絆を強め YMCA を支えよう」と掲げましたがコロナ禍により色々行事や会議が妨げられましたが昨年度の反省は社会の流れや世の中の生き方が相当変化してきたことを踏まえワイズのあり方を変える必要が求められていると思います。

YMCA が掲げるグローバル･パートナーシップ SDGs「地球上の誰一人として取り残さない」世の中が変化し取り残されている人を探さなければなりません。

ワイズが集まるオンラインに参加出来ない人がいることも心が痛みます。

あずさ部

あずさ部部長

御園生　好子

今期はコロナに始まりコロナに終わった一年でした。

○評議会
全て Zoom で質疑応答、書面評決となりました。
○あずさ部部大会
唯一、コロナ禍の合間を縫って「コロナに負けるなわくわく部大会」が開催できたことは幸いで、あずさ部の皆様との久々の対面になり、うれしい限りでした。
○部長公式訪問
予定されていたクラブが緊急事態宣言等でキャンセルになったりしました。
訪問クラブは甲府クラブ、東京西クラブ、東京武蔵野多摩クラブ、東京サンライズクラブ、甲府 21 クラブ（30 周年記念例会）、八王子クラブ、富士五湖クラブ（フライングディスク大会）。松本クラブ、東京たんぽぽ Y サービスクラブ、長野クラブの三クラブは訪問実施出来ませんでした。
○EMC
甲府 21 クラブ 10 名、サンライズクラブ 3 名、甲府クラブ 2 名、長野クラブ 1 名の計 16 名の新会員を迎えました。新クラブ設立は甲府駅前を中心としたクラブ、午餐会の方達を中心とした「文京アフタヌーンクラブ」は両クラブともコロナ禍の為に集会が開けず今後に期待しています。
○国際交流
甲府 21 クラブ 30 周年記念例会に於いてオーストラリアの「アデレードクラブ」と IBC 締結式を利根川恵子 IBC 国際事業主任（川越クラブ）の立会いのもと Zoom にて行われました。
○CS
松本クラブ　留学生作文コンクール「アジア賞」無観客で関係者のみということが留学生

との距離を縮めました。
東京たんぽぽ Y サービスクラブ　「Liby チャリティーコンサート」会場の他にリモートも使用しました。
富士五湖クラブ　「身障者フライングディスク大会」当日は Week4Waste も行い、地域奉仕もしました。
このコロナ禍のなか試行錯誤をしながらも頑張られた各クラブには頭の下がる思いです。
初めてリモートで例会を行われたクラブ、初めてリモートの例会に出席された方、長年にわたり行われた行事、CS 等を中止されたクラブ。
何もかもが初めての一年でした。
対面式が叶わない乍らも一年間、期末まで来られたのはあずさ部の皆様のご協力、ご理解の賜物と感謝に堪えません。

2020～2021 年度　湘南・沖縄部　事業報告

湘南・沖縄部部長
古田　和彦（横浜）

主題　“クラブを超えてワイズ間の交流を図り、共に YMCA に仕えよう”

この一年、コロナ禍にあって、なかなか計画通りには進みませんでしたが、離れていてもつながっている私たちです。エクステンション委員会ではほぼ毎月欠かさず委員会を持ち、「つながりマスク活動」を展開、本年度の主題である、「クラブを超えてワイズ間の交流を図り、共に YMCA に仕える」活動を展開しました。

以下、項目ごとに報告いたします。

1. 部長公式訪問
横浜とつか(7/4)、横浜(7/9)、厚木(7/22)、横浜つづき(7/24)、金沢八景(8/21)、鎌倉(9/8)、横浜つるみ(9/11)
＊すべてリアルの例会に訪問できた。なお、沖縄の 2 クラブはコロナのため不可となった。
2. 評議会を 5 回開催した（定例 4 回と臨時 1 回）
①第 1 回 7/25（土）15 : 00-17 : 00 Zoom 併用 35 名出席（内委任状 13 名）　議案はすべて可決
・議案　2019-20 年度第 4 回評議会議事録、2019-20 事業報告、同会計決算報告（含む監査報告）、2020-21 年度部行事、同会計予算、次期部長・次年度次期部長の選出
②臨時 10/24（土）15 : 00-16 : 15 Zoom 併用 24 名出席（内委任状 7 名）議案は可決
・議案　「今後の沖縄クラブの運営について」への対応の件
沖縄クラブの、西日本区へ転籍し沖縄部を新設、沖縄地区に特化して YMCA 支援、地域活動を展開したいとの申し出は承認し、必要な手続きを取る。また、沖縄那覇クラブの意向は尊重していく。
③第 2 回 11/28（土）15 : 00-17 : 00 Zoom 併用 28 名出席（内委任状 14 名）議案はすべて可決
・議案　次期部長選出（若木一美・横浜とつか）、CS 支援金支給（3 件 9 万円）、YMCA との合同新年会（中止）、沖縄部長公式訪問（延期）、部則改正委員会の設置
④第 3 回 4/17（土）15 : 00-17 : 00 Zoom 会議 28 名出席（内委任状 11 名）議案はすべて可決
・議案　次期の次期部長選出（小松仲史・厚木）、次期部役員・クラブ会長、部則・部則施行細則改正、既存クラブへの新入会員に対する部による入会金支給
⑤第 4 回 6/19（土）15 : 00-17 : 10 Zoom 会議 28 名出席（内委任状 9 名）沖縄部独立の件は持ち越し、2021-22 予算案は取り下げ、それ以外の議案は可決
・議案　沖縄那覇クラブ解散、2021-22 年度部長方針・行事予定、2020-21 年度中会決算報告、2021－22 年度予算案、次期部役員(再)、沖縄部独立に関する件
3. 部大会 10/3（土）15 : 00－17 : 00 於 湘南とつか YMCA　参加者 50 名
礼拝、部大会、記念講演「環境問題を考える」
講師　鈴木弥也子氏（横浜 YMCA ユースボランティアリーダー、環境活動家）
礼拝献金・部大会収支差額の合計 79,590 円を横浜 YMCA ポジティブネット募金に献金。
4. 次期部長選考委員会　10/3（土）、10/24（土）、12/10（木）
立候補がない場合の次期部長の選考ルールを定めた。そのルールに基づき、次期部長に若木一美ワイズ（横浜とつか）、次次期部長に小松仲史ワイズ（厚木）を選考。
5. エクステンション委員会
毎月委員会を開催し、「つながりマスク」活動の推進、新しい「絵本読み聞かせ」活動の模索を行い、それらを通してエクステンション活動を展開した。

6. Y-Ys 協議会 第 89 回 12/1（火）19：00-21：00
於　横浜中央 YMCA　横浜つづきクラブ担当
第 90 回　6/1（火）19：00-20：30　Zoom 会議
横浜つるみクラブ担当
7. 部則改正委員会　3/17（水）14：00-16：00
Zoom 会議
部則・部則細則の改正を協議、成案を得た。4/17（土）開催の第 3 回評議会に提案することとした。
8. YMCA 活動への協力・参加
① チャリティーラン
部長が第 23 回横浜 YMCA インターナショナルチャリティーラン（オンライン開催）の実行委員長を務め諸会議への参加、開会式あいさつ（11/14）を行う。各クラブは応援メッセージを登載のほか、支援金などの協力を行った。
② エイズ組織委員会
部長が組織委員として参画。12/10(木)最終評価と次年度計画の組織委員会に参加。
③ 横浜 YMCA クリスマス会、横浜 YMCA 会員大会、日本 YMCA 大会
これらの会合に各クラブワイズメン参加者多数。
9. 部報、部長通信の発行
① 部報を 2 回発行した。第 1 号：8/24　第 2 号：6/30
② 部長通信を 2 回発行した。第 1 号：7/31　第 2 号：3/31

以上の中で次の 2 点について特記します。

1. 部長選考方法の策定・部則改正
部長（次期、次次期）の選考については毎年なかなか決める事が出来ず困難を覚えてきていますが、このたび、新しく次のようにルール化することとしました。その効果があってか、上述のとおり、次期部長に若木一美ワイズ（横浜とつか）、次次期部長に小松仲史ワイズ（厚木）を選考することができました。
そのルールですが、部則細則に次のように定めています。
2. 部役員の選出
部則第５条第２項の部役員の選出は、次のとおりとする。
（１）次期部長（未定の場合）・次年度次期部長は、本人の立候補あるいは部長またはクラブ会長からの推薦がある場合を含め、「次期部長選考委員会」（部役員、監事およびクラブ会長にて構成）において協議され、評議会の承認を得て選出され、理事が任命する。
（２）上記（１）に定めた、本人の立候補あるいは部長またはクラブ会長からの推薦がない場合は、下記（３）の輪番制に基づいて推薦された次期部長（次々期を含む）候補者が評議会において選出され、理事が任命する。
（３）輪番制は２グループによる。グループはA（横浜、鎌倉、横浜とつか、金沢八景）、B（厚木、横浜つづき、横浜つるみ）とし、隔年ごとにグループ内で協議し、候補者を選考する。
（４）輪番制に基づく選考に当たっては、グループ内各クラブ会長と部長で協議・検討する。
（５）部長以外の部役員（書記、会計、事業主査、委員会委員長）は、当該年度の部長が任命し、評議会の承認を得て選出される。
3. 沖縄ワイズメンズクラブ西日本区への転籍（東日本区では解散）と沖縄那覇クラブの解散
沖縄クラブから、2020 年 10 月 15 日付で、西日本区に移り、クラブを複数にして沖縄部を立ち上げ、沖縄 YMCA 支援の深化と地域活動を沖縄に特化していきたいので必要な手続きを取ってほしいとの依頼を受けました。部としては、上述の通り 2020 年 10 月 24 日に臨時評議会を開催し対応を協議した結果、沖縄地区での奉仕活動がより深まることを期待して、この申し出を受けることとしました。その後、今回のような例は過去にないため、どのように取り扱うべきか検討しました。実態として東日本区から沖縄クラブを消滅させる（西日本区に転籍）こととなるので、クラブの解散と見なし、4/10 開催の東日本区役員会に部長から移籍を提案しましたが、その後、沖縄クラブは西日本の意向を受けていったん解散することとなり、6/11 開催の東日本区役員会の議を経て 6/25 付で解散しました。一方、沖縄のもう一つのクラブ、沖縄那覇クラブについては、同クラブの皆さんの意向に十分配慮することとしていましたので、10 月以来数度にわたり意向を伺ってきました。年度末に至り、6/1 付で沖縄那覇クラブの解散の申し出を受けました。突然の申し出で困惑しましたが、6/19 評議会には沖縄那覇クラブから玉城会長、長嶺ワイズも参加し、協議の結果、申し出を受けることとなりました。沖縄の二つのクラブをこの期に失うことになり誠に残念です。なお、沖縄那覇クラブはいったん解散しますが、沖縄 YMCA 支援については引き続きグループとして対応していくとのことで、ふたたびワイズに復帰することも考えられるようですので期待しています。

2020~2021 年度　富士山部活動報告

富士山部部長
伊藤　一芳（富士宮）

お決まりの枕詞は「コロナ禍」に始まり、コロナ禍に振り回され、1 年間、多くの方の冒頭の決まり文句です。

まさしく昨年、年当初は、何か行動を、アクションを起こす事は、異口同音に「配慮に欠ける、無責任な行動」と非難され、部長最大の仕事であります、「各地クラブ例会」訪問すらできませんでした。しかしながら、いつ体験できるかな？と思っていたパソコン、iPad による「Zoom 会議」が、何の抵抗もなく私のパソコンにカメラを付け、手探りの状態ながらも（ビクビクしながら）何回かの Zoom 会議をこなしてきた事は、作用反作用の原理に基づく反作用の成果と考えます。

残念な事も多くあります。7 部の部長さんとの会話、情報交換、ワイズの楽しさ、将来のワイズ像等々、一杯飲みながら親しくお話を重ねることが出来なかったことです。

勿論、理事、書記、区役員の皆様とも同様に、親しくお話をしたかったことは言うまでも有りません、

Zoom 会議出席要請の中でも「EMC、社団法人化」など、部長はオブザーバー的要素の中での参加でしたので、発言する機会もそれほどなく、聞き役に回っており、参加する異議は薄かったと感じました。

もっと、部長同士の会話の時間を創ることも大切かな？と、申し送り事項として、次年度にお伝え下さい。

部の事業は全てストップしましたので、申し述べる事は御座いません。

部大会での、富士山部各クラブ会長様と「ブルーベリーの植樹」そして、富士山麓の食のおもてなしと、乾杯の杯を重ねました事が、唯一の思い出となりました。

いつまで続くか解りませんが「コロナ禍」騒ぎが徐々にフェードアウトする事を願い報告に代えさせて頂きます。1 年間ありがとうございました。

感謝のことば

監事
辻　剛（横浜つづき）

この 2 年間未熟な監事ではありましたが、皆様のご協力でなんとか責務を全うできましたことを心より感謝申しあげます。

振り返えりますと、昨年度、今年度はこれまで経験をしたことのないコロナ禍の下で山田敏明・板村哲也両理事は困難な区の運営を強いられましたが、理事の任務を定款に適合して正常に執行されました。当該年度の相当期間で政府による緊急事態宣言が発出されるという異常な状況の中、組織として東日本区は、健全かつ可能な範囲で効率的に業務を遂行したと高く評価いたします。また、一般社団法人定款の作成、東日本区会計体制の見直し、オンライン・リモート方式を含む緊急事態対応策への取り組み等は、今後の内部統制システムの充実に大きな貢献が期待されます。

一方時代の変化は東日本区の今後の運営の在り方にも大きな変化を突きつけています。それがコロナによって加速しているともいえます。思いつくまま挙げましても、会員の減少と高齢化、オンライン・リモート方式の浸透と新しい例会様式、それによるクラブ間の Zoom 格差発生、一般社団法人化、沖縄クラブの解散・西日本区への移籍、東日本区事務所の長期閉鎖と今後の在り方、紙ロースターの廃止、等々既に変化の兆候は現実のものとなっています。

ワイズダム運動の理念達成のためには組織の維持が必須です。わたしたちは、これらの課題に適切に対処していかねばなりませんが、東日本区の皆さんは、全員の高い志と課題を克服しようとする強い意志と実行力があります。東日本区という組織が持続可能な組織として今後も末永く存続しうるよう適宜適切に対処して頂けると信じております。

個人的には監事として力不足ではありましたが、行政監事報告の在り方に微力ながら改善努力をしてまいりましたがまだ道半ばであり、今後に期待したいと思います。改めて皆様のご協力に感謝しご挨拶といたします。

以上

監事活動報告

監事

漆畑　義彦（富士）

板村 哲也東日本区理事は、変化をたのしもうとした。
東日本区の 20 年後は 650 名となり平均年齢は 85 才の組織となると指摘。

問題の解決にはひとりひとりが進化し、各クラブの変化の総和が Ys の未来だと。

変わろう、変えなければと、強い危機感を持ってスタートした。

活動内容と中身の規模はこれでよいのか？
財政は活動内容と規模に合っているのか？
区費はいくらが適正か？
法人化は達成したが役員の規模はこれでよいのか？・・・

考えて変化しなければならない事は多い、Ys の未来のために・・・

2020-2021年度文献・組織検討委員会報告

文献・組織検討委員会委員長
駒田勝彦（甲府 21 クラブ）

委員会委員：大久保知宏（宇都宮）、北村文雄（厚木）、栗本治郎（熱海）、駒田勝彦（甲府 21）、城井廣邦（東京むかで）、利根川恵子（川越）、本間　剛（東京江東）、宮内友弥（東京武蔵野多摩）、若木一美（横浜とつか）、涌澤　博（仙台青葉城）（以上 10 名）

活動方針：以前より「法人化検討小委員会」が検討を進められてきている東日本区の法人化について前進できるよう努力する。理事からの諮問事項を審議する。委員会として必要な課題の取り組みを行う。

第 1 回文献・組織検討委員会

日　時：　2020 年 7 月 20 日（月）　19:00～20:35
会　場：ビデオ会議室
出席者：大久保知宏、栗本治郎、駒田勝彦、
　　城井廣邦、利根川恵子、宮内友弥
欠席者：北村文雄、本間　剛、涌澤　博、若木一美
オブザーバー：板村哲也、辻　剛

1. 開　会
2. あいさつ　板村理事
3. 議　事

(1) 2019-2020 年度第 4 回委員会議事録の承認
(2) 書記の選出　　城井委員を選出
(3) 今期の各課題に関する協議（各担当者の選出）
　①法人化小委員会　　集中報告と協議の日程
　②会計規則について
　③東日本区事務所内規について
　④定款中別に定める事項の確認と対応について
　⑤ユース事業からの提案について
　⑥事業主任の手引きについて
　⑦その他
(4) 2020-2021 年度文献・組織検討委員会担当を決めました。

項目	担当者名
法人化小委員会	宮内友弥、若木一美
会計規則（仮称）作成	利根川恵子
異常事態に対応するための対策	本間　剛、涌澤　博
東日本区事務所運営内規	大久保和宏
定款中別に定める事項確認と対応	栗本治郎
事業主任の手引き作成	北村文雄

4. その他
(1) 第 2 回文献・組織検討委員会日程を確認しました。2020 年 10 月 12 日（月）19:00～
5. 閉会

第 2 回委員会

日　時：2020 年 9 月 29 日（火）　19:05～20:55
会　場：ビデオ会議室
出席者：大久保知宏、栗本治郎、駒田勝彦、
　　利根川恵子、本間　剛、宮内友弥、
　　涌澤　博
欠席者：城井廣邦、若木一美、北村文雄
オブザーバー：板村哲也

1. 開　会

2. あいさつ　板村理事
＜新年度各委員自己紹介＞
3. 議　題
(1) 第 1 回文献・組織検討委員会議事録
一部修正し承認しました。
(2) 法人化検討小委員会報告について
担当の宮内委員から、法人化検討小委員会で現在行われています協議について、詳細な報告がありました。
協議の結果、10 月 12 日に法人化検討小委員会から文献・組織検討委員会が報告を受けることを可決しました。次に東日本区役員の方々に対する説明会を行う日を 10 月 27 日と可決しました。
(3) 会計規則（仮称）について
資料：会計規則検討小委員会概要（案）について担当の利根川委員から提案説明があり、原案の通り可決しました。
(4) 異常事態に対応するための対策（オンライン対応含む）について
担当の本間委員、涌澤委員から、緊急事の捉え方、オンライン対応等確認の質疑があり、どのようなことが、緊急事態と言えるか、をリストアップしてその対応策は、このようなことが考えられる、という案をまとめることとしました。
(5) 東日本区事務所運営内規について
担当の大久保委員から、資料：東日本区事務所運営内規変更案の現行と改正案の対比表により、改正条文について説明がありました。
協議の結果、今から検討がされる会計規則との関連があるので同時に協議することとしました。
(6) 定款中別に定める事項の確認と対応について
担当の栗本委員から、東日本区定款中にある「別に定める」ことについて、それに対応する東日本区定款細則にある条文の説明がありました。その中で、定款第 10 条第 4 項第 6 号選挙に関する規定は別に定める、に関するものがないことを確認しました。
この規定について継続審議としました。
(7) 事業主任の手引きについて
担当の北村委員との連絡が取れないため本日は協議なしとしました。
(8) その他
次次期理事に関する選挙の規定について意見交換がされました。
4. その他
(1) 第 3 回文献・組織検討委員会日程
2020 年 10 月 12 日（月）19:00～
東日本区の法人化について法人化検討小委員会からの報告と協議とし、27 日の東日本区役員の皆様への説明会の準備をすることを確認しました。
5. 閉会

<u>第 3 回委員会</u>

日　時：2020 年 10 月 12 日(月)19:00～21:20
会　場：ビデオ会議室
出席者：大久保知宏、栗本治郎、駒田勝彦、
利根川恵子、本間　剛、宮内友弥、
城井廣邦
欠席者：若木一美、涌澤　博、北村文雄
オブザーバー：板村哲也、辻　剛、漆畑義彦、
小山久恵、
法人化検討小委員会（文献・組織検討委員会委員以外の方）：
出席者：清水弘一、斎藤宙也
欠席者：加藤利榮、山田敏明
1. 開　会
2. あいさつ　板村理事
3. 議　事：
(1) 第 2 回文献・組織検討委員会議事録
一部表記文言の修正があり承認しました。
(2) 法人化検討小委員会　報告と協議
1) 資料に基づき法人化検討小委員の委員から次の各項目について説明がありました。
①法人化検討歴史的経緯
②任意団体から法人化への転換
③一般社団法人定款（案）
④メリット・デメリット比較表

⑤ボランティア団体の法人化について
⑥設立に要する費用、設立後の運営予（案）

2) 質疑

Q1.メリット・デメリットの中で「会員を規制することの例」が誤解される文があるので変えた方がよい。

A. 修正します。

Q2.現在の定款と法人化した場合の定款とで二重になり我々の活動に支障が生じないか。

A.我々の活動は、現行の定款に基づき行われます。法人としての活動が法人の定款により行われることになります。

3) 今後法人化への進め方

＊今後の検討体制、「東日本区法人化拡大委員会」として進める案が出され、名称について「法人化拡大委員会」でなく「法人化実行委員会」がよいのではないか。と意見がありました。

＊法人化検討小委員会で協議することとしました。

4) 27 日説明会への対応

＊本日の説明は、大変詳しく詳細にしていただきわかりました。しかし、時間が長すぎるのでもう少しコンパクトにまとめて 27 日は、説明した方がよい、例えばパーポイントを用いて行う等、資料は、事前にお送りし見ておいてもらうことで対応できるのではないか。

＊法人化検討小委員会で協議することにしました。

4. その他

(1) 東日本区役員会メンバーへの東日本区法人化の説明会開催

日時　2020 年 10 月 27 日（火）19:00～

開催方法　リモート（Zoom で行います）を可決しました。

5. 閉会

第 4 回委員会

日　時：2020 年 12 月 14 日(月) 19:00～21:00

会　場：ビデオ会議室

出席者：大久保知宏、栗本治郎、駒田勝彦、城井廣邦、利根川恵子、本間　剛、宮内友弥

欠席者：若木一美、涌澤　博、北村文雄

オブザーバー：板村哲也

1. 開　会

2. あいさつ　板村理事

3. 議　題

(1)第 3 回文献・組織検討委員会議事録を承認しました。

(2)東日本区役員への法人化検討説明会記録（小山書記）を受けました。

(3)東日本区会計規則及びシステム検討小委員会について

経理規程等継続審議の報告を受けました。

(4)異常事態に対応するための対策（オンライン対応含む）について

想定されるオンラインの出席、連絡網等の事項について協議しました。

(5)東日本区事務所運営内規について

会計規則検討小委員会の経過を見ることで継続審議としました。

(6)定款中別に定める事項の確認と対応について

定款中別に定める事項の確認と次次期理事選出に関することについて協議しました。

(7)2020-2021 年度　文献・組織検討委員について継続委員の確認、補充について話し合いました。

(8)その他

4. その他

(1) 次回　第 5 回文献・組織検討委員会

日時　2021 年 2 月 15 日　19：00

5. 閉会

第 5 回委員会

日　時：2021 年 2 月 15 日(月) 19:00～20:30

会　場：ビデオ会議室

出席者：大久保知宏、栗本治郎、駒田勝彦、城井廣邦、利根川恵子、本間　剛、宮内友弥、若木一美、涌澤　博

欠席者：北村文雄

オブザーバー：板村哲也、小山久恵、佐藤重良

1. 開　会

2. あいさつ　板村理事

3. 議　題

(1) 第 3 回、4 回文献・組織検討委員会議事録を承認しました。
(2) 東日本区会計規則及びシステム検討小委員会について
小委員会の経過説明を受けて継続審議としました。
(3) 定款中別に定める事項の確認と対応について
定款中別に定める事項の確認と次次期理事選出に関することについて協議しました。
(4) 異常事態に対応するための対策（オンライン対応含む）について
オンラインによる例会出席について、安否確認について等事例ついて協議しました。
(5) 2021～2020 年度文献・組織検討委員会委員について
新年度に向けての委員の確認をしました。
(6) その他
なし
4. その他
（1）次回　第 6 回文献・組織検討委員会
日時　2021 年 3 月 17 日 19 時
オンライン会議予定
5. 閉会

第 6 回委員会

日　時：2021 年 3 月 17 日(水) 19:00～21:10
会　場：ビデオ会議室
出席者：駒田勝彦、城井廣邦、利根川恵子、
本間　剛、宮内友弥、若木一美、
涌澤　博
欠席者：大久保知宏、栗本治郎、北村文雄
オブザーバー：板村哲也、小山久恵、佐藤重良
1. 開　会
2. あいさつ　板村理事
3. 議　題
(1) 第 5 回文献・組織検討委会議事録の承認について
字句等を修正し承認しました。
(2) 東日本区会計規則及びシステム検討小委員会について
経理規程等最終調整にあることの報告を受け継続審議としました。
(3) 定款中別に定める事項の確認と対応について
前回までの協議事項を確認しました。
(4) 異常事態に対応するための対策（オンライン対応含む）について
前回までの協議事項を確認しました。
(5) 東日本区 YES 基金規則（案）について
会員増強事業主任からの諮問された規則について協議し、修正を含め再度検討を依頼することとしました。
(6) 新クラブ設立支援金規則改正（案）について
東日本区 YES 基金規則（案）と同様再検討を依頼することとしました。
(7) 文献・組織検討委員会の諮問事項答申について
今期今まで協議されてきた事項についてまとめの確認と答申する議題を確認しました。
(8) その他
板村理事より、文献・組織検討委員会への諮問事項（次年度での検討依頼）（案：作業中・未完）の説明を受けました。
4. その他
(1) 次回　第 7 回文献・組織検討委員会
日時　2021 年 5 月 25 日 19 時　予定
5. 閉会

第 7 回委員会

日　時：2021 年 5 月 25 日(火)19:30～20:30
会　場：ビデオ会議室
出席者：駒田勝彦、栗本治郎、利根川恵子、
宮内友弥、涌澤　博、若木一美、城井廣邦
オブザーバー：板村哲也、小山久恵、佐藤重良
欠席者：大久保知宏、本間剛、北村文雄
1. 開　会
2. あいさつ　板村理事
3. 議　題
(1) 第 6 回文献・組織検討委員会議事録の承認について
(2) 2020-2021 年度当委員会検討事項についての振り返り

①会計規則検討小委員会について
②定款中別に定める事項の確認と対応について
③事業主任の手引きについて
④その他

(3) 2021-2022 年度予定
日程、理事よりの諮問事項、その他

4. その他

(1) 次回　第 8 回文献・組織検討委員会
日時　2021 年 6 月 23 日（火）　案

5. 閉会

第 8 回委員会

日　時：202 1 年 6 月 21 日(月)19:-00～20:40
会　場：ビデオ会議室
出席者：栗本治郎、駒田勝彦、城井廣邦、
利根川恵子、本間　剛、宮内友弥、
若木一美、
欠席者：大久保知宏、涌澤　博、北村文雄
オブザーバー：板村哲也、辻　剛、佐藤重良、小山久恵

1. 開　会
2. あいさつ　板村理事
3. 議　題

(1) 第 7 回文献・組織検討会議事録
承認しました。

(2) 会計規則およびシステム検討小委員会よりの提案事項について
提案された資料
①一般社団法人ワイズメンズクラブ国際協東日本区　経理規程（案）
別表　決裁権限表
②金銭出納管理規則（案）
上記資料に基づき利根川小委員会委員長から説明がありました。
各条について協議し、一部修正し決定、理事への答申とすることを決定しました。

(3) その他
この一年間の労を互いにねぎらいました。

4. 閉会

2020 年-2021 年度文献・組織検討委員会が答申（回答含む）したもの一覧

(1)「東日本区法人化に関する」（答申）
2020 年 10 月 19 日

(2)「新クラブ設立支援金規則」（答申）
2020 年 10 月 24 日

(3) 東日本区 YES（ワイズエクステンションサポート）基金規則（案）
2021 年 3 月 18 日に連絡　会員増強事業主任

(4) 異常事態に対応するための対策（オンライン対応を含む）について（答申）
2021 年 3 月 20 日

(5)「東日本区定款中別に定める事項の確認と対応」（答申）
2021 年 5 月 26 日

(6) 東日本区会計規則およびシステム検討について（答申）
2021 年 6 月 25 日　以上

コロナを乗り越える

LT 委員会委員長
山下　真（十勝クラブ）

「天は人が乗り越えられない試練を与えない」よくそう言われます。

振り返れば LT 委員会の取り組みはコロナを乗り越えようとする試みのオンパレードとなりました。

ある時は成功に見えて、ある時は今考えても穴があったら入りたい赤面するようなミスの連続など「どうだったのか」と自問しています。

板村理事以下、東日本区役員の皆さまに支えられ、メンバーの皆さまに励まされ、時として批判にさらされ目まぐるしい一年となりました。

でも、このコロナで足が止められたことで、逆にオンラインでの多くのつながりや思いも掛けない出会いに恵まれました。

なにより北海道のド田舎の若輩者が LT 委員長という大役を「立派に」こなしていたわけではないにしても、曲がりなりにも委員会や研修会を開催し、先輩、同志から学び、共に成長を実感するなどということは、対面でしか会議が実施できな

い時代には想像もつかないことでしょう。

5 月から北海道も爆発的な感染拡大にさらされ、私の職場も濃厚接触者が群発。そんな私が精神的にも肉体的にもズッコケてしまい、昨年度、ヤングワイズセミナーを実施できなかったことが本当に悔やまれます。

今、LT 委員会では「カフェ ド フレッシュワイズ」といいう、ヤングワイズセミナーに代わる気軽な学びと交流の場を模索し準備を進めています。

遠く離れていても、リアルに会えなくても多くの方がそこに参加され何かを共有できれば、コロナ後をにらみつつ、ひとつワイズが乗り越えて進む力強さを予感し実感できたらと 8 月 28 日を楽しみにしています。

カフェが終わればリモート飲み会。ひとつ乗り切ったと思える冷えた美味しいビールをともに味わえればと思います。

2020-2021 東日本区ワイズ基金報告

東日本区ワイズ基金委員長
髙田　一彦（千葉ウェスト）

今年度は、厳しい環境の中で、特別の活動は行っていませんが、ワイズ基金への献金は次の通りとなっています。

尚、2021 年 7 月 7 日の監査において、ワイズ基金の収支、残高証明等につき、監査役の確認を得ていることを申し添えます。

期首　¥12,496,213

2020 年（献金）

7/1　小山憲彦（東京サンライズ）30,000
初孫誕生記念

7/22　光永尚男（三島）　10,000
初孫誕生感謝　これからのユースの為に

7/26　板村哲也（東京武蔵野多摩）30,000
東日本区理事就任にあたり

8/19　田中博之（東京多摩みなみ）50,000
アジア太平洋地域会長の務めを終えて

8/24　小山憲彦（東京サンライズ）10,000
一年間無事に事務所の仕事を終えて感謝

10/7　千葉ウエストクラブ　50,000
千葉ウエストクラブチャーター記念

10/9　長尾昌男（千葉ウエスト）　10,000
千葉ウエストクラブ設立準備委員長を終えて

10/23　板村哲也（東京武蔵野多摩）10,000
二人目の孫が生まれたお祝い

10/28　佐藤茂美（東京）　10,000
傘寿祝い

12/07　横浜クラブ　90,000
横浜クラブ設立 90 周年記念

2021 年（献金）

1/26　板村哲也（東京武蔵野多摩）　10,000
ワイズダム発展のために

2/24　東京クラブ　20,000
コロナが早く収束して活動が出来ますように

2/24　権藤徳彦（東京町田コスモス）10,000
国際 Booster Member Award の受賞感謝

2/24　田中博之（東京多摩みなみ）10,000
ワイズダムの発展を願って

2/24　小林隆　（沼津）　50,000
ワイズダムの発展を願って

5/10　小林隆　（沼津）　50,000
ワイズダムの発展を願って

5/10　小原史奈子(東京たんぽぽ)　10,000
ワイズダムの発展を願って

5/12　板村哲也（東京武蔵野多摩）10,000
東日本区発展のために

5/14　髙田一彦（千葉ウエスト）　10,000
3 年間の JEF 委員長を終えるにあたり

5/20　横浜つづきクラブ　15,000
クラブ創立 15 周年を記念して

6/22　伊藤幾夫（東京多摩みなみ）10,000
会員増強委員長を終えるにあたって

6/25　浅見隆夫（東京グリーン）　10,000
JEF 委員を無事に務め感謝

6/26　板村哲也（東京武蔵野多摩）40,000
東日本区理事退任にあたり感謝

6/28　辻　剛（横浜つづき）　30,000
東日本区監事を終えて皆様に感謝

6/30　石巻広域クラブ　19,263
設立 5 周年記念例会にて

今期入金　¥604,263

現在高(2021/5/20)　¥13,100,476

東日本区法人化報告

東日本区法人化準備委員会委員長
宮内 友弥（東京武蔵野多摩）

本準備委員会では、6 月 12 日開催の年次代議員会の決議に基づき、6 月 16 日新宿公証役場に一般社団法人ワイズメンズクラブ国際協会東日本区定款の認証申請を行い、即日認証されました。

その後 7 月 1 日に法務局に設立登記申請を提出、7 月 7 日付にて法人番号指定通知書を受領しました。これで登記完了となりましたが、法人の成立日（創立記念日）は登記申請日である 7 月 1 日となります。

準備委員会の皆様、区役員の皆様をはじめ多くの方々には、昨年 11 月の委員会発足以来ご協力いただき、無事登記完了に至りましたことに心より御礼申し上げます。

登記完了に伴い本準備委員会の使命を終えることになりますが、今後は新体制の下で体制固め、運営支援等を検討する新たな委員会が設立される予定です。引き続き皆様のご協力をお願いいたします。

尚　本準備委員会は、上述の通り法人が成立したことにより任務を終了し、7 月 7 日をもって解散となりました。

Change！2022 活動報告

Change! 2022 推進委員会委員長
栗本　治郎（熱海）

Change！2022 がスタートして 2 年が経過しました。この 2 年間、アクションプラン I・II の作成、アニバーサリー・プレゼント・プランの提唱、Change！2022 ニュースの発行（毎月）、EMC シンポジウムの開催等の活動をしてまいりましたが、コロナ禍の影響もあり目標達成は厳しい状況です。

そこで、今期新たに会員増強のツールとして、スマホサイト『動画で分かるワイズメンズクラブ』カードを作成致しました。これは、スマホでワイズを分かりやすく写真や動画で紹介する内容のものです。各クラブに１００枚を送付いたしました。常にこのカードを携行して、知人、友人にワイズを紹介して頂きたいと思います。カードは、各クラブでコピーして使っていただいても結構です。QR コードをブリテンやクラブ事業のチラシに張り付けて使うこともできます。ワイズ用の名刺として裏にカードを印刷することもできます。使い方は多彩です。

会員増強のツールとして積極的に活用して頂ければ Change！2022 の起爆剤になります。知人、友人、仕事関係の方に声を掛けてみて下さい。

クラブの会員目標数を今一度ご確認の上、2022 年末まで引き続き宜しくお願い致します。

東日本大震災支援対策本部活動報告

東日本大震災支援対策本部長
板村 哲也（東京武蔵野多摩）

今年度は東日本大震災発生後 10 年ということで、下記の事業を行いました。

(1) 3.11 記念礼拝と追悼の集い（3 月 11 日於石巻）

これまで復興支援活動を続けてきた仙台の 4 クラブ（仙台・仙台青葉城・仙台広瀬川・石巻広域）が中心となって、仙台 YMCA、北東部、東日本区の共催で Zoom のハイブリッドで行いました。

(2) 献金（3 月 11 日於石巻）

上記 3.11 記念礼拝時に献金を行いました。区で事前に「3.11 献金」の募集を行いましたところ、多くの有志の皆さまから暖かいお志が集まり、総額は 80 万円となりました（1 部と 11 クラブ 259,000 円、個人 34 名 541,000 円）。個人の中には西日本区の方もいらっしゃいました。東日本区の役員、委員長/専任委員長、監事、理事スタッフの皆さまには区が支給した活動補助費をそっくり 3.11 献金に充当下さいました。これらの献金に東日本区からの献金 50 万円と合わせ合計 130 万円を仙台 4 クラブ（仙台・仙台青葉城・仙台広瀬川・石巻広域クラブ）の活動継続のために贈呈いたしました。

(3) 「東日本大震災 10 年誌」

東日本大震災発生後 10 年というひとつの区切りに、「東日本大震災 10 年誌」を発行することとし、田中博之さん（東京多摩みなみ）に編集委員長をお願いし、その制作中です。東日本区の 10 年間の東日本大震災被災地・被災者支援活動の記録の他に、各部、各クラブ、各メンバーからの寄稿を掲載する予定です。

国も地方自治体も引き続き復興に取り組んでいますが、完全復興にはまだ遠く、私たち東日本区は記憶を風化させることなく、これからも支援活動を続けて行きましょう。

ヒストリアン活動報告

ヒストリアン

仙洞田　安宏(甲府)

今年度は年度当初から、新型コロナウイルスの影響でワイズ活動が制約を受けました。各種会合も前年度後半から引き続きリモートで行われ、発行物の配布も電子媒体の利用が一層顕著になりました。

今年度はアジア太平洋地域からの依頼に 2 件対応しました。ひとつは、2020 年 12 月に発行された同地域のブリテン 3 号の東日本区特集の原稿執筆に協力しました。もう一つは同地域内の各区の記録をデジタルで保存するということで、これに東日本区のデータを提供しました。

また、東日本大震災発生から 10 年に当たる事から、記念誌を発行することになり、その編集への協力、毎年度末に纏めている年表の作成、各種資料の保存(とりあえず自宅に)を行った、ヒストリアンとしては結構忙しい 1 年でした。

IT アドバイザーとしての振り返り

IT アドバイザー

大久保　知宏（宇都宮）

本年度、IT アドバイザーの業務として追加されたこととして、Zoom ミーティングの予約業務という作業があります。コロナ禍の中、区、部、クラブの会合がオンライン化対応とするため、Zoom とライセンス契約を結びました。当初は 1 ライセンスで十分な状況でしたが、コロナ禍が長引く中、クラブ例会や役員会にも使用される機会が増えて、ライセンスを追加いたしました。会議室の予約は東日本区のウエブサイトを通じてメールでの申し込みとなり、会議室管理グループでの運用が開始されています。今後は、多くの方がスムーズに使用できるように LT 委員会と連携しながらトレーニングを行っていきたいと考えます。

BF 代表の来日が待ち遠しい！

トラベルコーディネーター

長澤　山泰（東京）

トラベルコーディネーター (TC) を務めます東京クラブの長澤山泰です。

2020 年初夏に南米ペルーから BF 代表ロザンナさんが来日の予定でしたが、長引くコロナ禍の影響を受け、再三の延期を余儀なくされています。来日の際に搭乗を予定していたアエロメヒコ航空は、米国連邦破産法第 11

条を適用して昨夏に破たん、多くの旅行者への返金が為されず裁判沙汰になっているケースもあります。

ロザンナ夫妻の航空券も返金が叶わず、現在延期&発券を繰り返しており、ご本人は 2022 年中に BF 代表として来日、役目を果たしたいとの希望をされています。具体的な来日日程が決まりましたら、各部長を通じて、担当クラブでのアテンドをお願いするようになります。ホストを受けていただく部とクラブにはご負担をお掛けいたしますが、BF 代表受入主旨をご理解いただきまして、実り多い交流の場を設けていただければと思います。

その節は、何卒ご協力をいただきますよう、宜しくお願いいたします。

YMCA 報告

東日本区担当主事

光永　尚生（三島）

2020-21 板村理事期におきましては、新型コロナ感染症拡大という困難の中にあって、ワイズメンズクラブ国際協会東日本区の全ての皆様に YMCA をお支えいただきました。YMCA に連なる皆さんひとり一人にかわり、感謝とお礼を申し上げます。

現在も新型コロナ感染の第五波の到来という、未曽有の社会にあって、オリンピック・パラリンピックなどの開催も揺れ、本来「希望の象徴」であるはずのものも一変しています。

このような社会ではありますが、情報化社会から、人間中心の社会への変容も見えています。私たちの社会は、新たな AI やテクノロジーなどでまったく違った形を見せ始めています。しかし、その中にあっても、よく考えてみると、「人間が中心となる社会」は、これからも今までと変わらないものがあるのではないか。つまり、私たちの培ってきたものを、どう考え、どう使い、そしてどう未来に継承していくかを、今の時代に生きる我々は、模索していく義務があると思っています。それに伴う、働き方 5.0 という考え方も出ています。

YMCA は、「はなれていてもつながっている」という、本来持っている特性を生かして、社会の課題を発見し、解決していくプラットフォームであり続けていきます。そして、ワイズメンズクラブに代表される、様々なグループ、個人が、これからもつながり続けて、「ポジティブネットのある豊かな社会」は何かを考え、どのようにして、共にポジティブネットのある社会を創るために努力するかが、「人間中心の社会」への鍵だと考えています。

この 1 年間、多くの課題に直面し、困難の中で過ごしてまいりました。しかしながら、困難に直面するたびに、新たな課題を発見し、新たな解決の方向性を見出し続けています。これは、YMCA とワイズメンズクラブが持っている、プラスの DNA ではないでしょうか。

私たちは、プラスに特化して歩むことはできませんが、マイナス面である、ネガティブにも対応しながら、「ポジティブネットのある豊かな社会の創造」を私たちの希望の灯として今後とも、伴に歩んでいきたいと考えています。引き続き、宜しくお願い申し上げます。

これまでの一年間の東日本区の皆様のご奉仕に感謝し報告とさせていただきます。　在主

ワイズ・YMCA パートナーシップ検討委員会を顧みて

Y リエゾン

山田　公平（宇都宮）

2017 年 2 月、ワイズメンズクラブ東西日本区交流会が東山荘で行われた。その時に東西ワイズのトップリーダーと YMCA 同盟の総主事を交えて、東西ワイズと全国 YMCA のパートナシップの在り方を検討、提案する委員会を組織したいと申し入れた。その結果、年に 2 回、1 泊 2 日の日程で 3 つの団体のトップリーダーたち 9 名とリエゾンが集まって、話し合いを定期的

に行うことが決められた。そして、2017 年秋からかなり詰めた話し合いが進められてきた。この委員会は 2022 年の 100 周年までの 5 年間継続して行うことになった。当初は、この 5 年間の内にできること、そして 1 年以内にできることなどを話し合い、同時に各地にある YMCA とワイズがパートナーシップの在り方を検討してきた。毎回、話し合いは、大変有効であった。しかし、なかなか具体的行動に至らないという現実も感じていた。総論賛成、だが実際に各地の話し合いは報告や情報交換レベルで終わっているケースが多いと感じていた。

2019-2020年度からはコロナ感染症の影響であまり進展は見られなかったが、2020 年 7 月以降は Zoom で集まることになった。時間は 2 時間以内で、それでも今までよりは頻繁に、具体的内容を検討するようになった。結局 2020-21 年度内に 6 回 Zoom で集まり、内容も具体的なものになっていった。2021-22 年度には YMCA とワイズのパートナーシップのコア事業として、地域ごとに YMCA と合意したところで行っていこうという事になった。初年度は全国 10 か所程度で行うという目標にした。そのための予算もタスクチームも置き、2023 年 2 月の東西日本区ワイズ交流会で発表することを目指そうという事になった。

ユースアクションについて

国連のSDGsにそって地域社会の課題に目を向けようとするプロジェクト提案を若者たちから募集する。選ばれた提案には、同じ地域のワイズと YMCA が共に様々な形でその活動への支え方ができる工夫をする。例えば、地域の大学と協力してサークル活動としてユースアクションに参加してもらうというような戦略を描けないものか。若者たちが、地域のために何かしたいという意欲を支えることが、ワイズと YMCA の役割となる。

日本の YMCA にとっても、この事業は未来への投資につながる。地域社会の問題に取り組みながら未来に向かう若者の活躍の場を生み出そうというのがこのユースアクションのねらいとなる。プロジェクト別にその地域のワイズと YMCA とユースグループが事業に責任を持つことになる。このような YMCA と Y's とユース（YYY）が、各地域にあって活躍する場を創り出し、応援者を見出していくこと。これが今後のワイズと YMCA の協働事業として推進されていくことを願っている。今年の秋から募集、年内に選考、そして行動は 2022 年中に行い、2023 年 2 月の東西交流会で発表という計画で進めていく予定である。

ワイズメンズクラブ国際協会　東日本区
2021-2022年度前期 現勢

2021.7.1

部　名 / クラブ名	2019 7.1	2020 1.1	2020 7.1	2021 1.1	2021.7.1 入会	2021.7.1 退会	2021.7.1 差引	直近 増減
北海道部								
札幌	8	8	8	8	0	0	8	0
北見	12	11	11	11	0	0	11	0
十勝	17	17	18	18	0	0	18	0
札幌北	9	9	9	9	0	1	8	△ 1
クラブ数:4	**46**	**45**	**46**	**46**	**0**	**1**	**45**	**△ 1**
北東部								
仙台	15	15	13	13	1	0	14	1
前橋	7	7	7	7	0	0	7	0
宇都宮	33	34	31	31	3	2	32	1
仙台青葉城	15	15	14	14	0	1	13	△ 1
*足利	1	1	1	3	0	0	3	0
*会津	5	5	5	5	0	0	5	0
宇都宮東	8	8	8	7	0	0	7	0
那須	6	6	6	6	1	1	6	0
もりおか	13	14	14	13	1	0	14	1
仙台広瀬川	16	16	15	15	0	1	14	△ 1
石巻広域	19	18	18	22	0	2	20	△ 2
クラブ数:11	**138**	**139**	**132**	**136**	**6**	**7**	**135**	**△ 1**
関東東部								
東京江東	21	21	22	22	0	1	21	△ 1
千葉	15	15	14	11	0	0	11	0
東京グリーン	17	17	16	16	0	0	16	0
埼玉	7	7	8	8	0	0	8	0
東京北	12	14	12	12	0	1	11	△ 1
所沢	9	9	11	11	1	1	11	0
東京ひがし	11	15	15	15	0	2	13	△ 2
川越	10	11	10	10	0	0	10	0
茨城	10	9	9	9	0	0	9	0
東京ベイサイド	14	16	15	15	0	1	14	△ 1
千葉ウェスト				8	0	0	8	0
クラブ数:11	**126**	**134**	**132**	**137**	**1**	**6**	**132**	**△ 5**
東新部								
東京	26	26	27	27	1	5	23	△ 4
東京むかで	13	12	11	12	1	1	12	0
東京世田谷	11	11	12	13	2	1	14	1
東京町田コスモス	9	8	8	8	1	1	8	0
東京センテニアル	8	8	8	8	0	0	8	0
東京多摩みなみ	14	14	12	12	0	2	10	△ 2
東京町田スマイリング	11	12	10	9	0	0	9	0
クラブ数:7	**92**	**91**	**88**	**89**	**5**	**10**	**84**	**△ 5**

部　名 / クラブ名	2019 7.1	2020 1.1	2020 7.1	2021 1.1	2021.7.1 入会	2021.7.1 退会	2021.7.1 差引	直近 増減
あずさ部								
甲府	35	35	33	33	1	4	30	△ 3
東京山手 (2020年6月解散)	11	11	—	—	—	—	—	—
東京西	15	13	12	12	0	0	12	0
東京武蔵野多摩	11	12	11	11	0	1	10	△ 1
*松本	11	11	10	10	0	0	10	0
東京サンライズ	15	16	19	19	0	1	18	△ 1
甲府21	32	37	38	43	6	1	48	5
東京八王子	15	16	13	13	0	0	13	0
東京たんぽぽ	7	9	9	9	0	0	9	0
*富士五湖	11	11	11	11	0	0	11	0
*長野	8	9	10	10	0	0	10	0
クラブ数:10	**171**	**180**	**166**	**171**	**7**	**7**	**171**	**0**
湘南・沖縄部								
横浜	12	12	12	11	2	1	12	1
*沖縄那覇	1	1	1	3	0	3	0	△ 3
鎌倉	8	9	8	9	0	0	9	0
横浜とつか	13	13	12	12	0	0	12	0
厚木	16	16	15	13	1	2	12	△ 1
金沢八景	13	13	12	11	0	0	11	0
横浜つづき	17	18	17	17	1	2	16	△ 1
*沖縄	14	15	15	12	0	12	0	△ 12
横浜つるみ	9	9	9	9	1	0	10	1
クラブ数:9	**103**	**106**	**101**	**97**	**5**	**20**	**82**	**△ 15**
富士山部 確認中7.12								
*熱海	43	47	45	45	2	4	43	△ 2
*沼津	13	15	15	15	0	0	15	0
*伊東	24	24	18	18	0	0	18	0
*三島	12	12	11	10	0	2	8	△ 2
*下田	7	7	7	7	0	1	6	△ 1
*熱海グローリー	17	15	13	13	2	0	15	2
御殿場	21	24	21	21	5	12	14	△ 7
富士	16	16	15	14	0	1	13	△ 1
富士宮	20	20	20	19	1	1	19	0
クラブ数:9	**173**	**180**	**165**	**162**	**10**	**21**	**151**	**△ 11**

東日本区合計	2019 7.1	2020 1.1	2020 7.1	2021 1.1	2021.7.1 入会	2021.7.1 退会	2021.7.1 差引	直近 増減
総クラブ数	**61**	**61**	**60**	**61**	クラブ数:59			**0**
総会員数	**849**	**875**	**830**	**838**	**34**	**72**	**800**	**△ 38**

＊印のクラブは、担当主事がいないか、または在籍していても
複数クラブ担当のため、当該クラブの人数には含めません。

2020-2021 年度

第 1 回東日本区役員会議事録

日　時：2020 年 7 月 11 日(土)18 時 35 分～20 時 30 分
方　法：Zoom によるビデオ会議
出席者：31 名(役員 16 名中 16 名)
記　録：東日本区書記　小山久恵

１．開会

開会挨拶　　板村哲也東日本区理事
・6 月 29 日に就任式、引き継ぎ式を終えた。
・この 1 年間よろしくお願いします。
・九州で豪雨、水害が起こっているが、家族、友人に被害をこうむった方がいらっしゃればお見舞い申し上げる。
・コロナの中、学ぶこと、得ることがたくさんあるので、ポジティブ思考でいきたい。
・役員会の準備期間が短く、あわただしかった。
・Zoom で時間が限られているが、審議、報告をよろしくお願いします。
・大野次期アジア太平洋地域会長が出席されているので、この機会にアジア、国際に持って行ってほしいことがあればお願いしましょう。
・新事務所長の小林さんの紹介。皆さんの支援をよろしく。

出席者確認
小山書記より出席者と欠席者の報告。
出席は 31 名。役員の出席は 16 名中 16 名。

議長
板村理事が、東日本区定款第 8 条第 2 項の定めにより、本役員会の議長を務める旨を述べた。

役員会成立の宣言
議長は議決権者の出席状況が、定款第 8 条第 4 項に定める要件(役員の 2/3 以上の出席)を満たしており、役員会が有効に成立したと宣言した。

議事録署名人選出
議長は、大久保次期理事と駒田文献・組織検討委員会委員長を議事録署名人に指名した。

２．議案審議・協議(議事の経過の要領およびその結果)

第 1 号議案「2019-2020 年度東日本区第 4 回役員会議事録承認の件」　(提案者：山田直前理事)
議長の指名により山田直前理事が議案書に基づき本議案の内容について説明を行った。
質疑応答はなく、議長が本議案の賛否を諮ったところ、議長を除く出席者全員(15 名)の賛成(挙手)をもって、原案どおり承認された。

第 2 号議案「2019-2020 年度東日本区年次代議員会議事録承認の件　(提案者：山田直前理事)
議長の指名により山田直前理事が議案書に基づき本議案の内容について説明を行った。
・メーリングリストで審議、6 月 22 日～28 日に fax、郵送、web で投票。
・ほとんど全員が賛成、一部反対。
その後、議長が本議案の賛否を諮ったところ、議長を除く出席者全員(15 名)の賛成(挙手)をもって、原案どおり承認された。

第 3 号議案「2020-2021 年度東日本区主催の会合での礼拝献金贈呈先の件」　(提案者：板村理事)
議長は議案書に基づき本議案の内容について説明を行った。
・コロナの状況で内容が変わるかもしれない。
質疑応答はなく、議長が本議案の賛否を諮ったところ、議長を除く出席者全員(15 名)の賛成(挙手)をもって、原案どおり承認された。贈呈先は下記の通り。
・東日本区東日本大震災支援募金
・熊本 YMCA 支援募金
但し、緊急に対応を行う必要がある案件が発生した場合は、常任役員会の決議により、贈呈先を変更することも有り得る。

第 4 号議案「2019-2020 年度東日本区会計決算報告および会計監査報告承認の件」　(提案者：山田直前理事)
議長の指名により山田直前理事が、病気療養中の増中直前会計に代わり、議案書に基づき本議案の内容について説明を行った。また漆畑監事が監査結果について報告を行った。
辻監事より行政監査の報告があった。
・従来の講評と異なり、東日本区定款第 19 条の監事の任務の規定に基づいておこなった。
・定款第 11 条を基本に作成。コロナ問題発生で、環境が著しく変化したため、前期と後期に分けて述べている。
・上半期は通常と同じで、山田理事がリーダーシップを発揮、高く評価する。
・下半期は正常な執行ができない難しい状況の中、緊急時の対処が適正であり、危機の場面でも、的確な判断とスピーディーな実行力の発揮があり、高く評価する。

監事からの要望事項
・東日本区定款は、平和時にベースを置いた内容となっているが、非常時には定款の適切(柔軟)な対応が求められる。
・会計の見直し
会計処理は現在は、事務所長に負っている。過去を振り返り、反省点を思い出し、将来の法人化も見据えたものにする必要がある。
・区会計の不在は様々な問題を含んでいる。長期の療養が分かった時点で代理人を立ててほしかった。

議長の指名により栗本 Change! 2022 推進委員会委員長より Change! 2022 推進委員会の会計決算の説明が行われた。

監事監査
・会計がしっかり報告されている。

監事からの要望
・予算がなかったので、今年度からは予算を立てること。
・ネット銀行の利用だが管理は複数の人に関わってほしい。

質疑応答の後、議長が本議案の賛否を諮ったところ、議長を除く出席者全員(15 名)の賛成(挙手)をもって、原案どおり承認された。

第 5 号議案「次々期理事の候補者指名について」
(提案者：板村理事)
板村理事が議案書に基づき本議案の内容について説明を行い、現時点で候補者が未定と報告を行った。
これに対し動議が提出された。
動議(板村)：指名候補者が決定次第、電磁的方法による臨時役員会を開催する。続いて代議員会を郵便で行う。今年度の次々期理事が決定するまで前年度指名委員長および委員が引き続き任務を継続する。
賛同者(セコンド)：大久保
議長が本動議について賛否を諮ったところ、議長を除く出席者全員(15 名)の賛成(挙手)をもって、承認された。

第 6 号議案「2020-2021 年度東日本区会計予算修正の件」

(提案者：板村理事)
議長の指名により利根川会計が議案書に基づき説明を行った。
年次代議員会にて今年度前期の区費の徴収を行わない2020年9月に計画されていたユースボランティア・リーダーズフォーラムが中止となったことなどにより、収支の大幅変更が確定したため、修正を行う。
支出の旅費・交通費を1/4削減で作成。
議長が本議案について賛否を諮ったところ議長を除く出席者全員(15名)の賛成(挙手)をもって承認された。

第7号議案 「第24回東日本区大会登録費の件」

(提案者：板村理事)
議長は議案書に基づき本議案の内容について説明を行った。
質疑応答はなく、議長が本議案の賛否を諮ったところ、議長を除く出席者全員(15名)の賛成(挙手)をもって、原案どおり承認された。
第24回東日本区大会(甲府湯村温泉郷、山梨)の登録費を以下の通りとする。
・メンバー及びパートナー　18,000円
・ユース(15歳から30歳) (当日開催のユースの会参加者)　10,000円
・コメット(中学生以下)　5,000円

第8号議案「樫村好夫ワイズの寄付金の件」

(提案者：板村理事)
議長は議案書に基づき本議案の内容について説明を行った。
議長が本議案の賛否を諮ったところ出席者(15 名)の賛成(挙手)をもって、原案通り承認された。
・故樫村好夫ワイズ(医師、富士クラブ)が遺言で100万円を富士クラブに寄付された。
富士クラブより、これを東日本区の活動に役立ててほしいとの申し出があった。本寄付金の位置づけ、運用方法を下記のとおりとする。
名称：樫村メモリアルプロジェクト
目的：医療関係のCS活動の補助など
運用：申請を受け、常任役員会で審議、決定
会計：一般会計の中で取り扱う。収入科目は寄付金とし、支出科目は使途が分かる科目を作る。
寄付入金時期：未定(2020-2021年度中)
その他：今期予算には組み込まない。発生主義で経理処理する。

3．区活動計画

プログラムに記載順に、計画の説明が行われた。
①理事方針　(板村理事)
区報、理事通信等、色々な機会で述べている。
コロナにめげず、あきらめないでやっていく。
②国際・アジア太平洋地域　(大野国際議員)
西日本区の役員会は4時間を予定。
国際の方針などメール等で伝えるべきことは伝えていく。自分自身が勉強中。
③地域奉仕・YMCAサービス事業　(小原事業主任)
・コロナ禍、豪雨被害が次々起こる中、自身の身を守りながら地域の実情に合わせ活動をし、ワイズで情報をシェアする。(区役員メールの活用)
・プルトップの収集終了周知。
個々のクラブで25kg集めるのは可能。
車いす1台の寄贈先を募集。
・ポジティブネットへの募金協力
・CS･Y サ・ASF の資金に対する支援はハンドブックP66参照。
・事業主査、部長と情報をシェアし、ウェブでの発信を予定している。委員会はZoomを利用して行いたい。
④会員増強事業　(伊藤事業主任)
・各部部長には半年報を期限までによろしくお願いする。
・新入会員は予想どおり、下半期はコロナの影響で、かなり減少。
・Change! 2022の2年目の計画の目標値は各クラブの純増数。
・7月千葉ウェストクラブ設立で1クラブ増える。前年度では複数の部から設立が見込まれていたが、今年度に期待する。
・各クラブの例会の持ち方で、オンラインでやる場合、出席率の扱いはどうなるか、今年度に決めて、クラブに流したい。
⑤国際・交流事業（米長事業主任）
・IBCを各部1組で7組締結を目標とする。
・すでにIBCを締結しているクラブにどのような活動をしているか調査する。
・ウェブ会議は距離があっても交流できるのでプラスである。
・ワイズで国際的に統一した会議ソフトを提案して、スムーズに世界とつなげたい。
⑥ユース事業　(三田事業主任)
・コロナで中止になったイベントがたくさんある。
・各クラブにやれること、やれないことを調査してユース委員会でやれることをみつける。
・熊本被災についてこまめに話を聞きたい。
・YVLF やOFY等をZoom等使用できたらと思う。
(板村) 会員増強で、国際が今年も9月1日から12月9日まで100日キャンペーンを実施する。
(利根川) 国際では理事レベルまでは Zoom でつながっている。
(伊藤) 2月1日開催のChange! 2022シンポジウムの報告集を印刷して、全員に配布する。
8月19日19:00から拡大EMC事業委員会を開く。

4．各部活動計画

プログラムに記載順に計画の説明が行われた。
①北海道部　(中村部長)
・YMCAブランディングへの協力
・各クラブ部長公式訪問は時期をみながらする。
・サッカー大会、リーダー研修会は中止。
・CSチミケップキャンプ、チャリティラン中止。
・リーダー派遣中止。
・IYCへ2名派遣予定を中止。
・部報は1回以上発行したい。
・4クラブ合同新年会を検討。
部大会8月22日(土)中止。
評議会をオンラインでできないか検討中。
②北東部　(南澤部長)
部大会中止。来年大震災10年目の節目で何かをする予定、それに合わせて部大会ができないか検討。
・コロナ支援でワイズ活動。
・留学生がアルバイトできないので、仙台のワイズがお米を提供。
③関東東部　(柿沼部長)
7月18日(土)新クラブ設立総会、その後評議会を行う。

10 月 3 日(土)新クラブチャーターナイトをかねて部大会を開催、10 時～12 時、弁当で昼食会、登録費は新入会員は無料。
交流会 Go Go キャンペーンを、コロナが落ち着けば下半期にやりたい。

④東新部　(加藤部長)
部大会 10 月 10 日(土)1:30～6:00 東陽町センター　式典、研修会、懇親会を予定。
・クラブでは Zoom 会議、顔合わせができないかと考えている。
・台風並みの洪水、コロナ禍でウェブ会議を利用し、友情の絆を強めつつ、3 密を避けてリアルな会が開ければよい。
・新クラブが早稲田方面で推進中。
・在日韓国 YMCA の財政が厳しいため募金協力。

⑤あずさ部　(御園生部長)
部大会　10 月 17 日(土)屋内、屋外共に使用できる会場を検討中。
7 月 18 日(土)の評議会は Zoom を用い、議案投票は郵送かメールで行う。
・公式訪問はキャンセルが続いている。
・CS 活動をどうするか各クラブが思案中。
・キックオフで 3 名入会。
・変わらねばならない状況で、柔軟に考え、ポジティブな行動を各クラブで実践してもらう。

⑥湘南・沖縄部　(古田部長)
部大会　10 月 3 日(土)3:00～5:00 横浜 YMCA 湘南戸塚の講堂　例会、研修会のみ
懇親会は行わない。
7 月 25 日(土)議会をリアルと Zoom を併用して行う。
・行事等は YMCA の活動に沿って協力。

⑦富士山部　(伊藤部長)
部大会　7 月末までに決定。
・7 月 5 日(土)に会長、書記、主査とで昼食会をもった。
・部長訪問は 12 月までに必ず実行。
・第 2 回評議会をするか否かを 11 月末までに決定。
・変化を楽しみ、ウェブ会議でもワイワイガヤガヤして、自分ができることをやろう。

５．委員会・専任委員等活動計画

プログラム記載順に、計画の説明が行われた。

①文献・組織検討委員会　(駒田委員長)
・課題が多く皆の協力を得たい。
・オンライン等新しいものに合った規定の見直しをする。
・近々に対応するものがあるのではないか。
・しやすい方法で活動したい。
・第 1 回委員会を 7 月 20 日 Zoom で行う。
前年度からの継続の課題、理事からの諮問事項などを検討する。

②LT 委員会　(山下委員長)
・前期は Zoom アカウントに呼応して、部長、主任をサポート。
後期は次期のキャビネットへしっかりと引き継いでいく。
・10 月 31 日(土)部長、事業主任研修。
・3 月 6 日～7 日クラブ会長、部役員研修。
リアルでやっていけないか検討中だが、あらゆる選択肢を準備する。

③JEF 運営委員会　(髙田委員長)　欠席

④ワイズメネット委員会　(澁谷委員長)
・2 年目の委員長で昨年できなかったことをする。
・会ってメネットの集いができないかを考えているが、難しければどのようにして各クラブのメネットとつながっていくか考えていきたい。
・アジア太平洋地域の委員長もするので、今までアジア太平洋地域について知らなかった人に委員会メンバーと共に伝えていければと思う。

⑤東日本大震災支援対策本部　(板村本部長)
・違う方法で活動が必要。経済的支援も必要。
・YMCA との協働もより必要。

⑥Change! 2022 推進委員会　(栗本委員長)
・前年度増員目標 100 名。前半好調、後半鈍った所にコロナが生じ現状維持位となったと思われる。
・FB を用いて外向きに広報、活動してもらうことで 30 クラブで立ち上がっているが活用状況は芳しくない。
・個人の FB も利用してのアピールも必要。
・毎月ニュースを発行、会長には印刷物を配布している。
・区の HP にアクションプランを掲載している。その中に 2022 年の各クラブの目標一覧表がある。

⑦ヒストリアン　(仙洞田ヒストリアン)
・部長、主任が報告を書くとき、5W1H に配慮して記録を作ってほしい。
・定例の会をやらなかったときは、中止と書いてほしい。
・最近は会議資料がデータで作成されることが多いが、事務所長には紙でも保存をお願いする。

⑧IT アドバイザー　(大久保アドバイザー)
・ウェブサイトとメーリングリストの維持、管理、運営が主業務。
・違う手法の IT のツールの活用による活性化。
これらを研修会、委員会、役員会等で伝えたい。

⑨トラベルコーディネーター　(長澤コーディネーター)
BF 代表がペルーから来日予定。今のところ 11 月 23 日から 1 週間東日本が受け入れ(昨年度 6 月予定が変更となった)。台湾区で 1 週間受け入れ。西日本区は受け入れを拒否している。

⑩広報・伝達(PR)専任委員　(渡辺委員)
・FB に広く区内のブリテンを載せる。
・理事通信に載せてほしい記事は渡辺副書記か小山書記まで連絡のこと。
・区の Zoom のアカウント運営に協力する。

⑪YMCA 関連　(光永担当主事)
・4 月から同盟総主事は田口さん。来週の西日本区の役員会の後、You Tube または Zoom でワイズへのあいさつの予定。
・コロナの影響、九州他での災害に各地の YMCA が活動。
・ポジティブネット募金を原資としてワイズの皆さん、会員の皆さんと全国的に活動しようと考えている。追って相談させて頂きたい。
・明るく前向きな活動を一歩ずつ進めたい。

⑫東日本区事務所　(小林所長)
・沼津クラブ所属、小山前所長と何か月か一緒に業務を遂行する。
・会計システムの改善、法人化を見据えて変化に対応できる事務所にしたい。
・気長に見ていてほしい。

６．監事講評

辻監事
・監査報告での要望事項は待ったなし。

・先行きが見えない船出だが東日本区運営を柔軟に運営するために必要な要望、課題と考える。
・早速検討に入るという文献・組織検討委員長の力強い話があった。
・小林さんの会計システムの検討の話も力強い。
・監査での指摘は山田年度のものであるが、これを板村年度に引継ぎ具体的検討をスタートして欲しい。
・柔軟に対応するために陰ながら、微力ながら協力したい。

漆畑監事
・活動計画がスタートした。いかに公正な財務分析ができるか、いかに地に足が着いた行動ができるかの 2 点が重要。
・より良い年度になるよう協力したい。

７．閉会

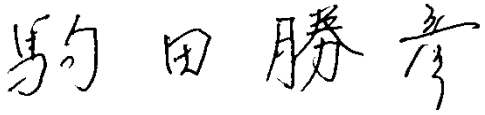
閉会挨拶　　大久保次期理事
・新年度に当たり、クラブ会長は不安に思っている。
・Zoom はどこからでも参加できるので、部長や区の役員がクラブの例会に参加することでモティベーションを上げることが必要ではないかと思う。
・クラブを力強くサポートする役員であればと思う。

第１回東日本区役員会出席者

【役員会メンバー】(16 名)
板村理事、大久保次期理事、山田直前理事、小山書記、利根川会計、小原地域奉仕･Y サ事業主任、伊藤会員増強事業主任、米長国際・交流事業主任、三田ユース事業主任、中村北海道部部長、南澤北東部部長、柿沼関東東部部長、加藤東新部部長、御園生あずさ部部長、古田湘南・沖縄部部長、伊藤富士山部部長
【役員会構成メンバー】(12 名)
辻監事、漆畑監事、駒田文献・組織検討委員長、山下 LT 委員長、澁谷メネット委員長、栗本 Change!2022 推進委員会委員長、仙洞田ヒストリアン、長澤トラベルコーディネーター、渡辺広報・伝達(PR)専任委員、吉田副会計、光永担当主事、小林東日本区事務所所長、
【オブザーバー】(3 名)
大野国際議員、衣笠次期書記、小山前事務所所長
【欠席者】
髙田 JEF 運営委員長、

議事録署名人
東日本区次期理事

議事録署名人
文献・組織検討委員会委員長



2020-2021 年度
臨時役員会議事録

日　時：2020 年 8 月 18 日(火)19:00～19:45
方　法：Zoom によるビデオ会議
出席者：19 名(役員 16 名中 11 名出席)
欠席者：5 名中 3 名委任状あり
　　米長晴信国際・交流事業主任(委任状あり)
　　三田庸平ユース事業主任(委任状あり)
　　伊藤一芳富士山部部長（委任状あり）
　　南澤一右北東部部長、加藤義孝東新部部長
記　録：東日本区書記　小山久恵

１．開会

開会挨拶　板村理事
・コロナはまだ収束の気配なく、残暑厳しい折、皆さんお元気そうで何よりだ。
・我々を取り巻く環境はまだ改善されていない。
・今日の議案は 1 件だけなので、審議終了後、出席者に意見等お願いしたい。
・定款第 8 条第 2 項の定めに従い、議長は理事が行う。
・議事録記録は小山書記、議事録署名人は大久保次期理事と駒田文献・組織検討委員長にお願いする。

出席者確認　小山書記より出席者と欠席者の報告
成立宣言　16 名の 3 分の 2 以上は 11 名以上。委任状を入れて 14 名出席ゆえ本会議は成立した。

２．議案審議

「次々期理事候補者指名の件」　（提案者　板村理事）
板村理事より議案名と提案内容、候補者の略歴が披露された。
宮内指名委員長より佐藤重良さん指名に至る経緯説明
・コロナ禍で中断を余儀なくされていた委員長としての活動を 7 月後半から再開した。
・各部、各クラブにも推薦の依頼をしてきたが、理事候補者は出てこなかった。
・最終的に甲府 21 クラブに依頼し、クラブから推薦いただいた佐藤さんにお願いし、引き受けていただいた。
・甲府 21 クラブは、ワイズ運動の原点ともいえる山梨 YMCA と共にということを実践し、また東日本区の喫緊の課題である会員増強を実現している魅力があり、東日本区のモデルとなるクラブである。
・2012 年度には駒田文献・組織検討委員長が理事を務めたクラブである。
・中心的役割を果たしている野々垣さんに相談し、野々垣さんを含む甲府 21 クラブのメンバーの中から推薦を依頼した。
・野々垣さん自身は、YMCA 理事長に就任のため、ワイズ理事との兼務はできない。
・クラブが自信を持って推薦できる人材である佐藤さんを紹介された。
・8 月 6 日に甲府 21 クラブに出向き、クラブ員と佐藤さん本人に会い、健康上の問題はないことを確認した。
・クラブとして全面的にサポートしてくれることを確約した。
・佐藤さんは人望が厚く、役員経験はないが、力を十分に発揮してくださることを確信した。
・ワイズ歴、経験が浅い点を補うために、別紙 2 に記載することを実行していただく。
・臨時代議員会で承認後、各委員会等に参加していただく。

・今年度と次年度で経験を積めば理事年度には問題はないであろう。
質疑応答
・指名委員会の意見はどうだったか。
⇒了解は得ている。
⇒7 名の委員のうち、湘南・沖縄部部長とだけ連絡が取れない。
・このところずっとあずさ部ばかりから出ている。
⇒クラブ、各部、個人の方々にお願いしたが、どこも受けてくれず、勢いのある甲府 21 クラブから推薦をもらえば、東日本区にとって一番良いと思っていた。
・湘南・沖縄部が返事をしていないとはどういう意味か。
⇒指名委員は当該年度の各部部長なので、直前部長を指している。
・今年も含めて監事まで 6 年任務に関わるので大変だなと思う。
⇒6 年ではなく、最低 3 年である。監事になるということは考えなくてよい。健康に問題がないので、やっていけるのではないか。
感想等
・佐藤さんに至った経緯を理解できる。
・佐藤さんの次の理事候補のことを考え、各部にいい方がいれば検討してほしい。
・素晴らしい方を選ばれた。
・ゼネコン出身なので人をまとめるのが得意なのではないかと期待している。
・皆さんご苦労なさって大変だなと思う。
・山梨 YMCA が新しい施設を与えられ、ワイズから様々のご協力をいただいている。
・元気ある地域が全国に元気を広げられればよい。

役員 16 名中議長を除く出席者 10 名全員と委任状 3 通、計 13 名の賛成で承認された。
今後の手続きは臨時代議員会で、最終的には郵便投票で決定する。

３．その他
・前年度の区報第 2 号は 2 回督促状を発信し、原稿待ちである。
・ACM は議事録を整理して報告する。
・来年のアジア・太平洋地域大会は、8 月 13 日～15 日に台湾の台南市で開催される。
　参加費は＄350 に決定。
・今年の国際大会が中止となったため、IYC も中止となった。来年 AYC に合わせ IYC も行う。
　AYC と IYC は関心の度合いが異なるため、派遣するメンバーの人選を考えねばならない。
　どのようにするか具体案はこれからなので、情報が入り次第知らせる。

４．部大会
関東東部：10 月 3 日
　部大会と新クラブチャーターナイトを兼ねる。
　役員、部メンバーの人数を制限する。
　会場は 132 人収容のところ 66 人にしぼる。
あずさ部：10 月 17 日
　わくわくビレッジ
　広いところなので、ソーシャルディスタンスは保てる。
北海道部：中止
湘南・沖縄部：10 月 3 日
　部内中心で 70 名以下(部外から 1 名ずつ、区から 1 名)、甲府 21 クラブから 4 名、区大会のアピールに来るが別室で待機してもらう。
　ソーシャルディスタンスを保ち、懇親会はない。

５．拡大 EMC 事業委員会
8 月 19 日(木)19 時～　Zoom 会議
本来ならば委員会メンバーだけの出席だが、情報共有をして皆で行う目的で、各部部長、主査、エクステンション委員長、Change! 2022 のメンバー計 36 名に召集をかけた。
オブザーバーとして参加してもらえたらありがたい。

６．YES 基金
新クラブ設立支援金の規則が昨年成文化され施行。
今期(仮)千葉ウェストクラブに贈呈。
新クラブ設立支援金規則の規定に整合性を欠く箇所があり修正が必要。
規則の改訂をいつ提出し、承認されるのか。
理事に送り、理事が文献・組織検討委員会に諮問する。
11 月の第 2 回役員会で間に合うのではないか。
成文化されたものはどこにあるのか。
今年のハンドブックに載っている。
PDF があるのでワードに変換し、板村理事が伊藤主任に渡す。

７．YMCA から
8 月 17 日から熊本 YMCA が人吉の多良木高校避難所の運営を始めた。
球磨村の世話をしている。
募金活動等、全国で支援しながら、避難所の運営を担当スタッフが 2 か月携わる。
今後とも様々な変化があるが、可能なところで協力をお願いする。

出席者
(役員) 板村哲也理事、山田敏明直前理事、大久保知宏次期理事、小山久恵書記、利根川恵子会計、小原史奈子地域奉仕・YMCA サービス事業主任、伊藤幾夫会員増強事業主任、中村義春北海道部部長、柿沼敬喜関東東部部長、御園生好子あずさ部部長、古田和彦湘南・沖縄部部長
(オブザーバー) 辻剛監事、漆畑義彦監事、
駒田勝彦文献･組織検討委員長、仙洞田安宏ヒストリアン、光永尚生東日本区担当主事、小林隆東日本区事務所所長、宮内友弥指名委員長、小山憲彦前事務所所長

議事録署名人
東日本区次期理事

大久保 知宏

議事録署名人
文献・組織検討委員長

駒田勝彦

臨時代議員会の説明会記録

日　時:　2020 年 8 月 29 日（土）19:00～20:20
方　法:　Zoom によるビデオ会議
出席者:　41 名
板村理事の挨拶
・皆さま元気そうで何よりだ。
・この会議は、本来なら書面で行うことが多く、拝顔できることが少ないが、早々にお顔を見ることができ良かった。
・今年度は難しい年ではあるが、皆と創意、工夫しながらこの 1 年間頑張っていきたい。
・イベント的なものを行って、絆を深めるのはやりにくい状況であるが、部会、例会では工夫しながらやっていただきたい。
・事務的な会議は Zoom のおかげで例年と変わらず順調に業務処理ができている。
・難しい局面を乗り切ってほしい。
・残り 10 か月よろしくお願いする。
議長
　宮崎直前北海道部部長が、東日本区定款第 6 条第 11 項の定めにより、本会議の議長を務めた。

議案の説明
第 1 号議案「2019-2020 年度東日本区会計決算報告および会計監査報告承認の件」　(提案者：山田直前理事)
　議長の指名により山田直前理事が、病気療養中の増中直前会計に代わり、議案書に基づき本議案の内容について説明を行った。また辻監事が監査結果について報告を行った。
　質疑応答なし
第 2 号議案「2020-2021 年度東日本区会計修正予算案承認の件」　(提案者：板村理事)
　議長の指名により板村理事および利根川会計が議案書に基づき説明を行った。年次代議員会にて今年度前期の区費の徴収を行わないことが承認されたこと、2020 年 9 月に計画されていたユースボランティア・リーダーズフォーラムが中止となったことなどにより、収支の大幅変更が確定したため、修正を行う。支出の旅費･交通費を 1/4 削減で作成。
　質疑応答なし
第 3 号議案「東日本区次々期理事候補者承認の件
(提案者：板村理事)
　議長の指名により板村理事が議案の説明を行った。
　続いて板村理事の指示により宮内指名委員長が佐藤重良さんの略歴および指名に至る経緯の説明を行った。
・コロナ禍で中断を余儀なくされていた委員長としての活動を 7 月後半から再開した。
・各部、各クラブにも推薦の依頼をしてきたが、理事候補者は出てこなかった。
・最終的に甲府 21 クラブに依頼し、クラブから推薦いただいた佐藤さんにお願いし、引き受けていただいた。
・甲府 21 クラブは、ワイズ運動の原点ともいえる山梨 YMCA と共にということを実践し、また東日本区の喫緊の課題である会員増強を実現している魅力があり、東日本区のモデルとなるクラブである。
・2012 年度には駒田文献・組織検討委員長が理事を務めたクラブである。
・中心的役割を果たしている野々垣さんに相談し、野々垣さんを含む甲府21クラブのメンバーの中から推薦を依頼した。
・野々垣さん自身は、YMCA 理事長に就任のため、ワイズ理事との兼務はできない。
・クラブが自信を持って推薦できる人材である佐藤さんを紹介された。
・8 月 6 日に甲府 21 クラブに出向き、クラブ員と佐藤さん本人に会い、健康上の問題はないことを確認した。
・クラブとして全面的にサポートしてくれることを確約した。
・佐藤さんは人望が厚く、役員経験はないが、力を十分に発揮してくださることを確信した。
・ワイズ歴、経験が浅い点を補うために、臨時代議員会で承認後、各委員会等に参加していただく。
・次年度は次期理事と他の役職を兼務していただく。
・指名委員会では、電話、メールで全員の了解を得ている。
・会員増強、Change! 2022 に好影響を与えてくれると期待している。
　輿水甲府 21 クラブ会長
　　佐藤さんはクラブの会員が増え始めた頃の入会で、積極的にイベントに参加し、リーダーシップを発揮、皆からの信頼も厚い。
　　略歴で会長就任年度の 2016-2017 を 2017-2018 に訂正。
　質疑応答なし

連絡事項　伊藤会員増強事業主任
・去年 1 年の後半はコロナ禍のため会員増強は停滞している。
・会長あてに送付したシンポジューム報告集をメンバーに配布してほしい。
・報告集 p5 の表は、去年の会長から 2022 年までの 3 年間の増員目標を出してもらったものだが各クラブとも厳しいと推測される。
・アクションプラン I の目標値 1246 名は厳しさが想定されるのでアクションⅡを出した。
・アクションプラン I において各クラブで出してもらった会員増員目標は＋280 だった。
・各部で新クラブ設立は、去年はできなかった。去年の目標は 13 クラブ設立。
・今年の 10 月、関東東部に新クラブ誕生。
・部長、エクステンション委員長、主査を中心にしてリモート会議を定期的に開くことをお願いする。
・アニバーサリープレゼントプランは周年記念を迎えるクラブに知人、友人を紹介する。
　3 年間で 36 クラブが周年記念を迎える。
・会長あてに紹介するので、受け入れ体制を整える。
　現メンバーのうち 7 人に 1 人、15%が紹介加入者である。
・830 人の 1 割、83 人が紹介されると目標に近づく。
・部長、エクステンション委員長、主査が各会長あてにヒアリングをする。
・クラブ独自、部の新クラブ設立、アニバーサリープレゼントプラン紹介者の 3 つで会員増強を目指す。

出席者から一言
・今期の出席率の扱いはどうすればよいか。
⇒例会中止なら中止。従来通り。Zoom 参加の場合は出席とみなす。
　この件は後日書面で案内する。
・熱海クラブの会員数を目指して頑張る。
・コロナの時期にコンサートを開いて人を集めようとしているメンバーがいる。明日実施。皆さんの意見、知恵を借りたい。
・佐藤さんの次の理事について人選をしてさがす努力を

していかなければと思う。チャリティーでサツマイモをぜひ買ってほしい。
・10 月の例会で Zoom の説明を聞き、他クラブの例会を見たい。
・初めての会長で、周りに助けてもらっている。
・孤立感があったが、今日初めて参加して、初めてお会いする方も多かった。9 月の例会をどうしようか迷っている。どういうやり方が可能か。
・明日仙台青葉城クラブの 40 周年記念式。北東部はエリアが広く、エクステンションも大変。
・車椅子の申し込みは今月中。
・8 月例会に大勢来てくれてありがとう。
・YMI ワールドの記事募集中。地域の CS 活動やコロナに対する活動について。
・メンバーは 8 人だが 2 人増えそうだ。東新部で新潟のクラブがなくなっているので、そのあたりに新しいクラブができることを願っている。
・Zoom は初めて。10 月からクラブの役員会で Zoom の勉強会をし、ハイブリッドの例会をしようとしている。
・東京クラブは 90 周年を迎えるので、東京周辺の知人を紹介してほしい。東新部が新宿周辺に新クラブ設立の計画をしているので協力をお願いする。
・クラブには遠距離で例会に参加している人がいる。Zoom が利用できれば良い。
・10 月 3 日に新クラブチャーターナイトが行われる。人数制限のため出席者は半分になるが、支援をよろしくお願いする。
・部で 2 度ほど Zoom の会をやっているが、今日の出席者でその会には出ていない人は、今度会をする時には出席してほしい。
・コロナ禍での懸案事項、残務処理を片付けたい。わからないことがあれば事務所に連絡してほしい。自分も勉強しながらやっていく。
・部内の各クラブ会長あてにヒアリングを送った。次のステップが見えてきた。
・コロナ対策を万全にして公式訪問に行った。仙台 4 クラブ以外はリモート参加したい。
・メンバーの平均年齢は 80 歳に近い。3 月以降定例会は中止で、いつ再開できるかわからない。現状維持することが最大課題で、増やすより減らさない。PC を使った会議はできない。活動を絶やさないようにやっていく。
・パソコンがつながらず遅れて参加した。10 月 3 日部大会予定。
・各クラブ訪問を始めている。9 月 26 日の部大会は富士山部の役員だけで 3 密にならないようにする。
・クラブ設立 90 周年を迎える。9 月 10 日の例会で、90 年の歴史を振り返るということで加藤利栄さんの卓話がある。ハイブリッド方式の例会にぜひ参加してほしい。

辻監事
・Zoom での参加ご苦労様。
・監事は定款を守れと堅いことをお願いしているように見えるが、コロナ禍の中では定款についても柔軟に対応、適切な運営をすることが大切だ。
・例会のないワイズ、会わないワイズとならないよう何らかの形でつながっていけるように、お互いに知恵を絞って、難関を乗り切っていこう。

漆畑監事
・一人一人の顔が間近に見える Zoom も良い。
・今後ワイズでも色々な形が出てきて、会議の持ち方も定着してくるのではないか。
・顔を合わせようという努力をして、人との繋がりもつことを期待しながらやっていこう。

大久保次期理事
・説明会参加ありがとう。
・審議しなくてはならない部分はあるが、状況の変化にどう対応するか、各クラブ、部、区も考えなくてはならない。
・垣根を越えて、会長会をやろうと思えばできる。
・ピンチをチャンスに変えて頑張っていければ良い。

出席者

板村理事、大久保次期理事、山田直前理事、小山書記、利根川会計、中村北海道部部長、南澤北東部部長、加藤東新部部長、御園生あずさ部部長、古田湘南・沖縄部部長、伊藤富士山部部長、宮崎直前部長(会長兼務)、鈴木直前部長(会長兼務)、金丸直前部長、重堂会長、小谷会長、中川会長、上松会長、吉野会長、今井会長、松香会長、爲我井会長、標会長、篠原会長、渡辺会長、金井会長、輿水会長、花輪会長、森本会長、古賀会長、鈴木会長、辻監事、漆畑監事、伊藤事業主任、小原事業主任、山下 LT 委員長、吉田副会計、小林事務所長、宮内指名委員長、大川さん、小山さん

2020-2021 年度
第 2 回東日本区役員会議事録

日　時：2020 年 11 月 7 日(土)19 時～21 時 37 分
方　法：Zoom によるビデオ会議
出席者：33 名(役員 16 名中 16 名)
記　録：東日本区書記　小山久恵

1．開会

開会挨拶　　板村哲也東日本区理事
・鈴木忠雄さん(三島クラブ)の訃報について話し、皆で冥福を祈り黙とうした
・今年度も早 4 か月、1 年の 3 分の 1 が経過した
・これまでの活動状況は、ブリテン等で報告があり、理事通信では、部大会の様子等を報告した
・難しい環境の中で、工夫し、ワイズダムの発展のために活動してくれてありがたい
・できないことの理由を探すのは簡単だが、1 つでも 2 つでもできることを発見して、新しいことに取り組んでほしい
・一旦下火になったコロナに再燃の兆しがある
・北海道でも大きな数字が出ているが、気を引き締めて活動していきたい
・議案審議、活動報告よろしくお願いする

小山書記より出席者と欠席者の報告。
出席は 32 名。役員の出席は 16 名中 15 名(後に役員 1 名出席)

議長
板村理事が、東日本区定款第 8 条第 2 項の定めにより、本役員会の議長を務める旨を述べた。

役員会成立の宣言
議長は議決権者の出席状況が、定款第 8 条第 4 項に定める要件(役員の 2/3 以上の出席)を満たしており、役員会が有効に成立したと宣言した。

議事録署名人選出
議長は、大久保次期理事と駒田文献・組織検討委員会委員長を議事録署名人に指名した。

2．議案審議(議事の経過の要領およびその結果)

第 1 号議案「2020-2021 年度東日本区第 1 回役員会議事

録承認の件」　(提案者：板村理事)
議長の指名により板村理事が議案書に基づき本議案の内容について説明を行った。
訂正箇所
6 ページ第 7 号議案「2019-2020 年度入会の会員に対する東日本区大会登録費補助の件」
→「第 24 回東日本区大会登録費の件」
7 ページ左下から 4 行目、「ポジティブネットワークの募金協力」→「ポジティブネットへの募金協力」
質疑応答はなく、議長が本議案の賛否を諮ったところ、議長を除く出席者全員(15 名)の賛成(挙手)をもって、修正を加え承認された。

第 2 号議案「2020-2021 年度東日本区臨時役員会議事録承認の件」　(提案者：板村理事)
議長の指名により板村理事が議案書に基づき本議案の内容について説明を行った。
議長が本議案の賛否を諮ったところ、議長を除く出席者全員(15 名)の賛成(挙手)をもって、原案どおり承認された。
質問：第 1 号議案、第 2 号議案共に、議事録署名人の署名がないが、なくてもよいのか
答え：承認を得てから署名をしてもらうことになった

第 3 号議案「2021-2022 年度東日本区役員指名の件」
(提案者：大久保次期理事)
議長の指名により大久保次期理事が、議案書に基づき本議案の内容について説明を行った。
質疑応答はなく、議長が本議案の賛否を諮ったところ、議長を除く出席者全員(15 名)の賛成(挙手)をもって、原案どおり承認された。

第 4 号議案「Change! 2022 推進委員会規則の改訂案の件」
(提案者：伊藤会員増強事業主任)
議長の指名により伊藤会員増強事業主任が、議案書に基づき本議案の内容について説明を行った。
第 2 条第 2 項に「助成金」を追加する
第 4 条を改訂
訂正箇所
議案名を「規則」の後に「施行細則」を補い、「Change！2022 推進委員会規則施行細則改訂案の件」とする
提案年月日の「7 月 11 日」を「11 月 7 日」に訂正
千葉ウェストクラブに先行実施で 10 月に贈呈されたことも承認されたい
議長が本議案について賛否を諮ったところ議長を除く出席者全員（15 名）の賛成（挙手）をもって、修正を加え承認された。

第 5 号議案「Change!2022 推進委員会　2020-2021 年度予算案の承認の件」　(提案者：伊藤会員増強事業主任)
訂正箇所
支出の部上から 5 つ目「同マニュア作成費」→「同マニュアル作成費」
議長が本議案について賛否を諮ったところ、議長を除く出席者全員(15 名)の賛成(挙手)をもって、修正を加え承認された。

第 6 号議案　「新クラブ設立支援金規則の改正案の件」
(提案者：伊藤会員増強事業主任)
議長の指名により伊藤会員増強事業主任が議案書に基づき説明を行った。
第 3 条第 1 項、第 2 項に修正を加えた
文献・組織検討委員会からの答申を受けている
質問：以前は 2 回に分けて支給だったが、1 回にまとめてしまうという提案で、当時、現行規則の内容での提案であったが、伊丹さんはこれで承知しているのか
答え：ロースター11 ページに 10 万円を一括で支給するとなっていて、今年の 4 月 12 日から施行されている
今回の提案はこのことではなく、申請時期が明確でなかったため、設立総会の日程が決まった時に申請し、設立総会時に贈呈するとした提案である。
伊丹さんも了解している
議長が本議案について賛否を諮ったところ議長を除く出席者全員(15 名)の賛成(挙手)をもって承認された。

第 7 号議案「2019-2020 年度入会の会員に対する東日本区大会登録費補助の件」　(提案者：板村理事)
議長の指名により板村理事が議案書に基づき本議案の内容について説明を行った。
質疑応答はなく、議長が本議案の賛否を諮ったところ、議長を除く出席者全員(15 名)の賛成(挙手)をもって、原案どおり承認された。

第 8 号議案「東日本区法人化準備委員会の設置および東日本区法人化準備委員会規則の制定の件」
(提案者：板村理事)
訂正箇所
25 ページ 2．検討結果(2)「資料②」→「資料③」
26 ページ第 2 条(3)①「そのために」を削除
26 ページ第 4 条「(8)オブザーバー」を削除
26 ページ第 4 条(7)その他の後に「理事が必要と認める者」を追加
25 ページ 2．検討結果(2)資料①任意団体から「法人化への転換」→「一般社団法人への登録」
議長の指名により板村理事が議案書に基づき本議案の内容について説明を行った。
10 月 27 日、法人化検討状況説明会に集まってもらい皆に理解してもらった
法人化検討委員会で 9 割がた決まったが、更に詳しいこと、皆からの質問を検討し、分析して、来年の 6 月の代議員会で承認してもらうのが目的である
代議員会の議決権者は会長なので、推進委員会には役員に参加してもらい、更に勉強して、会員の皆さんに理解してもらい、納得して進めたい
集中的に作業を進め、法人化にもっていきたい
質問：第 4 条(8)オブザーバーが委員とはならないのではないか
答え：確かにそうだ
オブザーバーとして理事と監事に出席してほしい
質問：25 ページ 2．(2)「任意団体から法人への転換」とすると、任意団体がなくなって、法人になると誤解される
法人への登録という方が良い
転換というと任意団体から変わってしまうと思う
答え：貴重な意見ありがとう
質問：(7)その他は具体的にどういう意味か
答え：(6)までに入らない人で、その時々で適する人を選ぶ
現在役についてなくて、委員になってもらいたい人
理事、委員長の裁量で選ぶ（定款 11 条 8 項、施行細則 6 条による）
意見
・その他に「理事が必要と認める者」を入れておけばよい
・27 ページ 5 条を流用すれば事足りる
・これは任命のプロセスで誰を任命するかのことではない
・委員長が回によって参加を認める、例えば法律家等を、その時だけお願いするということは、どこにも書い

ていない
・アドバイスをいただくオブザーバーとして参加し、意見を聞く
・色々な人が来るのでなければ取り立てて書く必要はない
答え：東日本区の中で知識を持っている人がいるので、部外者は考えていない
宮内法人化検討委員長
法人化検討状況説明会への出席ありがとう
貴重な指摘や意見、質問ありがとう
髙田さんから指摘されたことを確認し、徹底したい
法人化によって、部、クラブそれぞれの会員の役割、負担に変わりはない
国際協会はスイスで NPO 法人資格を取得していて、税金面でメリットがあるが、運営はワイズの国際憲法に則っている
東日本区も普段は区定款に沿い、法律上の権利、義務を行使の時は一般社団法人に従う
クラブ運営に影響はない
クラブの活動制限、自主性を損ねることはない
議長が本議案の賛否を諮ったところ、議長を除く出席者全員(15 名)の賛成(挙手)をもって、修正を加え承認された。
理事が準備委員会委員長に宮内法人化検討小委員会委員長を任命
宮内委員長がこれを受け、委員を推薦し理事が任命した
(1) 宮内、大久保、加藤利榮、斎藤、清水、山田、若木
(2) 駒田、利根川(重複)
(3) 中村、南澤、柿沼、加藤、御園生、古田、伊藤
(4) 小原、伊藤、米長、三田
(5) 小山、利根川(重複)、衣笠、鈴木
(6) 小林
他にオブザーバーで板村、辻、漆畑
計 27 名

３．区活動報告
プログラムに記載順に、活動報告が行われた。
①東日本区の現況　(板村理事)
・献金目標達成に協力をお願いする
コロナ禍で身体を動かして活動できないので経済的なことで協力
・10 月末現在会員数 847 名、少しでも増えるようお願いする
・Zoom アカウントに、必要な時に通訳機能を付けるので、IBC との旧交を温めてほしい
・部大会では新たな学び、経験を得られたと思う
・BF 代表は５月に延期
・国際選挙は会長が行うが、国際憲法ガイドライン 411 の特別申請をする予定
②国際・アジア太平洋地域　(大野国際議員)　欠席
③次期理事活動方針　(大久保次期理事)
・来期もコロナの影響を受けるだろう
・Zoom で交流はできるが温度を感じられない
・準備委員会でも積極的な活動をしたい
・Zoom は距離を感じさせない交流ができる
④地域奉仕・YMCA サービス事業　(小原事業主任)
・エッセンシャルワーカー表彰について
エッセンシャルワーカーとはコロナ禍において人々の生活に必須の仕事を担って、感染リスクのある中、仕事をしている医療従事者、公共事業従事者、日用品等の販売従業員などで、メンバーの中に該当する人がいれば、会長が国際のウェブサイトから登録する事をお願いする
・その他の報告は理事通信 11 月号参照
・デジタル化の一方で、ネットを使わない人、使えない人のサポートも行ってほしい、情報格差解消への配慮をお願いする
⑤会員増強事業　(伊藤事業主任)
・ヒアリングで、コロナ禍でクラブの会員増員目標を立ててもらったが、変化があるか問うた
・千葉ウェストクラブの純増 6 名、甲府 21 クラブの純増 5 名はうれしい
・コロナ禍で会員増強は難しく、逆に退会をなくすだけで精一杯という声が出ている
・各部が 2 クラブ達成するのは厳しい
・アニバーサリープレゼントに望みをかけたい
・アニバーサリープレゼントで、新入会員を紹介することにより、400 名近い増員を達成する方向に向かって進みたい
⑥国際・交流事業　(米長事業主任)
・IBC について全クラブにアンケートを実施
・11 月中に結果をまとめてお知らせする
・12 月 12 日に横浜クラブと熊本スピリットクラブが、横浜クラブの 90 周年記念式典で、DBC 締結する予定である
⑦ユース事業　(三田事業主任)
・多くの活動が中止になった
・オープンフォーラム Y の開催では、できることを見つけてやっていけばと考えている
・ユースの活動の現状をアンケート調査する予定である
(利根川)アジア太平洋地域会議があった。
2021 年 8 月 13 日～15 日、台南でアジア太平洋地域大会が開かれ、8 月 11 日～15 日に AYC が開催されるが、AYC と IYC を合同でする。台湾では 200 名の参加者を予定している。準備として早くからオリエンテーション等するので、今期に関わってくることを承知しておいてほしい。

４．各部活動報告
プログラムに記載順に活動報告がなされた。
①北海道部　(中村部長)
・会員とのコミュニケーションを取り進めているところである
・Zoom で役員会を行った
・11 月 13 日に Zoom で全体の会員交流会を予定しているが、Zoom に慣れていない人が多く、先ずは参加が第一と考えている
・会合はしばらくは Zoom でしかできないが、本当は対面式で行いたい
・北海道でコロナが増えて、部長公式訪問が中止になった
・活動方針に沿った事業にしていきたい
②北東部　(南澤部長)
・仙台青葉城クラブの 40 周年記念例会では、アルコール消毒、マスク着用、広い会場と気を付けていたが、お酒が入ると守るのはむずかしかった
・1995 年生まれの若い人が入会した
・12 月にもりおかクラブの例会に参加し、入会式に参列予定
・仙台青葉城の 40 周年記念例会のエクスカーションを別の日に行った
③関東東部　(柿沼部長)
・クラブ交流が実際には実施できず、自ら行かずとも Zoom でもよいとなった

・ワイズだけではなく、他の奉仕活動をしているところ、ライオンズクラブ等に行って、自クラブとの比較をしてみてもよい、自由に動くよう奨励している
・Zoom は、物理的に障害がなく、会議がスムーズに行くので IBC に向いていると再発見した
・東京ベイサイドクラブは次の世代のために、IBC を希望しているが、その前に DBC を結びたいと思っている
・コロナ禍のもと、CS 事業促進制度を作り、各クラブに資金を配り、自由に使ってよいが報告はするようにとした
・あるクラブでは小学生の校外学習に使った
・エクステンションで牛久に新クラブ設立を計画中

④東新部　(加藤部長)
・部長公式訪問をどうするか悩んだ
・東新部は 7 クラブの中で半分以上が高齢化している
・今年度、周年記念を迎えるクラブは東京、東京むかで、東京世田谷、町田コスモスの 4 クラブ
・年配者は外に出られない状況で、ウェブを活用して、4 クラブの例会に参加、中止をしないでほしいという希望で実現した
・東新部大会は、オンライン 37 名、会場 31 名の 68 名が参加した
・「多世代共生時代」について研修を行った
・高齢化しているクラブに新人を誘うのはむずかしい
・周年行事のあるクラブが、アピールして、アニバーサリープレゼントをいただけるようにしたい
・新宿早稲田に新しくクラブを作る話があるが、コロナ禍で進めるのがむずかしい、どう取り組んでいくかが後期の課題である
・フレッシュワイズを開催するが、新人がいない、クラブの活性化のためにどう取り組むかのセミナーに変えようと考えている

⑤あずさ部　(御園生部長)
・Zoom 等を活用して情報を共有しているが、できない人のために部長通信を 4 回発行した
・CS ができない代わりに、手作りマスク等、医療関係への協力に対する援助をする
・11 月 14 日に甲府 21 クラブがオーストラリアのアデレードと IBC を結ぶ

⑥湘南・沖縄部　(古田部長)
・部長公式訪問は湘南地区 7 クラブが終わった
・横浜 YMCA とワイズメンとの定例会を 9 月に実施し、次回は 12 月 1 日に予定している
・部大会は、広い場所で、広がって行った
・次期部長が決まっていないが、11 月 28 日の第 2 回評議会には決めたい
・つながりマスクということで、手作りのマスクを学童、留学生に贈るという活動をしている
・沖縄クラブから、沖縄部を作りたいという申し出があり、10 月 24 日臨時評議会を開いた
・湘南・沖縄部としては、円満に沖縄部ができるのであれば大賛成である
　沖縄那覇クラブとの関係もうまくできて、実現すればいいなと思っている
・これから、理事とも相談しながら進めていきたい

⑦富士山部　(伊藤部長)
・鈴木忠雄さんへの黙とうありがとう
・富士山部役員が、鈴木さんのご自宅にお悔やみに行った
・11 月 10 日、東山荘チャリティーゴルフに参加、屋外でするので密にならない
・12 月 8 日、沼津クラブ例会に参加予定
・各クラブが例会を見合わせていて、伊東、三島クラブには行っていない
・この 2 つのクラブは、Zoom をしない
・1 月 23 日、第 2 回評議会の準備に入っている
・後期に向けて、新役員を各クラブから選出してもらう
・何をやっていいか暗中模索している

５．委員会・専任委員等活動報告

プログラム記載順に、活動報告がなされた。

①文献・組織検討委員会　(駒田委員長)
第 1 回委員会
・今年度に当たる課題、理事諮問事項等や前年度の引継ぎ実行等を整理した
・担当者を決め、分担の確認をした
第 2 回
・担当する項目をまとめ、報告があった
・10 月 12 日第 3 回に法人化検討小委員会からの報告だけの会を開くことにした
・一つだけ規定がないものがあるので、今後検討する
第 3 回
・法人化検討小委員会の報告を受けた
・10 月 27 日に区役員関係者への説明会を開き、28 名の参加があった

②LT 委員会　(山下委員長)
・前半は、リモートの関係が増えると思い、サポートを数件行った
・10 月 31 日の次期部長・事業主任研修会には 25 名の参加があり、前例がない Zoom によるワールドカフェという自己啓発プログラムをもって開催した
・運営には、渡辺副書記のオペレーションが確かなものだったので、スムーズに実施できた
・3 月の次期会長・部役員研修は、現時点では東山荘において対面式で行う予定である

③JEF 委員会　(髙田委員長)
・研修会等がなかったため、毎月献金を集めるのが思わしくなかった
・年間５０万円の目標を立てている
・周年にあたっての献金を御願いしたい旨、各クラブへ働きかける

④ワイズメネット委員会　(澁谷委員長)
・今年度はまだ委員会が開けていないが、11 月中または 12 月に四谷で開くことを調整中である
・メネット献金の依頼を各クラブに送る
・具体的にはまだ決まっていないことが多いが、活動予定を全部行いたいと思っている

⑤Change! 2022 推進委員会　(栗本委員長)
・今年 2 年目を迎えるが、会員増強運動としては 3 年目となる
・今年度、マイナスから始まって申し訳ない
・昨年はアクションプランⅠを作ったが、今年はアクションプランⅡを作った
・Zoom 会議は、北海道や北東部のようにクラブ間の距離があるところでも委員会が開きやすい
・出席率もよく、金銭もかからない
・部の中でもエクステンション委員会等を開いてほしい
・新たな魅力あるクラブ紹介のリーフレットを作っている
・チェンジのこと、アクションプランのことを知らないメンバーがいるので、会長、部長は全員に伝わるようにしてほしい
・チェンジニュースを毎月発行しているので、メール環境の

整っていないメンバーに、会長、部長から見せてほしい
⑥ヒストリアン　(仙洞田ヒストリアン)
・クラブの周年行事が今年は多いが、記念誌を発行するクラブは、記念誌を私あてに送ってほしい
・DBC、IBC の締結書のコピーは、事務所に送ってほしい
・記念誌は同盟の地下に保存している
・甲府クラブは 70 周年行事は中止したが記念誌だけを発行する
⑦IT アドバイザー　(大久保アドバイザー)
・ホームページを外向きに変える
・ホームページのリニューアルを今後していきたい
・皆からコンテンツをいただきたい
・Zoom を使って、多面的に活用してほしい
・事業主任、主査が部長に知らせて、事業主任の会議に部長が出席できるようにする
①トラベルコーディネーター　(長澤コーディネーター)
欠席
⑨YMCA 関連　(光永担当主事)
・大阪 YMCA を会場にキャンプ 100 という催しがユーチューブで発信された
・改めて再発信する
・東山荘の年末、年始のイベントを人数制限して開催する
・すでに 90 名が宿泊予定している
・全国の YMCA が様々な形でチャレンジとトライアンドエラーを続けている
⑩東日本区事務所　(小林所長)
・6 日に各部長宛てに、各部の活動費を振り込んだ
(清水法人化検討委員)
皆さまのお働きに感謝する
(斎藤法人化検討委員)
・実質的な議論は説明会でなされた
・法人化の具体的な話もさらに詰めて進めなければならないので頑張る

６．監事講評
辻監事
・昨年度の行政監事報告で、色々お願いしたがほとんどすべて関係各所で対応してもらってありがたく思う
・法人化についてはぜひ前向きに、必ず実現するようご協力をお願いする
・法人化されれば、東日本区の適正な運営に役立つ
・YES 基金に関して、ロースターのワイズ用語集にはあるが、規則を作成することを早急に検討してほしい
・対面式に勝る例会はなしということで、無理のない範囲で、対面式例会を常に心がけたい
漆畑監事
パソコンの調子が悪く、途中退席

７．閉会
閉会挨拶　　大久保次期理事
IT アドバイザーとしての報告
長時間の会議お疲れ様
第 2 回東日本区役員会出席者
【役員会メンバー】(16 名)
板村理事、大久保次期理事、山田直前理事、小山書記、利根川会計、小原地域奉仕･Y サ事業主任、伊藤会員増強事業主任、米長国際・交流事業主任、三田ユース事業主任、中村北海道部部長、南澤北東部部長、柿沼関東東部部長、加藤東新部部長、御園生あずさ部部長、
古田湘南・沖縄部部長、伊藤富士山部部長
【役員会構成メンバー】(12 名)
辻監事、漆畑監事、駒田文献・組織検討委員長、山下 LT 委員長、髙田 JEF 委員長、澁谷ワイズメネット委員長、栗本 Change!2022 推進委員会委員長、仙洞田ヒストリアン、渡辺広報・伝達(PR)専任委員、吉田副会計、光永担当主事、小林東日本区事務所所長、
【オブザーバー】(5 名)
宮内法人化検討委員長、清水法人化検討委員、斎藤法人化検討委員、衣笠次期書記、小山前事務所所長
【欠席者】(1 名)
長澤トラベルコーディネーター、

議事録署名人
次期理事
大久保知宏

議事録署名人
文献・組織検討委員会委員長
駒田勝彦

2020-2021 年度
3 回東日本区役員会議事録

日　時：2021 年 4 月 10 日(土)18 時～21 時 51 分
方　法：Zoom によるビデオ会議
出席者：39 名(役員 16 名中 15 名)
記　録：東日本区書記　小山久恵

１．開会
開会挨拶　　板村哲也東日本区理事
・ワイズ年度も 4 分の 3 が過ぎ、残り 4 分の 1、残すところ 3 か月となった。
・コロナの関係で思うに任せなかったが、皆さんの協力でここまでこられた。
・残り 3 か月、諦めずに頑張っていきたい。
・会員増強は一進一退であるが、4 月になって、熱海クラブで 2 名、甲府 21 クラブで 3 名の入会者があり、新たなクラブの設立の動きも芽生えてきている。
・次期の皆さんも来期の準備が始まっているでしょうが、今期の役員と意思疎通をよくし、順調に来期を迎えてほしい。
・議案審議、活動報告よろしくお願いする。
小山書記より出席者と欠席者の報告。
出席は 30 名。役員の出席は 16 名中 14 名(後に役員 1 名、オブザーバー8 名出席)。
議長
板村理事が、東日本区定款第 8 条第 2 項の定めにより、本役員会の議長を務める旨を述べた。
役員会成立の宣言
議長は議決権者の出席状況が、定款第 8 条第 4 項に定める要件(役員の 2/3 以上の出席)を満たしており、役員会が有効に成立したと宣言した。
議事録署名人選出
議長は、大久保次期理事と山下 LT 委員会委員長を議事録署名人に指名した。
２．議案審議(議事の経過の要領およびその結果
第 1 号議案「2020-2021 年度東日本区第 2 回役員会議事録承認の件」　(提案者：板村理事)

議長の指名により板村理事が議案書に基づき本議案の内容について説明を行った。
質疑応答はなく、議長が本議案の賛否を諮ったところ、議長を除く出席者のうち 12 名の賛成(投票)をもって承認された。

第 2 号議案「2020-2021 年度東日本区会計中間決算および監査報告の件」 (提案者：板村理事)

議長の指名により利根川会計が議案書に基づき本議案の内容について説明を行った。
修正予算とあるのは、先の予算を認めてもらった後に区費を減額したからである。
欄外の後期のところに÷2 が抜けている。
貸借対照表の貯蔵品は年賀切手、短期貸付金は区大会ホストクラブへの貸付金である。
＜質疑応答＞
・財産目録Ⅱ負債の部の前受金、20YVLF の 20 はどういう意味か。
⇒2020 年という意味である。
・中間決算で、国際会費は 834 人、アジア太平洋地域会費は 830 人になっているのはなぜか。
⇒国際では一人クラブは認めないので、足利クラブと沖縄那覇クラブを 2 人増やして 3 人にしたが、アジア太平洋地域は実数のままである。
・国際会費の若年新入会員の会費が半額になったこと、アジア太平洋地域の若年会員 25 人分について、クラブに戻すとか部に戻すとか反映の方法を考えているのか。
⇒具体的な方法はまだ考えていないが、該当者にお返しすることを考えている。
クラブに反映させるということである。
・ハンドブック&ロースターの差額が 10 万円以上出ているが、普通は収入が多くて支出が少ないのがパターンであるが、EMC の関係で区で多く在庫しているのか。
⇒その通りである。
質疑応答の後、議長が本議案の賛否を諮ったところ、議長を除く出席者全員(13 名)の賛成(投票)をもって、原案どおり承認された。

第 3 号議案「2021-2022 年度東日本区理事方針の件」

(提案者：大久保次期理事)

議長の指名により大久保次期理事が、議案書に基づき理事主題の内容について説明を行った。
質疑応答はなく、議長が本議案の賛否を諮ったところ、議長を除く出席者全員(13 名)の賛成(投票)をもって、原案どおり承認された

第 4 号議案「2021-22 年度行事予定について」

(提案者：大久保次期理事)

議長の指名により大久保次期理事が、行事予定について説明を行った。
強調月間は国際の強調月間に合わせて行い、そこに東日本区独自のものを加える。
前期はズームで、後期は対面を想定している
＜質疑応答＞
・赤字の意味は何か。
⇒当初の予定より変更したものだ。
・訂正箇所
7 月 10 日第一回を第 1 回にする。
6 月 18-19 の第 10 回日本 YMCA 同盟協議会を第 11 回にする。
質疑応答の後、議長が本議案について賛否を諮ったところ議長を除く出席者全員(13 名)の賛成(投票)をもって、修正を加え承認された。

第 5 号議案「2021-2022 年度会計予算案」

(提案者：大久保次期理事)

訂正箇所
YVLF の前受け金が 120 万円だったので修正する。
副書記、副会計は次回までに任命する。
・ハンドブック&ロースターは今年は作らないのか。
⇒印刷はしないということだ。
・印刷の方が見やすい。収入、支出を見てもそんなに変わらないと思うが、何かの事情で紙では作らないのか。
⇒会員の負担を軽減したいからだ。ロースター分だけでも軽減できたらと思う。
データで提供するので、印刷するのは可能である。
希望があれば実費で印刷して渡すこともできる
PDF で提供するので、必要なところに必要なだけ印刷できる。
一冊 1,700 円しているが、もっと安くなるかもしれない。
・ズームの契約料が 2 万円/年ほどかかるが、それはどこに入っているのか。
⇒事務通信費に入れてある。
質疑応答の後、議長が本議案について賛否を諮ったところ、議長を除く出席者全員(13 名)の賛成(投票)をもって承認された。

第 6 号議案 「第 26 回東日本区大会ホストクラブ立候補の件」 (提案者：板村理事)

議長が議案書に基づき説明を行った。
質疑応答はなく、議長が本議案について賛否を諮ったところ議長を除く出席者全員(13 名)の賛成(投票)をもって承認された。

第 7 号議案「次期理事、次年度の次期理事、次年度の次々期理事、次期監事候補者指名の件」

(提案者：山田直前理事)

議長の指名により山田直前理事が議案書に基づき本議案の内容について説明を行った。
・コロナ禍の中、一堂に集まるのは難しいので 7 名の部長から山田直前理事に一任してもらった。
・概ね承諾頂いているが、今回は発表を見送り、6 月 11 日の役員会で提案する。
質疑応答はなく、議長が本議案の次回持越しについて賛否を諮ったところ、議長を除く出席者全員(14 名)賛成(投票)をもって、承認された。
ここで議決権者 1 名が出席した。

第 8 号議案「東日本区の法人格の取得および一般社団法人定款制定の件」 (提案者：板村理事)

板村理事が議案書に基づき本議案の内容について説明を行った。
宮内法人化準備委員会委員長より、第 2 回役員会以降の法人定款（案）の修正点について説明があった。
質疑応答はなく、議長が本議案の賛否を諮ったところ、議長を除く出席者全員(14 名)の賛成(投票)をもって、承認された。

第 9 号議案「沖縄クラブの西日本区への転籍の件」

(提案者：古田湘南・沖縄部長)

議長の指名により、古田湘南・沖縄部部長が議案書に基づき本議案の内容について説明を行った。
＜質疑応答＞
・受け入れ先の西日本区はどう考えているのか。
⇒直接は聞いてないが、沖縄クラブの話では、DBC の京都トゥビーを通して、喜んで受け入れたいと言われているそうだ。

・古田西日本区理事からこのような話が来ているが、東日本はどう考えているかと、板村理事に問い合わせがあったが、西日本区でどうするかは聞いていない。
⇒今年、東日本区でどうするか状況が決まれば、来年、正式に東日本区を離れて、西日本区で話し合うことになろう。
西日本区の役員会ではこの話は出ていなかった。
・沖縄クラブは、東日本区から出ていくことの許しが出たら、西日本区に話そうと思っているのだと思う。
・議案を承認することは、沖縄クラブの解散ということになるのか。
⇒そういう提案をしている。
・定款 1 条 2 項に沖縄県とあるので、これを変える必要が出てくる。
⇒この話が出てから定款改正の話になる。
沖縄那覇クラブが残る場合は、定款を変える必要はない。西日本区の定款に沖縄県を入れてもらう。
・沖縄那覇クラブのことが心配だ。東日本区としてのフォローが必要だと思う。
⇒西日本区での考えでは、東日本区の手続きがうまくいけば西日本区に受け入れる方向である。
・西日本区の定款では区の地理的範囲は鹿児島県までなので、定款変更も伴って行う。沖縄那覇クラブをどう扱うかはわからない、ということであった。
・現時点では採決に加わりにくい。
・東日本区でも沖縄県を残し、西日本区でも沖縄県を作ることに整合性が見えない。
・沖縄クラブの意向と沖縄那覇クラブの意向に全く妥協点が見出せないと感じた。
・沖縄の 2 クラブで話してからこの議案を再度提案するのがよい。
・伊藤会員増強主任から、今回の議案は継続審議にしてほしいという動議がなされた。
・継続審議になった場合、次に審議できるのは、どうなったときか。
⇒現存の 2 クラブが十分に話し合って合意したときである。まだよく話し合っていないように感ずる。
・実際は 2 クラブは全く話し合っていない。
今後、2 つのクラブが同じ部で活動するのは難しいので、現実的なことを考えた方が良い。
・沖縄クラブの希望を入れて、議案名を「転籍を検討することを承認」にしたらどうか。
・この問題は過去ずっと出ていて、湘南・沖縄部で何度も話されていることなので、これは認めるべきだと思う。
・沖縄那覇クラブが湘南・沖縄部に残っても、定款には抵触しないことをはっきりさせておく。
セコンドはなく、動議は成立しなかった。
・沖縄クラブが東日本区から離脱するということを承認するか否か。
・議案名を変更することも動議になるのではないかとの意見が出たが、発言者に議決権がないため、動議とはならず、参考意見となった。
・古田部長に「転籍」という文言を「解散に準ずる」と変えてもらうのが良いのではないか。
⇒表現の問題で、内容は補足事項にあるので言っていることは同じである。
多くの意見が出たが、議長が賛否を諮ったところ 12 名の賛成(投票)をもって承認された。

第 10 号議案「ワイズメンズクラブ創設 100 周年記念兼東西日本区 25 周年記念行事開催の件」 (提案者：板村理事)
議長が議案書をもとに説明を行った。質疑応答はなく、議長が賛否を諮ったところ議長を除く 14 名全員の賛成(投票)をもって承認された。

第 11 号議案「東日本区定款施行細則第 11 条の改定の件」
(提案者：板村理事)
議長が議案書をもとに説明を行った。質疑応答はなく、議長が賛否を諮ったところ議長を除く 14 名全員の賛成(投票)をもって承認された。

第 12 号議案「Change! 2022 会計中間報告承認の件」
(提案者：伊藤会員増強事業主任)
議長の指名により伊藤主任が議案書をもとに説明を行った。
栗本委員長から、千葉ウェストクラブ設立の際、新クラブ助成金が、新クラブに 5 万円、スポンサークラブに 5 万円、YES とは別に Change! 2022 から支払われたこと、ワイズ紹介名刺はスマホを利用してワイズの紹介動画を見るという物であることが補足説明された。
議長が賛否を諮ったところ、議長を除く 14 名全員の賛成(投票)をもって承認された。

３．協議

第 1 号協議「ハンドブック&ロースターの発行方法・掲載内容・作成管理手法について」 (大久保次期理事)
議長の指名により、大久保次期理事が議案書をもとに説明を行った。
＜質疑応答＞
・ロースター報告フォームのその他の部分を入力すると、区はどのように管理するのか。
⇒個人情報として管理する。この部分は配布しない。
・使用方法は考えていないのか。
⇒考えていない。ただ会長に関しては、住所を教えてくださいということがある。
・パスワードを設定するということでいいか。
⇒配布する PDF に関しては、パスワードを設定し、それがなければ開かないようにする。
・メンバーから送る場合は、メール添付にして送ることになるのか。
⇒そのような方法で送ってほしい。暗号化が必要ならば暗号化の手法を提供してできればと思っている。
・別のメールでパスワードが送られてきて、それがないと開けないということがあるのか。
⇒入力フォームにパスワードを付けるかどうかは未検討だが、その場合は共通のパスワードになるので、メンバーに伝えたパスワードだけで、区は管理していることになる。又は、パスワードだけのやり取りを考えている。
・今のロースターは索引が便利だが、今度のロースターにもそのようなものがつくのか。
⇒PDF 上で検索するのは可能になる。もしくはデータ処理が可能になる。
エクセルで色々なインデックスは作りやすい。
・以前、アンケートを取った時、メールがない人には郵送をしたが、メールも郵送もできない人に関するデータを区は持っているのか。
⇒提供されたデータを再利用することのみである。
提供された情報の網羅率がどれくらいかわからない。できるだけ出してもらえるように働きかける。
・会長自身がどれだけメンバーの情報を持つかが重要だ。
・今回から完全に洛陽から離れることになるのか。
⇒そうなる。
・ハンドブックが欲しい人には売るということか。

⇒実費で印刷するのは可能だ。
クラブで印刷しても、区で印刷してもよい。
・西日本区も同じになるのか。
⇒西日本区は従来通りだ。
・ロースターのクラブ役員の欄はなくなるのか。
⇒フォームの役職欄に記される。
・一覧にはならないのか。
⇒一覧は作らない。
・全員に配布されるのか。
⇒まず会長に送る。
全員に送るかは次回第 4 回役員会で決定する。
入力フォームへの会長提供を始め、準備はしたい。
・2021-2022 年度とあるが、それ以降はどうなるのか、続けるなら、会長は毎年入力することになるのか。
⇒次々期は、名簿の簡素化、省力化、コストダウンを続けて行こうと思っている。修正はデータで毎年行っていく。
データの維持方法が書記と事務所長でいいのかと今考えている。
1 年かけて整備するのが大事だと思っている。
・PDF からメーリングリストを作りにくいが、メーリングリストをメールに使えるようにしてもらいたい。
PDF からコピーして使うことを考えてほしい。
⇒部長にはエクセルで提供することもできる。
・今後、データを保存するのに 1-2 冊、紙ベースで保存することは可能か。
⇒色々な方法でできる。
・ハンドブックも同じ PDF で扱うのか。
⇒そうだ。
ハンドブックの役員の情報をどこまで開示するか、再検討したい。
印刷する場合のデータにも住所等は入らない。
・本件は協議であり、協議は賛否をとらない。
協議事項を部長が持ち帰り、クラブメンバーに説明し、メンバーからの意見を次回の役員会で審議するのではないか。
・理事一任でいいか、部長が部に持ち帰るかを話し合えばよい。
・この件は次年度の予算に計上されているので、賛否も取らず、このまま終わらせるのは問題がある。ここで、議案に昇格させて採決するのはどうか。
・どなたかが動議を出し、議案にするのは可能だ。
⇒古田部長から議案にする旨の動議があり、伊藤主任からセコンドがあった。
⇒動議が成立し、この協議事項は審議事項となった。

第 13 号議案「ハンドブック&ロースターの発行方法・掲載内容・作成管理手法を変更する件」
(提案者：大久保次期理事)
議長が賛否を諮ったところ 12 名の賛成(投票)をもって承認された。

３．東日本区活動報告
プログラムに記載順に、活動報告が行われた。
①東日本区の現況　(板村理事)
・東日本大震災の 10 年誌を発行する予定になっている。皆さんからの寄稿をお願いする。
・区大会の詳細は、次週の打ち合わせ後、皆様に正式にお伝えする。
区大会　6 月 12 日午後　ハイブリッド
一部の役員はリモート参加
理事就任式、引継ぎ式はハイブリッド、司式はデービッドがリモートで行う
開閉会式は録画
総まとめは現地の業者に頼む。
費用は東日本区の会計から支出。
100 万円少しと 50 万円の貸出金。
②国際・アジア太平洋地域　(大野国際議員)
・次期エリア事業主任は東日本区から板村さん、村野さん、山田公平さん、田中さん、小山憲彦さんの 5 人が就く。
・今期ズーム会議が増えたことで、国際、エリアともにミーティングが増えた。まとめて伝えていきたい。
・8 月 14 日のエリア大会はハイブリッド。
・2022 年のハワイでの国際大会は、1~2 か月で開催か否かが決まる。
③地域奉仕･YMCA サービス事業　(小原事業主任)
・新型コロナの影響が大きい中で、例年の CS 活動の規模を縮小したイベント開催、時代に合った新しい取り組みをしてもらっている。
・東日本区の CS 活動については、理事通信やアジア太平洋地域ブリテンに記事を掲載している。
・国際の新しいプロジェクト Week4Waste が 4 月 18 日から 24 日の週で全世界のワイズで行われるので、メンバーが活動するように周知してほしい。
③会員増強事業　(伊藤事業主任)
・コロナ禍で各クラブともに厳しい会員増強となっている。
・後期の半年報は＋8 名、1 月以降厳しい状況である。13 名入会、9 名退会で＋4 名。
・特に健闘しているクラブは甲府 21 クラブで、3 月 1 名入会、4 月 4 名入会と素晴らしい活動をしている。
・例会出席率調査表を会長にお願いしている。
5 月 10 日が締め切りだが、例会実施率が低く、1 年で 1 回しか開いていないところがある。
⑤国際・交流事業　(米長事業主任)　欠席
BF の一般補助金申請期限が 5 月 1 日となっている。詳しくは理事通信を読んで、直接国際に申し込んでほしい。(板村理事)
⑥ユース事業　(三田事業主任)
・何もできていない。
・各部のユース主査から話を聞いているが、目立った活動をしていない。
・表彰も主査を通して案を出してもらい、今月末に委員会を開く予定である。

４．各部活動報告
プログラムに記載順に活動報告がなされた。
①　①北海道部　(中村部長)
・コロナの影響で、1 か月半遅れてズームによる引継ぎ式を行った。
・11 月 13 日に Zoom で全体の会員交流会をワールドカフェ方式で行った。
・札幌でコロナが増えて、部長公式訪問が中止になった
・2021-2022 年度部大会は年が明けた来年の 2 月 26 日(土)に行う。
②北東部　(南澤部長)
・石巻広域クラブはユーチューブを使ったり、ハイブリッドで例会をしたりして、コロナのデメリットを克服し、入会者を増やしている。他のクラブが参考にしてほしい。
・広瀬川クラブが 10 周年を企画している。
③関東東部　(柿沼部長)

・4 月 17 日に第 3 回評議会を、東陽町でハイブリッド形式で行う予定だったが、ズームによるオンライン会議に

変更した。
・3 月 28 日に EMC を考える集いをズームで行った。今、インタヴュー方式でアンケートを取っている。
・4 月 17 日の研修で、法人化準備状況をズームで、大久保次期理事に話していただく。
④東新部　(加藤部長)
・昨年 88 名のところ山手クラブから 1 名転入があった。
・東新部は高齢化が進み、平均年齢は 70 歳を超えている。
・合同例会やハイブリッド例会をしていて、統合を考えている。合同例会を進めている。
・町田、多摩地区の合同例会がもたれ、交流が進んでいる。
・4 月 17 日に評議会を開き、今後の役員、次々期部長スタッフが具体的な計画を進めていく予定だ。
・9 月 11 日に次年度東新部大会を町田市民ホールで開く。クラブ統廃合の議論を進めていきたい。
④あずさ部　(御園生部長)
・5 月 8 日評議会が行われるが、今までズームで質疑応答、書面表決だったが、リアルで YMCA 山手センターで行う。この状態ではどうなるか。
・甲府 21 クラブをはじめ、他のクラブでも新入会員が増えてうれしいことだ。
・新入会者には会えないのが残念だが、祝辞の言葉を贈っている。
・4 月 12 日に東京たんぽぽ、24 日に富士五湖クラブの部長公式訪問をするが、長野クラブ、松本クラブには公式訪問ができない。
⑥湘南・沖縄部　(古田部長)
・次期部長選考のルールを決めた。A と B の二つのグループに分けて、A から出したら次は B から出す。おかげで次々期部長まで決まった。
・部則を変える作業をしている。定款に準拠するように、全体的な見直しをし、4 月 17 日の評議会に部則の変更を提案する。
⑦富士山部　(伊藤部長)
・次々期の部長が決まりホッとしている。

5．委員会・専任委員等活動報告

プログラムに記載順に、活動報告がなされた。
①文献・組織検討委員会　(駒田委員長)
・10 月 12 日第 3 回委員会
主に法人化の説明を聞いた。
・12 月 14 日第 4 回委員会、2 月 15 日第 5 回委員会、3 月 17 日第 6 回委員会を開いた。
・まとめて答申できなかったが、第 8 号議案にあったように、1 点だけ答申した。
②LT 委員会　(山下委員長)
・前半は、リモートの関係が増えると思い、サポートを数件行った。
・10 月 31 日の次期部長・事業主任研修会には 25 名の参加があり、前例がない Zoom によるワールドカフェという自己啓発プログラムをもって開催した。
・次期会長・部役員研修会の反省点
メールに頼った告知・資料配布で、メールプロバイダーが迷惑メールや宛先が多いメールをセキュリティのためにブロックしていた。
・再発防止策として部長による出欠確認が大事である。
・ヤングワイズセミナーについては東日本区大会にてとなっているが、通常は代議員会の時間帯に平行して行われると思う。(板村理事)
・内容については LT 委員会で話し合う。
③JEF 委員会　(髙田委員長)
・記念日に対して献金をお願いする。
・クラブでの周年行事にちなんで JEF に献金を願う。
④ワイズメネット委員会　(澁谷委員長)
・今年度は活動が何もできていない。
・2 月にメネット献金をたくさんいただいた。
・これから絵本の事業を始めたい。
⑤Change! 2022 推進委員会　(栗本委員長)
・ワイズの紹介名刺をこれから作っていく。
名刺の中に QR コードを載せて、スマホで読み取る。
動画と写真と文章が入って、映像で見てもらう。
5000 部作り、1 人当たり 5 枚ずつ配布する。QR コードを読み取れば動画を見られるのでうまく利用してほしい。
⑥ヒストリアン　(仙洞田ヒストリアン)
・クラブ資料類の保存をお願いする。
・横浜クラブが 90 周年で記念誌を発行されたようなので送ってほしい。(伊藤さんが送る)
・記念誌を発行するクラブは、記念誌を仙洞田さんあてに送ってほしい。
・仙台青葉城が 40 周年と聞いたが、記念誌を作るなら送ってほしい。
⑦IT アドバイザー　(大久保アドバイザー)
・メーングリストの管理
若干エラーがある
活用が不十分
・ウェブサイト管理
1 日 1 回の更新作業がある。
・ズーム会議室の管理
ほぼ毎日使われている。
・ライセンスの追加購入を行った。
・会議参加者は 100 人が限度だが、100 人を超えることはなかろう。
使用頻度が増える。
・LT 委員会と共同で、リテラシーの向上が必要だ。
⑧トラベルコーディネーター　(長澤コーディネーター)
欠席
⑨YMCA 関連　(光永担当主事)
・東山荘の食堂の業者が中富商事から地元の業者になったが、スタッフはそのまま残った。
・ピンクシャツデーで、今年初めてオンラインでこども会議が開かれた。
・ミャンマーと香港に YMCA があり、ミャンマーでは逮捕された総主事がいたり、迫害を受けている人がいるので祈りの会を持った。香港でも事務所の移転があり、現実的な問題が生じている。
・4 月 23 日と 5 月 21 日にパブリックコメントを聴取する機会を設け、皆さまの意見を聞く。
・YMCA のプログラムや多くのユースの支援に感謝する。
・光永さんは異動・転勤で熊本から活動に参加し、同盟協力主事として 2022 年 6 月まで東西の担当主事を務める。

6．監事講評

辻監事
・ほぼ 4 時間の長時間お疲れさま。
・これまでは 1 日かけたり、2 日にわたったりしていたプログラムを、これだけ盛沢山でありながら、効率よく運営していた。
・議論をよんだ議案もあったが、そういう時間も大事である。
・議題によってはかなりの時間をかけ、きちんと対応した。
・法人化や沖縄クラブのは、対症療法的ではなく、一人一人が考えなければならない。

・コロナの中で落ち着かない日々を送っているが、理念なき組織は長続きしない。今は、ワイズの理念、モットーを念頭に置いて、それぞれのクラブが組織固めに強い団結力を示してほしい。

漆畑監事
・本来なら東山荘で1泊でするところをリモートで4時間
・新たな思いを込めて次期のスタート
・充実した体制作りの法人化
・東日本区の施行の変化
・情報の取り扱いと管理
・各クラブへの浸透
・Zoom が不得意なクラブへの普及
・努力が必要だと思った。

7．閉会

閉会挨拶　　大久保次期理事
・盛りだくさんの議案審議で、実りある会議だと思った。
・第 4 回役員会と代議員会へと続く。
・皆さんの協力をお願いする。

第 3 回東日本区役員会出席者

【役員】(15 名)
板村理事、大久保次期理事、山田直前理事、小山書記、利根川会計、小原地域奉仕･Y サ事業主任、伊藤会員増強事業主任、三田ユース事業主任、中村北海道部部長、南澤北東部部長、柿沼関東東部部長、加藤東新部部長、御園生あずさ部部長、古田湘南・沖縄部部長、伊藤富士山部部長

【役員会構成メンバー】(11 名)
辻監事、漆畑監事、駒田文献・組織検討委員長、山下 LT 委員長、髙田 JEF 委員長、澁谷ワイズメネット委員長、栗本 Change!2022 推進委員会委員長、仙洞田ヒストリアン、渡辺広報・伝達(PR)専任委員、光永担当主事、小林東日本区事務所所長、

【オブザーバー】(13 名)
大野国際議員、佐藤次々期理事、宮内法人化準備委員会委員長、清水法人化準備委員、斎藤法人化準備委員、小山前事務所所長、衣笠次期書記、深尾次期地域奉仕・Y サービス事業主任、大川次期会員増強事業主任、山田次期国際・交流事業主任、大澤次期関東東部部長、長谷川次期あずさ部部長、若木次期湘南・沖縄部部長

【欠席者】(6 名)
米長国際・交流事業主任、吉田副会計、長澤トラベルコーディネーター、鈴木次期会計、松香次期東新部部長、小原次期富士山部部長

議事録署名人
次期理事　大久保知宏

議事録署名人
LT 委員会委員長　山下真

2020-2021 年度

第 4 回東日本区役員会議事録

日　時：2021 年 6 月 11 日(金)19 時～21 時
方　法：ZOOM によるビデオ会議
出席者：31 名(役員 16 名中 15 名)
記　録：東日本区書記　小山久恵

開会

開会挨拶　　板村哲也東日本区理事
・本年度も押し詰まってきて、今年度最後の役員会となる
・1 年間ご活躍いただきありがとう
・残すところ明日の代議員会と区大会になった
・議案は 6 つ、よろしく審議をお願いする
出席者確認：出席は 31 名。役員は 16 名中 15 名
議長：板村理事(東日本区定款第 8 条第 2 項の定めによる)
役員会成立の宣言：定款第 8 条第 4 項に定める要件(役員の 2/3 以上の出席)を満たし成立
議事録署名人選出：大久保次期理事と小原史奈子地域奉仕・YMCA サービス事業主任を指名
配付書類 2 点　第 4 回役員会議案書と報告書

議案審議

出席役員：16 名中 15 名
採決方法：挙手

第 1 号議案「2020-2021 年度東日本区第 3 回役員会議事録承認の件」　(提案者　板村理事)
質疑応答はなく、出席者全員の賛成をもって承認された

第 2 号議案　「次年度の次々期理事、次期監事候補者指名の件」　(提案者　山田敏明指名委員長)
漆畑監事が財政、田中監事が行政を担当する
質疑応答はなく、出席者全員の賛成をもって承認された

第 3 号議案　「2021-2022 年度東日本区予算について」
(提案者　大久保次期理事)
2021-2022 年度予算については前第 3 回役員会で検討し、その時、次期の予算の中でやるべきことは第 4 回役員会で審議し、翌日の代議員会で審議するとした
予備費、広報費、東日本ウェブサイト更新費の 3 項目のみ見直す
広報費は 1 か月 3 万円かかる
ホームページ全体の作成を佐竹さんにお願いする
質問：収入の部の YVLF にクラブから 2 万円の徴収は行わないのか
答え：2019-2020 年度に徴収した 120 万円が残っているので、2021-2022 年度に費やす
2020-2021 年度は実施していないので、2019-2020 年度に徴収した分を充てる
ファンドレージングで充当していきたい
出席者全員の賛成をもって承認された

第 4 号議案　「沖縄クラブ解散の件」
(提案者　古田湘南・沖縄部部長)
質問：6 月 25 日付解散になっているが 30 日ではなく、25 日とすることに意味があるのか
答え：25 日に解散、26 日に京都トゥビーを親クラブとした設立総会を開きたい
西日本区の定款に沖縄は含まれていないので、改正に時間がかかる
質問：なぜこのようなことになったのか

答え：55 年前に横浜クラブが沖縄那覇クラブをチャーターした
東西に分かれる時、沖縄那覇クラブから、東日本区に属したいという依頼があった
沖縄は九州と関係が良くないので東日本区に行きたいという要望があった
15 年前に沖縄クラブが入った時の親クラブは金沢八景クラブである
沖縄に特化した活動をしたい、ということは大賛成である
質問：沖縄那覇クラブはどうなるのか
答え：メンバーは 1 名残っていて、最低 3 名必要なので 3 名にしたが、解散したいと言ってきた
同じような繰り返しの話し合いは余分なので、先に進む
出席者全員の賛成をもって承認された

第 5 号議案「東日本区定款施行細則第 14 条改定の件」
(提案者　板村理事)
文献・組織検討委員会が調べた
条文中に「別途定める」とされているものが、全て別途に定められているか調べたところ第 14 条のみ定められていなかった
選挙方法は、全員動議で決める
質疑応答はなく、出席者全員の賛成をもって承認された

第 6 号議案「臨時代議員会実施の件」（提案者　板村理事）
行政監査を今年度は年度が終わってから行う
監査は 7 月 7 日を予定している
質疑応答はなく、出席者全員の賛成をもって承認された

東日本区活動報告
プログラム記載順に、活動報告が行われた。
①東日本区の現況　(板村理事)
・830 名で始まり、 5 月 31 日の時点で 844 名、純増 14 名である。
・今年度の増員目標は 150 だった
・Change! 2022 は 2022 年末まで続いている
・一般社団法人化は、残すところわずかで、代議員会で承認されたら登記となる
・ワイズ 100 周年記念行事/東西日本区 25 周年記念は東西合同の行事で、2023 年 2 月 4 日、5 日に神戸で行われる
②国際、アジア太平洋地域　(大野アジア太平洋地域次期会長)
・初めてのことが多かった
・各委員会が持たれ、アジア太平洋地域定款改正の文がまとまり、13 日に説明会が持たれる
・各クラブ会長から承認を頂きたい
・100 周年に向けて、アジア太平洋地域では歌集を作る、各国、各区の料理を紹介しあおうという企画が進んでいる
・国際では、来年のハワイ大会は 1 年延期が決まったが、その後はまだはっきりしていない
・地域大会は 8 月 14 日に台南にてハイブリッドで行う
・そこで会長就任式が行われる
・ウェブサイトの再構築、情報発信として広められたら良い
・次年度の区大会、部大会でお会いするのを楽しみにしている
・ワイズ 100 周年に向けて東西一丸となって活動していけることを願っている
・できる限りの努力をして、皆が活動しやすい、情報を共有できるようにしたい
・アジア太平洋地域と仲良く取り組んでいける 1 年にしたい
質問：地域定款に関する投票は次期会長宛てに来るのか
答え:今度の説明会を終えた段階で考えるので時期はまだ決まっていない
②地域奉仕・YMCA サービス事業(小原事業主任)
・コロナ禍において CS 活動、献金にご協力ありがとう
・国際への ASF 献金額は、1,137,000 円で事務所から送金してもらった
・新しい CS 活動を、ズームやオンラインを活用し活発にしていただいた。
・区大会を近隣クラブで一緒にズームで見よう、という新しい試みが見られた。
・CS 国際表彰エントリーの締め切りが 6 月 15 日なので、部長から働きかけてほしい
③会員増強事業　(伊藤事業主任)
・コロナ禍で会員増強には難しい状況であった
・千葉ウェストのチャーターがあり、明るい希望を抱かしてくれた
・甲府 21 クラブ、石巻広域クラブ等会員増強に健闘したクラブがあった
・拡大 EMC 事業委員会でそれぞれのクラブから報告があり、見えてきたのはクラブ活動の活発化であった
・拡大 EMC 事業委員会を 6 回開き、各部のエクステンションの取り組みにつき情報交換を行った
・Change! 2022 推進委員会では SNS による会員増強の促進を行っている
・石巻広域クラブは YouTube を活発に利用している
・新クラブ設立支援金は YES からスポンサークラブに 10 万円、Change! 2022 からスポンサークラブと新クラブに 5 万円ずつ支給される
・去年 5 月から今年 4 月までで、例会をオンラインで実施したクラブは 30 クラブで、そのうち 20 クラブがハイブリッドで開いていた
・31 クラブがオンラインをまだ活用できていない
・活用できていないクラブをサポートすることができなかった
・区としてもズームの利用の仕方を丁寧にわかりやすい形で伝授し、次の年度の役員に引き継ぐ
④国際・交流事業　(米長事業主任)
訂正：DBC トライアングルの日付を 6 月 5 日(土)から 6 月 6 日(日)に訂正して(案)を取る
理事報告書もその部分を訂正する
・最小限の交流の単位であるクラブの活動ができない
・ズームもクラブ全員の参加ではない
・ズームで出席者を確保しつつ、DBC、IBC の締結につながる
・BF 切手は、リアルで会うことがなかったため郵送になったが、郵送費の方が高くついた
・原則として郵送せず手で運ぶ
・東京町田スマイリングクラブと仙台(仙台青葉城は間違い)クラブの 2 クラブで売り上げのほとんどに貢献した
東京町田スマイリングクラブは、コロナ禍において何ができるかを考え、皆で頑張った
⑤ユース事業　(三田事業主任)
・委員会を 3 回開催
・今年度活動がなかったが、最後にアンケートを実施し、聞き取り調査の結果を載せた
・今までやってきた活動ができなかった、ユースの活動が少なくてできなかったという回答を得た

・例会にハイブリッドで参加してもらい、意見を聞いたクラブもあった

各部活動報告

プログラムに記載順に活動報告がなされた。

①北海道部　(中村部長)
・第 1 回の評議会はコロナ禍で、ほとんど事業ができないため中止
・会員の皆と交流できないかと考え、ズームを使用する会議の計画を立てた
・公式訪問は緊急事態宣言が出て行けなかった
・全会員の交流会をウェブ会議で、ワールドカフェ方式にし、皆に声掛けしたが、初めてで参加できない人が多かった
・第 3 回役員会では法人化の説明をした
・第 2 回評議会で大久保次期理事に次年度の方針を話してもらった
・YMCA の支援では、部で活動がほとんどできなかったため、北海道部総予算の半分以上を贈呈し、活動を支える
・次期の部大会は、2022 年 2 月 19 日（土)、然別温泉で開く
・次期にはチミケップキャンプ場ワークを実行、ズームでもよいから部長訪問、全体交流会をもう 1 度したい

②北東部　(南澤部長)　欠席

③関東東部　(柿沼部長)
・コロナ禍の中で思うような活動ができなかった
・部長公式訪問はズーム、ハイブリッドも入れて全クラブ回ったが、出席率は下がった
・評議会は、第 1 回は千葉ウェスト設立総会、第 2 回はハイブリッドで、遠距離の会長はズームで参加、第 3 回はオールズームで行った
・部大会で千葉ウェストのチャーターナイトを実施
・クラブで CS 活動ができないと新入会員はなく、千葉ウェストクラブの 6 名だけが新入会員だったため、純増 2 名である
・研修は、法人化についてと Change! 2022 の現状報告の 2 回実施した
・見かけはできたが、討論もできなくて、中身については今後反省する

④東新部(加藤部長)
・クラブ会員数は 2020 年初め 88 名、1 名増えて純増 1 名
・平均年齢が 70 歳を超えているので、若い人が入りにくい
・合同例会を企画し、どうすべきか一緒に考えながら活動しようとしている
・10 月 10 日、部大会を東陽町にてハイブリッドで行い、68 名の参加者があった
・Change! 2022 は具体的に計画が進まず、早稲田に新クラブ設立の話があるが、話し合いが進まない
・具体的には次期部長に任せたい
・次期の部大会は 9 月 11 日町田市民ホールで開く予定
・コロナが終息する事でパワーアップして進めればよい

⑤あずさ部　(御園生部長)
・長野、松本、東京たんぽぽの 3 クラブを部長公式訪問できなかった
・この 3 クラブはズーム参加もできなかった
・５月の評議会はズームで説明を行い、書面表決とした

⑥湘南・沖縄部　(古田部長)
・23 回部大会はリアルでできた
・次の部長の選出方法を定め、スムーズに選ぶことができた
・沖縄クラブのことは先刻説明済み
・部則改正委員会を作り、第 3 回評議会で改正をした
・東日本区定款に合わせた変更、部長の選出方法、誤りの修正を行った
・つながりマスク、絵本読み聞かせ等、クラブを越えての活動をエクステンション委員会が活発に行った

⑦富士山部　(伊藤部長)
・9 クラブにコロナによる大幅な活動制限に対するアンケートを行った
・内容は、役員会、評議会に対する賛否、部大会についての賛否、初例会、公式訪問に対する賛否であった
・富士山部部大会を富士山グローバルエコビレッジにて役員だけで行い、記念事業としてブルーベリーを植樹した
・何もできなかったが勉強になった 1 年だった
・6 月 9 日（水)、富士山部ワイズ杯と名付けてゴルフコンペを行った

委員会・専任委員等活動報告

プログラム記載順に活動報告がなされた

①文献・組織検討委員会　(駒田委員長)
・ズームによる委員会となった
・6 月を含め 8 回の委員会が開催されることになる
・年度当初、各課題に対し担当を決め、担当者が熱心に尽力し、機能的に進めることができた
・法人化検討小委員会では、2020 年 10 月 17 日付で理事に答申済み
・会計規則は継続審議で進めている
・異常事態への対応、対策は 2020 年 3 月に答申、細則に加える
・事務所運営内規は会計の中で行っている
・事業主任の手引きは、LT 委員会と協力して進める
・会員増強事業主任からの依頼は継続中

②LT 委員会　(山下委員長)
・6 月 25 日にヤングワイズセミナーに代わるものを考えているが準備が進まなくて困っている

③JEF 委員会　(髙田委員長)
・委員会を今まで開いていないが 6 月 17 日に開く予定
・6 月中に 50 万円にしたい

④ワイズメネット委員会　(澁谷委員長)
・昨年度できなかった絵本事業を 2 年分行い、YMCA の 57 施設に送る予定
・メネットの集いの時絵本のマルシェを行い、284 冊を送る予定

⑤Change! 2022 推進委員会　(栗本委員長)
・スタートして丸 2 年、目標 1246 名で現在 844 名と当初から増えていない
・あと 1 年半で飛躍的に増えるという奇跡が起こらないか
・甲府 21 クラブは 5、6 年前 16 名だったが現在 49 名である
・宮岡さん一人で 10 人の新会員を入会させている
・毎月チェンジ 2022 ニュースを発行、会員獲得のヒントが載っている
・アクションプランⅠ、Ⅱも見直してほしい
・スマホ専用ワイズ紹介カードを作っている
QR カードを読み取ると写真や動画でワイズをわかりやすく紹介している
各クラブ 100 枚ずつ送り、足りなければコピーする
QR コードは各クラブ別々だが中身は同じ
名刺サイズに合わせているので、自分の名刺に張り付け、配っていきたい

⑤東日本区法人化準備委員会　(宮内委員長)
・西日本区への説明会は古田西日本区理事の返事待ち
・代議員会で可決したら公証役場に申請し、法務局に登記する
⑦ヒストリアン　(仙洞田ヒストリアン)
・資料類の保存で、先日札幌北クラブの 40 年誌が送られてきた
⑧トラベルコーディネーター　(長澤コーディネーター)
欠席
⑨YMCA 関連　(光永担当主事)
・ハイブリッドで参加し、クラブ例会を守れた
・YMCA はいち早くオンラインに取り組み、国際、国内をオンラインで行っている
・同盟の会議室は職員が使っただけで、他の人は来なかった
・研修等をどのようにできるか考えている
・明日 11 時～1 時に担当主事の会があり、一般社団法人化、パートナーシップ、ワイズ 100 周年/東西 25 周年交流会の進捗状況を説明する
・小グループでブレイクアウトセッションをする

監事講評
辻監事
・1 年間振り返っての詳しい報告は行政監査報告でさせてもらう
・今年度もコロナで始まり、コロナで終わった 1 年だった
・板村理事を中心に区の執行部が困難の中極めて適切に、定款に則って執行された
・トロイカ方式が従来以上に機能していたのではないか
・すべての会議がオンラインでほぼ予定通りできた
・リモート方式は今後も定着するだろうがズームは形式化、マンネリ化する恐れがある
・侃々諤々の議論ができる機会を作る必要がある、その議論を通して創造性、新鮮味をもたらし東日本区の活性化につなげる
・今月末で監事を退任する、2 年間お世話になった、お礼申し上げる
・漆畑監事にご指導いただき監事の責務を果たせた
漆畑監事
・1 年間大役ご苦労様
・辻さんの行政監事をしていた穴埋めをするのは大変であろう
・ズームが発達して色々な会議、書類すべてがきめ細かく動くようになった
・議事録の精度も上がった
・7 月 7 日に最後の会計監査も含めて最終監査がある

閉会
閉会挨拶　　大久保次期理事
・充実した議論、報告がなされた
・来期に向けて新たな一歩を踏み出すので引き続き皆の協力を願う

第 4 回東日本区役員会出席者
【役員】(15 名)
板村理事、大久保次期理事、山田直前理事、小山書記、利根川会計、小原地域奉仕･Y サ事業主任、伊藤会員増強事業主任、米長国際・交流事業主任、三田ユース事業主任、中村北海道部部長、柿沼関東東部部長、加藤東新部部長、御園生あずさ部部長、古田湘南・沖縄部部長、伊藤富士山部部長
【役員会構成メンバー】(12 名)
辻監事、漆畑監事、駒田文献・組織検討委員長、山下 LT 委員長、髙田 JEF 委員長、澁谷ワイズメネット委員長、栗本 Change!2022 推進委員会委員長、宮内法人化準備委員長、仙洞田ヒストリアン、渡辺広報･伝達(PR)専任委員、光永担当主事、小林東日本区事務所所長
【オブザーバー】(4 名)
大野次期アジア太平洋地域会長、佐藤次々期理事、吉田副会計、衣笠次期書記、
【欠席者】(2 名)
南澤北東部部長、長澤トラベルコーディネーター

議事録署名人
次期理事
大久保 知宏

議事録署名人
地域奉仕・YMCA サービス事業主任
小原 史奈子

2020-2021 年度
東日本区年次代議員会議事録

日　時：2021 年 6 月 12 日（土）10:10～12:15
方　法：Zoom によるビデオ会議
出席者：86 名（代議員 73 名中 51 名出席）
　　委任状 4 名
記　録：東日本区書記　小山久恵

１．開会
開会点鐘：　　板村哲也理事
ワイズソング、ワイズの信条：　　一同
定足数確認：　　小山久恵書記
代議員定数 75 名、重複 2 名、差し引き 73 名
定足数 49 名、出席代議員 51 名、委任状 4 名
計 55 名で定足数を満たしていることを確認
成立宣言：　　板村哲也理事
議長：
宮崎善昭(札幌クラブ)北海道部直前部長が東日本区定款第 6 条第 11 項の規定により、本代議員会の議長を務める旨を述べた
採決方法：投票

２．議案審議
第 1 号議案「2020-2021 年度東日本区中間決算および会計監査報告」　(提案者　板村哲也理事)
議長の指名により、板村理事が議案書に基づき説明を行った。続いて板村理事の指示により利根川会計が決算内容につき説明を行った。また漆畑監事が監査報告を行った。
質疑応答はなく、議長が本議案の賛否を諮ったところ、賛成多数で原案通り承認された。
第 2 号議案「次期理事、次年度の次期理事、次年度の次々期理事、次期監事承認の件」　(提案者山田敏明直前理事)
議長の指名により、山田直前理事が議案書に基づき説明を行った。
質疑応答はなく、議長が本議案の賛否を諮ったところ、賛成多数で原案通り承認された。

次期理事　(2021-2022 年度理事)
大久保知宏　(宇都宮)
次年度の次期理事　(2022-2023 年度理事)
佐藤重良　(甲府 21)
次年度の次々期理事　(2023-2024 年度理事)
山田公平　(宇都宮)
監事　(2021-2022 年度)
漆畑義彦　(富士)　継続
田中博之　(東京多摩みなみ)

第 3 号議案「東日本区の法人格の取得および一般社団法人定款制定の件」　(提案者　板村哲也理事)

議長の指名により、板村理事が議案書に基づき説明を行った。
＜意見＞
法人化準備委員にクラブで再度説明してもらい、クラブで議論をしたが反対を表明する。会長には 12 月末に資料が送られてきたがメンバーで議論が始まったのは 2 月か 3 月、内容的には未整備であると判断した。
部の話を聞いて色々な問題点を指摘した。
クラブが区へ支払っている金の一部が法人の方に使われるので、クラブも責任を持って考えたいと思い話を聞いてきたが、法人化の意味がよくわからない。
クラブの意見がどのように反映されているのかわからない中でクラブに判断せよと言っている。
法人化が決まった後でクラブで法人化の意味を考えろという文章になっているがこれは違った話ではないか、法人化の意味を持つクラブもあればそうでないクラブもある。
クラブの意見を尊重し、議論すべきだ。
定款を読んで審議が不十分と感じた。
法の上の人として今後動くことを決めるか、決めないかの判断である。
このままいくと二重構造で、今までのクラブと法人のクラブの 2 つのクラブが存在することになる。法人が素晴らしいとして入会した人が、入ってみれば YMCA やクリスチャニティが議論の中心となっているという問題も出てくる。これにどう答えるか。このことで訴訟が起こった場合は大丈夫か。
第 20 条の規定の意味がわからない。
もっと多くの人に定款を全部チェックしてもらい、落ち度のない、社会に出ても問題ない形にして決議をしてほしい。
今回の決議ですべてが決まるのは拙速である。
＜質問・意見＞
議案につき今日初めて聞いて驚いた
法人化の目的、メリットを伺いたい
クラブ会員、クラブ、部それぞれの立ち位置がわかりにくく、誰がどうするのかが不明。
ガイドラインで説明しているが、本文では推定しがたい定款となっている。
＜意見＞
複雑化して、どうなんだろうという思いがある。
今後理事のなり手がいるのか。
コロナ禍で各クラブで集まって話し合うことができていないので、クラブとしての意見は言えないが、時期尚早と感じる。この場では反対とする。
＜意見＞
議案に賛成する。
ワイズメンズクラブが貴重な働きをしていることを、公の場で認知されるのが大事である。
行政にワイズメンズクラブの存在、社会に対する貢献がしっかり認知されたら、高齢で経済負担が重くなる会員が多い状況の中、助成金、補助金が支えになる。
＜意見＞
具体的な補助金をもらう目当て、計画、各部でどういうことを実際するか予定が決まっていて、適時、適材適所で物事をするのが最良である。どういう計画になっているのか。
＜質問＞
将来的には公益社団法人を狙っているのか。
＜意見＞
しっかり決めてから法人化するのか、法人化してから詳細を考えるのか。
＜意見＞
卵と鶏の関係。
以前から法人化の話がありながら時間が経過した。
まず法人化し、どういう金の使い方をするのかを皆で真剣に考えることが重要。
せっかくここまで検討してきたので、まずは法人化し、その後の詳細、各論を皆で検討すればよいと考える。
＜意見＞
法人化ありきで論議している。
具体的に各クラブにどういうメリットがあるのかわからない。
なぜ我々の活動が長期間低迷化しているのか議論をつきつめる必要がある。
少子高齢化だけではない。
コロナの問題にどう取り組むのかが最優先ではないか。
ワイズの信条、SDGs と我々の方向が同一性を保って行っているのかについて答えを出さねばならない。
法人になっても会員が減ってクラブにメリットにならないのではないか懸念する。
＜説明と回答＞
法人化準備委員会の発足後、事案を会長からメンバーに伝えていただくべく 12 月 24 日に会長に連絡を行い、詳細資料と合わせて要点を 3 ページにまとめた概略説明書を送った。理事通信 12 月号にも法人化の記事を掲載した。
3 月 20 日には会長、役員会のメンバーに 2 ページにまとめた概要説明書、組織対比図と、皆さんに直接説明を見ていただくために 30 分の説明ビデオを作成しその案内を送った。
今日初めて法人化の話を聞いたというのは残念。
法人化準備委員会で検討の結果、デメリット以上のメリットがあると確信している。
法人化そのものが最終目的ではなく、東日本区活性化のための手段、起爆剤と思っている。法人化に踏み出し、何とか会員増強につなげたい。
Change! 2022 に好影響を与えるであろう。
今逃したら衰退を待つのみだと思う。
公益法人化については現時点では考えていない。
＜説明と回答＞
20 条第 3 項は理事の独立性を定めている。誰かを雇うことはない。第 4 項の規定は理事が親族で独占されてはいけないことを定めている。
＜反論＞
この文章を入れると容易に組織を乗っ取られるので、必要ない。
＜回答＞
逆である。組織防衛上必要な規定である。
＜議長＞
個人同士の意見交換になっているため議論を打ち切り

とする。
チャットに今回採択すべきではないとの記述がなされたため、議長が動議か否かを確かめたところ、動議ではないことが確認された。
＜意見＞
法人化が起爆剤とは思わない
＜回答＞
起爆剤という言葉は適さなかったかもしれないが、法人化することにより社会的信用度も増すと考える。
＜質問＞
先ほどの会員（個人、団体）の説明がなされていない
＜回答＞
定款（案）第 3 章第 5 条から第 9 条の内容に沿って説明がなされた。
＜意見＞
ガイドラインがないと理解が難しいので、ガイドラインも明文化するべきだ
＜採決＞。
質疑応答の後、議長が本議案の賛否を諮ったところ、賛成 31（含委任状 4 名）、反対 12、不明 7 で原案通り承認された。

第 4 号議案「第 26 回東日本区大会ホストクラブ承認の件」
(提案者　板村哲也理事)
議長の指名により、板村理事が議案書に基づき説明を行った。
質疑応答はなく、議長が本議案の賛否諮ったところ、出席者の多数の賛成をもって、原案通り承認された。
ホストクラブ：甲府 21 クラブ

第 5 号議案「2021－2022 年度東日本区理事方針の件」
(提案者　大久保知宏次期理事)
議長の指名により、大久保次期理事が議案書に基づき説明を行った。
＜意見＞
第 3 号議案の意見が大きく割れたことを見ると、区とクラブのタイムリーな連携が、今回はしっかりできていなかった。区とクラブのコミュニケーションが大事である。このことは、監事からも指摘されていた。一つ一つの心田を耕そう。
＜訂正＞
北東部部大会、9 月 4 日を 9 月 18 日(土)に訂正
＜意見＞
主イエスの足跡を我々も歩くんだという言葉があると嬉しい
＜意見＞
コロナは世界的規模で起きている。1 年、2 年で終わることはない。政府が求めていることは行動変容である。今我々が困っているのは地域事業をしている人とコミュニケーションがとりにくいことだ。外部に対する発進力を強化することを具体的に考えねばならない。我々に必要なのは行動だ。リモートは時間の制約、地域の壁がなくなる。具体的な行動指針を示そう。
＜採決＞
意見が述べられた後、議案を修正し議長が本議案の賛否を諮ったところ、出席者の多数の賛成をもって承認された。

第 6 号議案「2021-2022 年度東日本区役員承認の件」
(提案者　大久保次期理事)
議長の指名により、大久保次期理事が議案書に基づき説明を行った。
監事は行政と財政に分かれ、役割分担は監事同士で話し合い決める。
情報発信力を高めるため、広報、伝達、PR 専任委員を佐竹さんにお願いした。内向き、外向きに広報、伝達に力を入れたい。
＜訂正＞
東日本ワイズ基金運営委員会委員長を髙田一彦さんから原俊彦さん(富士五湖)に修正する。
質疑応答はなく、議案を修正し議長が本議案の賛否を諮ったところ、出席者の多数の賛成をもって、承認された。

第 7 号議案「2021-2022 年度東日本区予算の件」
(提案者　大久保次期理事)
議長の指名により、大久保次期理事が議案書に基づき説明を行った。
衣笠次期書記、座間副書記、小林隆事務所所長が、PDF で提供する準備をしている。
ハンドブック&ロースターは要望があれば印刷して届ける。
ロースターは個人情報を意識したものにしている。
＜質問＞
紙のロースターがないとのことだが、どの程度の内容を印刷してくれるのか。ワイズの信条やワイズ用語が大事なのに、なぜ印刷しないのか。なぜ洛陽との取引を止めるのか。
＜回答＞
色々な変化の中で我々も変わらなければならない。データ管理が洛陽にお任せだったので、区の書記とクラブ単位で会員の情報管理し、事務所で保管する。ハンドブックとほぼ同じものにして、ワイズ用語を詳しく説明して、発行したい。PDF を会長に送る時、クラブから印刷必要部数を聞いて用意し届ける。
＜意見＞
大きく変化があるときは、できればアンケート調査をするなどして会員に知らせてほしかった。
＜質問＞
法人化に伴う 23 万円という費用は予算計上されているのか。
＜回答＞
設立に必要な初期費用は議案採択後、今期に発生させることになっている。来期は 7 万円と税理士費用を予備費等から支出する。
＜質問＞
収入の部でロースター広告を 0 円で見積もっているが、ウェブサイトではそのような方法（広告収入）は使えないのか。
＜回答＞
広告収入は考えられるが、組織、団体としての意味合いもあるかと思い、慎重に取り組む。
YIA、ユースに関わる収入が減少するのは事実で、その点については、ファンドレイジングを企画する中で計画していきたい。まだ予算としては計上できないが、来期以降定着させたい。
＜採決＞
質疑応答の後、議長が本議案の賛否を諮ったところ、出席者の多数の賛成をもって、原案通り承認された。

第 8 号議案「臨時代議員会実施の件」
(提案者　板村哲也理事)
議長の指名により、板村理事が議案書に基づき説明を行った。
今年度は行政に関しても、財政に関しても、完全に年度が終わってから監査報告をする。
7 月の第 1 回役員会で代議員会に付議する議案が出た

場合はこれに加える。
従来は郵便で行っていたが、ズームなど色々の手段が考えられるので郵便を省いた。
＜採決＞
質疑応答はなく、議長が本議案の賛否を諮ったところ、出席者の多数の賛成をもって、原案通り承認された。

３．閉会

辻監事
過去２年間監事を務めさせていただいた
年次代議員会ご苦労様
議案によっては、熱心な討議が行われたことをうれしく思う。
7 月 7 日に監査を行い、行政監査報告を提出する。
1 年を振り返った詳しい話はそれをお読みいただきたい。
昨年度の後半期からコロナの問題が起こり、今年もコロナ禍で、非常に難しい東日本区の運営だったと思う。
理事を中心に執行部の皆が適切な運営をされた。
理事の任務は定款に適合して正常に執行されてきた。
トロイカ方式が定着し、運営におけるオンラインのスキルアップもめざましい。
各会議、委員会は予定通りの日程をこなされた。
今後コロナが終息しても一部リモート方式は定着する。
今日のような熱心な討議が行われるならオンラインも悪くないが、基本は対面方式の侃々諤々の意見交換で、それ等が生み出す創造性、新鮮な味わいが、組織の活性化につながる。
オンラインによるマンネリ化した運営を避けておけばよい。
皆さん、お世話になった。

漆畑監事
辻監事、大役ご苦労様でした。
細かいこと、色々なことすべてを教えてもらった。
昨日、今日とリモート会議の有用性を実感できた。
発言の仕方をロバート議事法で、一時期会議を上手にしようかと論議したことがあったのを思い出した。
自由闊達な意見で会議を進めることと、会議の流れをコントロールしていくということをこれからも考えねばならない。
リモートの有効性は誰もが実感している。監査するにもデジタル化により文書も正確なものを見ることができる。
これからもこういうことを続け、書類が明確になる事を望んでいる。
1 年間ご苦労様。

田中次期監事
辻さんの後を引き継ぎ、漆畑さんと協力し合い、東日本区のコンプライアンスを確かなものとしていくお手伝いをさせていただこうと思っている。
これまでの東日本区や国際、アジア太平洋地域での経験も役立たせていきたい。
コミュニケーションの大切さが議案の中でもクローズアップされていた。
ズームが活用されているので、例えばこの代議員会という堅い集まりではなく、会長やクラブメンバーが気軽に、法人化、EMC、クラブの活性化等々について話し合える環境にある。そのことについても積極的に推進していただければと次期に期待している。

開会挨拶：　大久保知宏次期理事
熱心な審議有難う。
ズームのおかげかもしれないが、色々な意見をいただきながら、しっかりした議論ができ、代議員会が充実したものだと思っている
意見の分かれたものは真摯に受け止め、しっかりとした対応をしていただきたい

閉会点鐘：　板村哲也理事

ワイズメンズクラブ国際協会
2020-2021 年度
東日本区理事　板村　哲也様

東日本区行政監査報告書

私たちは、東日本区定款第 15 条第 2 項(1)の規程に基づき、ワイズメンズクラブ国際協会東日本区の行政監査を行いましたので、次の通り報告いたします。

1. はじめに

(1) 昨年同様、東日本区定款第 19 条監事の任務第 3 項「行政監事は、第 11 条の理事の任務が正常に執行され、区における内部統制システムが機能しているか確認する」との規定に基づき監査を行いました。

(2) 主に以下のポイントを中心に確認をさせていただきました。
① 2020 年 7 月 1 日から 2021 年 6 月 30 日の期間について、理事の職務の執行・運営が東日本区定款に則って運営されているか、
② 違法行為や不正、ミスやエラーなどが行なわれることなく、組織が健全かつ有効・効率的に運用さているか、等であります。

(3) これらを確認するために、私たちは、1 年間を通して当該年度の会計決算監査(監査日:2021 年 7 月 7 日)に加え、年次代議員会、東日本区役員会、常任役員会に全て出席いたしました。また、常置委員会、事業委員会、特別委員会、研修会等にもオブザーバーとして出席し様々な情報収集に務めました。

2. 総括

(1) 1 年を振り返ってみますと、今年度も昨年度の下半期から引き続きコロナ禍の下での運営を強いられましたが、板村哲也理事を中心とした東日本区の執行部の皆様は困難な区の運営に適切に対応され、理事の任務は定款に適合して正常に執行されたと思います。当該年度の相当期間で政府による緊急事態宣言が発出されるという異常な状況の中、組織として東日本区は、健全かつ可能な範囲で効率的に業務を遂行できたと高く評価いたします。

(2) その理由として以下の 2 点が考えられます。
① 昨年度後半から取り組んだオンライン・リモート方式(以下、「オンライン方式」)においては大幅なスキルアップがみられ、多くの会議、委員会等はほぼ予定通りに実施できたことが大きく貢献していると考えられます。オンライン方式はアフターコロナにおいても東日本区内にある程度定着すると考えられ更なるスキルアップがのぞまれるとともに、全てのクラブの皆さんが対応可能なレベルまで区としてサポートして行くべきと考えます。
② もう一つ、あまり目立たないですが、ワイズの伝統である、直前理事、現理事、次期理事による「トロイカ方式」が従来以上に機能したのではないかと考えています。これも 3 人の出席、参加をより可能にした「オンライン方式」も大いに関係しているのではないかと思います。また、3 人の各理事はそれぞれ個性のある方針を打ち出しながらも重点課題については継続性を維持し、そのことが課題実現につながったと思います。
③ 一方「オンライン方式」は、未だ不慣れなメンバーもおり、ともすると形式的な議論に終始する恐れがあります。テーマによっては、侃々諤々の議論が必要なこともあり、たとえ「オンライン方式」であっても、工夫すれば活発な審議ができ、創造性や新鮮味をもたらし、組織の活性化につながることに留意すべきと考えます。

3. 個別的振り返り

(1) 常置委員会・特別委員会等の活動について
文献・組織検討委員会(含む、会計小委員会)は、理事の諮問事項を含め多くの規則等の検討を行い、LT 委員会は ZOOM によるワールドカフェ研修会という自己開発プログラムで次期部長・主任研修会を開催、法人化準備委員会は一般社団法人定款、等々に取り組み、大きな成果を上げました。とくに一般社団法人定款は、今後内部統制システムの充実、即ち、より健全で効率的な運営に大いに貢献できるのではないかと期待します。

(2) 事業委員会について
対面活動が基本となっている各事業委員会の事業は総じて活動が大幅に減少しました。これらについては「致し方無い」といわずに何等かの工夫が求められます。

そのような中、EMC 事業委員会・Change！2022 推進委員会は活発に委員会を開催し、セミナーの開催、アクションプログラムの作成、ワイズ紹介の名刺の開発など大きな成果を揚げました。

4. 要望事項に対する振り返り

(1)「緊急事態対処条項(仮称)の検討の要望」
文献・組織検討委員会にて、「コロナ禍中での例会出席率の取り扱い」は「リモート例会も出席扱いにする」旨、定款細則第 11 条を改訂していただきました。今後も起こりうる異常事態に対しては一般社団法人定款と整合性の取れる形での検討を継続していただきたくお願い申し上げます。

(2)「現行会計体制の見直し」と「会計処理委員会(仮称)」設置の提言」
① 主な検討内容として次のようなお願いをしました。
- 会計体制の在り方(「東日本区会計マニュアル」(仮称)の作成を含む)
- 会計処理の在り方
- 法人化対応の会計について

② これに対して、文献・組織検討委員会の「東日本区会計規則およびシステム検討小委員会」が精力的に検討され、「会計経理規程」、「金銭出納管理規則」、「決裁権限表」、「決算マニュアル」等がほぼ完成の最終段階にあります。法人化された一般社団法人国際協会東日本区の内部統制システムの更なる充実に大いに貢献するものと期待されます。
今後は、一般社団法人定款との整合性を維持することに留意しつつ、これらの規則を運用しながら実情に合致した改訂を加えてより充実したものにしていただきたい。

(3)「Change！2022 推進委員会予算の区経常予算への組入れ」の件
昨年度初めて予算措置を講じたため当初予算への組み入れができなかった。今期は委員会が会計管理をし、監査のみを区監事が担当した。今後、補助金・事業費の管理方法について東日本区か、委員会のどちらが管理するかを議論し明確にする必要があることを明記しておきます。

(4) 以上みてきた通り要望させて頂いた各項目につきましては、全て理事以下皆さまが誠意を持って対処され十分な成果をあげていただきましたことに対し深く敬意を表します。

5. おわりに

時代の変化は東日本区の今後の運営の在り方にも大きな変化を突きつけています。それがコロナによって加速したともいえます。順不動で思いつくまま挙げましても、「オンライン方式」の浸透と新しい例会様式、それによるクラブ間の ZOOM 格差発生、一般社団法人化、沖縄クラブの解散・西日本区への移籍、東日本区事務所の長期閉鎖と今後の在り方、紙ロースターの廃止、等々既に変化の兆候は現実のものとなっています。私はこの 2 年間東日本区に所属する皆さん全員の高い志とそれを実現させようとする強い意志と実行力を拝見してきました。皆さんは、東日本区という組織がゴーイングコンサーンとして(持続可能な組織として)今後も末永く存続しうるよう適宜適切に対処して頂けると信じております。

なお、辻　剛は皆さまのご協力のもと行政監事として力不足ではありましたが、2 年間の責務をなんとか全うできたことをこの場をお借りして心より御礼申しあげます。本当にありがとうございました。

ワイズメンズ国際協会
2020-2021 年度
監査日　2021 年 7 月 7 日

東日本区監事　漆畑　義彦　漆畑

東日本区監事　辻　　剛　辻剛

★第 24 回東日本区大会

東日本区書記　小山　久恵（東京サンライズ）

6 月 12 日（土）13 時 30 分から甲府 21 クラブのホストで、甲府の常磐ホテルにてハイブリッドで開かれました。開会式、東日本区アワー1、2、閉会式の 4 項目を 3 時間で行いました。開会式は VTR と、リモートでの祝辞、アワー1 は発表者がスクリーンに映し出される資料を見ながらの報告をリモートで、アワー2 は、会場においてリアルで引継ぎ式と理事就任式が行われ、デービッドアジア太平洋地域会長がリモートで司式者を務められました。閉会式もほとんどがリアルでした。

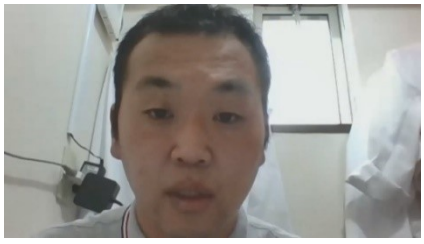
コロナの問題で、ギリギリまで方法が決まらず、それでも中止にはしたくないという思いで、このような区大会を実施いたしました。コロナ禍が終息しても、ハイブリッドでの大会ができれば、大勢の方に参加していただけるかもしれません。当日は 200 名（約 170 か所からの視聴、会場参加者約 40 名）を超える参加者でした。

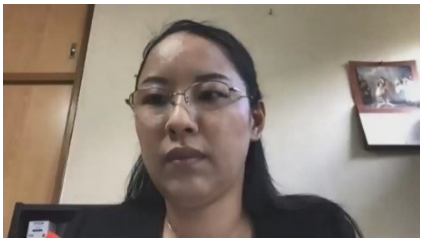
東日本区大会写真集

2020-2021年度
東日本区年次報告
2021年6月12日（土）
ワイズメンズクラブ国際協会
東日本区理事
板村哲也（東京武蔵野多摩）

苦難の中（コロナ禍）での
EMC活動報告
東日本区会員増強事業主任
伊藤幾夫
（東京多摩みなみ）

ワイズメンズクラブ国際協会
第24回東日本区大会





東日本大震災支援
活動報告
～10年を振り返る～
4ワイズメンズクラブ連絡会議
石巻広域ワイズメンズクラブ
清水　弘一

2020-2021年度
奈良傳賞
受賞者発表

奈良 傳 賞
小峰 理孝 ワイズ
（埼玉クラブ）
おめでとうございます

奈良 傳 賞
池谷 淳 ワイズ
（下田クラブ）
おめでとうございます

JAPAN EAST
24TH REGIONAL
CONVENTION
12 JUNE 2021
GREETINGS
Y's Men International
Asia Pacific Are

第24回東日本区大会

ワイズメンズクラブ国際協会
第24回東日本区大会
JAPAN
EAST
REGION

ワイズメンズクラブ国際協会
第24回東日本区大会

REGIONAL DIRECTOR
HOME CLUB
JAPAN EAST REGION

ワイズメンズクラブ国際協会
第24回東日本区大会

ワイズメンズクラブ国際協会
第29回アジア太平洋地域大会

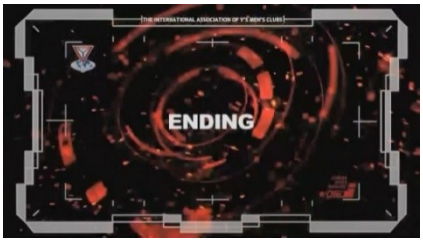
みなさん、こんにちは

JAPAN
EAST
REGION
Regional
Convention

日時：2022年6月4日(土)-5日(日)

宇都宮餃子

Y's Men International
Japan East Region
25th
Convention in Utsunomiya
2022

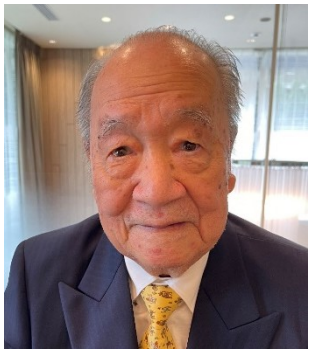


2020-2021 年度　東日本区表彰一覧

理 事 表 彰

東日本区奈良傳賞

小峰理孝さん（埼玉クラブ　1929 年 10 月 31 日生まれ　91 歳）



埼玉クラブ（1976 年 2 月 29 日創立）の在籍する唯一のチャーターメンバーで、クラブの精神的なアイデンティティー、組織継続の原動力となっておられます。ご自身が所有されているビルの 1 階をクラブの例会の会場として永年無料で提供されています。東日本区大会には毎年欠かさず出席、年末年始に YMCA 東山荘で開催される東西日本区との合同新年会の永世世話人を務められています。

日本区が東西に分離直後の東部部長（当時）、トラベル・コーディネーターなどを歴任され、埼玉 YMCA 設立の準備委員として大きく貢献されました。

アイバンクやライオンズクラブなど多方面でご活躍しておられます。

池谷　淳さん（下田クラブ　1932 年 4 月 29 日生まれ、2021 年 6 月 4 日逝去　享年 89）

下田クラブ（1981 年 6 月 21 日創立）の創立者で、チャーターメンバーとして入会され、40 年間にわたり活動を続けてこられました。クラブ創立より 3 期連続で会長を務められクラブの体制を固められ、2001～2002 年度には富士山部部長を務められました。下田市長でもあった 2002 年に黒船祭協賛「日米いかだ乗り競漕大会」を発案され、この行事はその後もビッグイベントとして継続され、ワイズメンズクラブの認知度の向上に繋がりました。下田市長は 4 期 16 年歴任されました。地域奉仕事業、青少年育成活動、障がい者福祉事業など、多くの事業に貢献されました。最近は健康上の理由で功労会員として在籍しておられましたが、6 月 4 日に急逝されました。生前に受賞の決定をお知らせしていましたが、区大会での授賞は叶いませんでした。

最優秀クラブ賞

甲府21クラブ

会員増強、CS 活動、山梨 YMCA の支援、SNS による社会への情報発信などを積極的に展開されました。また、区大会のホストを務められました。

優秀クラブ賞

石巻広域クラブ

東日本大震災復興活動支援を続けておられます。また活動を SNS で社会に PR し続けておられます。

理事特別賞

富士クラブ

故樫村好夫ワイズの御遺志をクラブから 100 万円を東日本区に寄付されました。

あずさ部

会員増強、CS 活動、献金総額、区大会の支援など、コロナ禍にあっても多くのクラブが創意工夫をして活動を続けられました。また適時、的確に部業務を遂行されました。

利根川恵子さん(川越)

ズームによる英語での国際会議や研修が大幅に増加。日本からの参加者のためにご自身の職域を越えボランティアで日英の同時通訳を務めてくださいました。

ブリテン最優秀賞

横浜とつかクラブ

毎回多くのメンバーが寄稿に参加、ブリテンを通してクラブ内のコミュニケーションが図られています。発行が時間厳守で速やかに行われています。

地域奉仕・YMCA サービス事業表彰

地域奉仕活動特別賞

富士五湖クラブ

フライングディスク大会＆Week4Waste 開催

コロナ禍において感染防止対策をとりながら、富士五湖クラブ単独主催による「第 10 回障がい者フライングディスク大会 in 北麓」が 150 名参加で開催され、ワイズ近隣クラブの応援、各種地元ボランティア団体、山梨県フライングディスク協会など多くの協力者を得て実施。大会終了後にワイズ国際協会の新規プロジェクト Week4Waste(環境美化活動)をフライングディスク大会と合わせ、多くの参加者にアピール。今期の CS 活動として評価致しました。

YMCA サービス特別賞

甲府 21 クラブ

山梨 YMCA 新会館建設支援において、新型コロナの影響で YMCA 事業、運営に多くの困難が伴う中、山梨 YMCA 新会館建設にあたり尽力されました。新会館建設の為の建設募金集めでは、総枚数 2400 通のダイレクトメール封入作戦を 25 名で実施。東西のワイズと全国の YMCA に支援依頼をし、全国から協力を得るなど、新会館建設に多くの方に関わりを持って頂きました。また、Week4Waste(環境美化活動)を通して山梨 YMCA 周辺地域の地元のみなさまとの交流に力を注いて頂いた事も合わせ高く評価致します。

CS 献金貢献賞(一人当たり)

1 位：東京たんぽぽ(2,332 円)　2 位：石巻広域(1,980 円)　3 位：東京サンライズ(1,701 円)

CS 献金達成賞

十勝、仙台、宇都宮、仙台青葉城、仙台広瀬川、石巻広域、東京江東、千葉、東京グリーン、東京北、所沢、東京ひがし、川越、千葉ウェスト、東京、東京むかで、東京世田谷、東京多摩みなみ、東京町田スマイリング、甲府、東京西、東京武蔵野多摩、松本、東京サンライズ、甲府 21、東京八王子、東京たんぽぽ、富士五湖、長野、横浜、鎌倉、横浜つづき、熱海、沼津、伊東、下田 （36 クラブ）

年賀切手収集協力賞

1 位：石巻広域(89 枚) 2 位：東京サンライズ(32 枚) 3 位：東京たんぽぽ(9 枚)、東京(5 枚)

ASF 献金貢献賞(一人当たり)

1 位：横浜とつか(4,167 円) 2 位：東京たんぽぽ(1,214 円) 3 位：東京多摩みなみ(1,100 円)

ASF 献金達成賞

北見、十勝、宇都宮、仙台青葉城、東京江東、千葉、東京グリーン、東京北、所沢、東京ひがし、川越、千葉ウェスト、東京、東京むかで、東京世田谷、東京町田コスモス、東京多摩みなみ、東京町田スマイリング、甲府、東京西、東京武蔵野多摩、松本、東京サンライズ、甲府 21、東京たんぽぽ、富士五湖、長野、横浜、鎌倉、横浜とつか、横浜つづき、横浜つるみ、熱海、沼津、伊東、御殿場 （36 クラブ）

FF 献金貢献賞(一人当たり)

1 位：東京たんぽぽ(929 円) 2 位：東京(769 円) 3 位：東京サンライズ(563 円)

FF 献金達成賞

十勝、東京江東、千葉、東京グリーン、東京北、所沢、東京ひがし、川越、千葉ウェスト、東京、東京むかで、東京世田谷、東京多摩みなみ、甲府、東京西、東京武蔵野多摩、松本、東京サンライズ、甲府 21、東京たんぽぽ、長野、横浜、鎌倉、横浜つづき、横浜つるみ、熱海、沼津、伊東（28 クラブ）

会員増強事業表彰

EMC-E 部門

新クラブ設立賞（千葉ウェストクラブをチャーター）

千葉クラブ

関東東部エクステンション委員会

EMC-MC 部門

新入会員獲得最優秀賞

甲府 21 クラブ(9 名)

新入会員獲得優秀賞

石巻広域(5 名)、御殿場(4 名)、東京サンライズ(3 名)、熱海(3 名)

新入会員獲得努力賞(2 名)

宇都宮、足利、もりおか、所沢、東京世田谷、甲府、横浜、沖縄那覇

新入会員獲得特別賞(個人として会員増強に貢献)

新入会員獲得最優秀賞

宮岡宏実さん(甲府 21) 7 名

新入会員獲得優秀賞

髙田一彦さん(千葉ウェスト)4 名、大久保知宏さん(宇都宮)2 名、諏訪治男さん(足利)2 名
濱塚有史さん(もりおか)2 名、石川光晴さん(石巻広域)2 名

SNS 活用部門

クラブの“魅力”発信賞

石巻広域クラブ

YouTube、FB(フェイスブック)等を活用し、ワイズメンズクラブの活動を広く外部に発信、会員増強にも繋げました。

エクステンション委員会部門

最優秀賞：関東東部

新クラブの設立に向けた継続的な活動や「EMC を考える集い」の開催

優秀賞：東新部、あずさ部、湘南･沖縄部

東新部は「EMC セミナー」の開催。

あずさ部は 4 回の委員会を開催し、新クラブ設立を模索しまた。

湘南・沖縄部は毎月委員会を開催し、「つながりマスク」作成などを通して会員増強に努めました。

国際・交流事業表彰

BF 献金貢献賞(一人当たり)

1 位：東京(2,515 円)　2 位：東京サンライズ(2,267 円)　3 位：東京西(2,230 円)

BF 献金達成賞

十勝、札幌北、東京江東、千葉、東京グリーン、東京北、所沢、東京ひがし、川越、千葉ウェスト、東京、東京むかで、東京世田谷、東京多摩みなみ、東京町田スマイリング、甲府、東京西、東京武蔵野多摩、松本、東京サンライズ、甲府 21、東京八王子、東京たんぽぽ、富士五湖、長野、横浜、横浜つづき、熱海、沼津、伊東　(30 クラブ)

BF 使用済み切手収集優秀賞

1 位：東京町田スマイリング(20,100 円)　2 位：仙台青葉城(12,300 円)

BF 使用済み切手収集協力賞

仙台青葉城、東京、東京多摩みなみ、東京町田スマイリング、甲府、東京西、東京サンライズ、甲府 21、東京たんぽぽ、富士五湖　(10 クラブ)

TOF 献金貢献賞(一人当たり)

1 位：東京たんぽぽ(2,157 円)　2 位：東京多摩みなみ(1,664 円)　3 位：東京西(1,650 円)

TOF 献金達成賞

十勝、札幌北、仙台、仙台青葉城、仙台広瀬川、東京江東、千葉、東京グリーン、東京北、所沢、東京ひがし、川越、千葉ウェスト、東京、東京むかで、東京世田谷、東京多摩みなみ、甲府、東京西、東京武蔵野多摩、松本、東京サンライズ、甲府 21、東京八王子、東京たんぽぽ、富士五湖、長野、横浜、鎌倉、横浜つづき、熱海、沼津、伊東、下田　(34 クラブ)

RBM 献金貢献賞(一人当たり)

1 位：東京江東(3,063 円)　2 位：東京たんぽぽ(1,514 円)　3 位：東京サンライズ(900 円)

RBM 献金達成賞

十勝、札幌北、東京江東、千葉、東京グリーン、東京北、所沢、東京ひがし、川越、千葉ウェス

ト、東京、東京むかで、東京世田谷、東京多摩みなみ、甲府、東京西、東京武蔵野多摩、松本、東京サンライズ、甲府 21、東京八王子、東京たんぽぽ、富士五湖、長野、横浜、鎌倉、横浜つづき、熱海、沼津、伊東、下田、御殿場　(32 クラブ)

YES 献金貢献賞(一人当たり)

1 位：東京多摩みなみ(591 円)　2 位：東京サンライズ(563 円)　3 位：東京西(550 円)

YES 献金達成賞

十勝、宇都宮、東京江東、千葉、東京グリーン、東京北、所沢、東京ひがし、川越、千葉ウェスト、東京、東京むかで、東京世田谷、東京多摩みなみ、東京町田スマイリング、甲府、東京西、東京武蔵野多摩、松本、東京サンライズ、甲府 21、東京たんぽぽ、富士五湖、長野、横浜、鎌倉、横浜つづき、熱海、沼津、伊東　(30 クラブ)

IBC 締結賞

甲府 21 クラブ(アデレードクラブ/オーストラリア区)

DBC 締結賞

石巻広域クラブ、東京むかでクラブ(神戸ポートクラブとトライアングル)

ユース事業表彰

YIA 優秀賞

東京クラブ

11 月例会をユースナイトとして多くのユースの話を聞きました。

3 月の例会では日本のお茶をアジアからの留学生に飲んでもらいました。

YIA 特別賞

東京江東クラブ

例年どおりユース活動報告例会を実施。今回は対面と ZOOM によるハイブリッド例会を行いました。4 名のリーダーから全リー研、お楽しみ保育、サッカークラスの活動報告を頂きました。コロナ禍の中でも、リーダー達が、できることを精一杯やって、子供たちに真摯に向き合い活動をしている姿をみて、我々ワイズメンが強い感銘をうけ、心に残る例会が出来ました。

東京八王子クラブ

中央大学の学 Y を支える活動を継続的に行っています。

ロースター広告協力賞

十勝、札幌北、仙台、宇都宮、仙台青葉城、那須、仙台広瀬川、東京江東、千葉、東京グリーン、東京北、所沢、川越、茨城、東京、東京むかで、東京世田谷、東京町田コスモス、東京センテニアル、東京西、東京武蔵野多摩、松本、東京サンライズ、東京八王子、東京たんぽぽ、横浜、鎌倉、横浜とつか、厚木、横浜つづき、熱海、熱海グローリー、富士　(33 クラブ)

PWALP 協力賞(ワイズ創始者ポール・ウィリアム・アレキサンダー遺産計画)

十勝、宇都宮、石巻広域、東京江東、千葉、東京グリーン、東京北、所沢、東京ひがし、川越、茨城、千葉ウェスト、東京、東京むかで、東京世田谷、東京町田コスモス、東京多摩みなみ、東京町田スマイリング、東京西、東京武蔵野多摩、松本、東京サンライズ、甲府 21、東京たんぽぽ、長野、横浜、熱海、熱海グローリー、御殿場　(29 クラブ)

全献金達成クラブ（献金事業８種全てを目標達成したクラブ）

十勝、東京江東、千葉、東京グリーン、東京北、所沢、東京ひがし、川越、千葉ウェスト、東京世田谷、東京多摩みなみ、東京西、東京武蔵野多摩、松本、東京サンライズ、甲府 21、東京たんぽぽ、長野、横浜、熱海　（20 クラブ）

第24回東日本区大会　予算・実績表

ホストクラブ：甲府21ワイズメンズクラブ

■収入の部　　単位：円

項　目	予算	実績	備　考
大会支援金	415,000	415,000	500円×830人
大会準備金	500,000	500,000	区貸与金
ハイブリッド大会支援金	800,000	650,331	（貸与金50万円を返却しない場合）
合　計	1,715,000	1,565,331	

■支出の部

項　目	予算	実績	備　考
2020. 9/1～2021.3/31 支出額　式	760,000	321,506	横断幕作成、チラシ第1弾・第2弾、大会参加資料作成 部大会出張費、会議費　等（+郵送料）
≪2021. 3/30～6/14≫			
◇三者全体会議		36,630	5/19リハーサルの打合せ会（クラブ・フォネット・ホテル）
			＊会場確認（テーブル・椅子の数、配信設備等）
◇映像制作（オリエンタル）	200,000	176,260	VTR:オープニング、来賓、物故者、エンディングおよび
			各リモート資料の調整と名寄せ
◇常磐ホテル	447,500	519,685	
本会場費	200,000	270,000	本会場費
別会場費	50,000	55,000	代議員会使用
同時通訳ブース費		22,545	
会場使用機材	27,500	27,500	
宅急便代		1,970	
リハーサル会場費	120,000	110,000	5/19リハーサル
同プロジェクター	50,000	32,670	〃　（操作1名）
◇フォネット（配信関係）			
＊配信費一式	450,000	505,000	本会場設備・配信および別ブース設備・配信
◇会議費	50,000	6,250	文具代、謝礼（フォネット社）
◇通信費	20,000	0	
◇予備費	100,000	0	
合　計	2,027,500	1,565,331	

＊大会支援金+大会準備貸与金＋追加支援金の支援額　650331円

＊大会準備貸与金50万円を返却する場合の支援額　1,150,331円

2021年6月23日

大会実行委員長　荻野　清

大会会計　小澤公紀

2020－2021年度　東日本区期末決算

2021年6月30日

収入の部

科　目	修正予算額	決算額	備　考
東日本区費	8,051,000	6,021,000	後期790、担当主事48
ハンドブック＆ロースター	1,531,000	1,332,500	東700冊・西75冊
入会金	900,000	234,000	39名
物品売上	150,000	0	部報等印刷費他
国際加盟金	36,000	11,991	CHF100.00×¥119.91
ワイズメンズワールド補助金	105,000	103,075	875人×CHF1.00×¥117.80
受取利息	0	163	みずほ銀行
雑収入	0	6,051	㈲フクオ寄付
ロースター広告代	600,000	500,000	ユース活動費
YVLF負担金	0	0	各クラブ2万円（YVLF活動費）今期徴収せず
ユース活動参加費	890,000	0	
収入小計	12,263,000	8,208,780	
前期繰越金	9,257,188	11,099,147	
合　計	21,520,188	19,307,927	

支出の部

科　目	修正予算額	決算額	備　考
国際会費	4,200,000	3,425,482	注：欄外下段
アジア太平洋地域会費	690,000	537,142	注：欄外下段
アジア太平洋地域自然災害緊急支援金	218,500	177,886	830×USD2.00×¥107.16
国際加盟金	36,000	11,991	CHF100.00×¥119.91
ヤングメンバー補助金	0	0	
東日本区大会負担金	475,000	415,000	@500×830人
東日本区事務所（業務委託費）	1,200,000	1,200,000	事務所所長
東日本区事務所（家賃）	1,224,000	1,224,000	102,000円×12カ月（日本YMCA同盟会館）
会議費	100,000	0	
旅費・交通費	1,875,000	546,700	各種会議、事務所長交通費
区・事業費	1,200,000	1,516,626	区大会開催費用1,150,331円・表彰費用・他
部・事業費	985,000	949,000	100,000円×7部＋300円×830人
事務通信費	400,000	456,876	プロパイダー代・電話代・送料
宣伝印刷費	350,000	422,750	2019-20区報2号/2020-21区報1号/YMIW
コピー機カウンターチャージ	400,000	226,764	コピー機リース18,897円×12カ月、コピー代
ハンドブック＆ロースター	1,344,000	1,434,400	東801冊・西85冊
消耗品・事務用品費	150,000	22,514	
ＥＭＣ物品費	915,000	237,050	入会キット等
慶弔費	100,000	74,508	弔電11・生花4
銀行手数料	30,000	67,447	送金手数料・残高証明書等
雑費	50,000	0	
予備費	300,000	0	
ユース活動費	1,530,000	0	
ＹＶＬＦ	0	0	
補助金　理事/次期理事/直前理事	80,000	80,000	
書記/会計	40,000	40,000	
事業主任	80,000	80,000	
部長	140,000	140,000	
委員長/専任委員	80,000	80,000	
監事	20,000	20,000	補助金予算　460,000
理事スタッフ	20,000	10,000	補助金決算額　450,000
支出小計	18,232,500	13,396,136	
次期繰越金	3,287,688	5,911,791	
合　計	21,520,188	19,307,927	

国際会費：前期 834×CHF17.5×¥116.62　後期 834×CHF17.50×¥117.80+4(若年新入会員)×CHF8.75×¥117.80
アジア太平洋地域会費：前期 830×USD3.00×¥107.16　後期：813×USD3.00×¥110.83（若年会員会費免除：25）
※補助金の支給内容：補助金(役員活動)対象者より東日本区大震災3.11募金へ340,000円の寄付があった

貸借対照表

2021年6月30日

資産の部		負債の部	
現預金	24,712,120	未払金	0
貯蔵品	19,185	前受金	1,200,000
立替金	0	預り金	1,077,950
短期貸付金	0	東日本区ワイズ基金（JEF）	13,100,476
未収入金	0	各種献金残高	3,042,464
		東日本大震災支援募金残高	183,022
		災害募金	315,602
仮払金	100,000	次期繰越金	5,911,791
計	24,831,305	計	24,831,305

特別資金会計

JEF

収入の部		支出の部	
当期入金	604,263	当期支出	0
前期繰越金	12,496,213	次期繰越金	13,100,476
計	13,100,476	計	13,100,476

PWALP

収入の部		支出の部	
当期入金	362,600	当期支出（国際送金）	362,600
前期繰越金	0	次期繰越金	0
計	362,600	計	362,600

TOF

収入の部		支出の部	
当期入金	756,750	当期支出（国際送金）	756,750
前期繰越金	0	次期繰越金	0
計	756,750	計	756,750

CS/ASF

収入の部		支出の部	
当期入金（CS）	780,208	当期支出	1,000,000
（ASF）	356,900	（国際送金）	113,710
前期繰越金	776,566	次期繰越金	799,964
計	1,913,674	計	1,913,674

FF

収入の部		支出の部	
当期入金	233,250	当期支出	100,000
前期繰越金	1,054,283	次期繰越金	1,187,533
計	1,287,533	計	1,287,533

BF

収入の部		支出の部	
当期入金	1,047,474	当期支出（国際送金）	1,047,474
前期繰越金	0	次期繰越金	0
計	1,047,474	計	1,047,474

EF

収入の部		支出の部	
当期入金	29,554	当期支出（国際送金）	29,554
前期繰越金	0	次期繰越金	0
計	29,554	計	29,554

RBM

収入の部		支出の部	
当期入金	473,669	当期支出 （国際送金）	473,500
前期繰越金	0	次期繰越金	169
計	473,669	計	473,669

YES

収入の部		支出の部	
当期入金	254,400	当期支出	100,000
		（国際送金）	263,154
前期繰越金	371,908	次期繰越金	263,154
計	626,308	計	626,308

メネット

収入の部		支出の部	
当期入金	331,400	当期支出	0
		（国際送金）	80,900
前期繰越金	541,144	次期繰越金	791,644
計	872,544	計	872,544

【各種献金残高合計】 （JEFを除く）

PWALP	0
TOF	0
CS/ASF	799,964
FF	1,187,533
BF	0
EF	0
RBM	169
YES	263,154
メネット	791,644
計	3,042,464

東日本大震災支援募金

収入の部		支出の部	
当期入金	6	当期支出	500,000
前期繰越金	683,016	次期繰越金	183,022
計	683,022	計	683,022

熊本大地震支援募金

収入の部		支出の部	
当期入金	0	当期支出	0
前期繰越金	31,602	次期繰越金	31,602
計	31,602	計	31,602

3.11募金

収入の部		支出の部	
当期入金	800,000	当期支出	800,000
前期繰越金	0	次期繰越金	0
計	800,000	計	800,000

インドコロナ支援募金

収入の部		支出の部	
当期入金	284,000	当期支出	0
前期繰越金	0	次期繰越金	284,000
計	284,000	計	284,000

財 産 目 録

2021年6月30日

（単位：円）

科　　目　・　摘　　要		金　　額		
Ⅰ．資産の部				
１．流動資産				
現金預金				
現金	現金手元在高	208,820		
普通預金	郵便振替	14,037,791		
	みずほ銀行	282,328		
	ゆうちょ銀行	183,022		
	みずほ銀行（US$）	159		
定期預金	みずほ定期	10,000,000		
現預金合計			24,712,120	
貯蔵品				
CS年賀切手		19,185		
短期貸付金		0		
未収入金		0		
仮払金				
㈱斎藤工芸		100,000		
流動資産合計			119,185	
２．固定資産				
固定資産合計			0	
資産合計				24,831,305
Ⅱ．負債の部				
１．流動負債				
未払金		0		
前受金				
東日本区各クラブ　20YVLF		1,200,000		
預り金				
樫村メモリアル		1,000,000		
仙台青葉城　過送金		42,700		
足利　過送金		22,500		
会津　各種献金		12,750		
東日本区ワイズ基金		13,100,476		
東日本大震災支援募金		183,022		
各種献金				
TOF,CS/AFS.FF.BF.EF.RBM.YES.メネット		3,042,464		
災害募金（インド：284,000　熊本：31,602）		315,602		
流動負債合計			18,919,514	
２．固定負債				
固定負債合計			0	
負債合計				18,919,514
正味財産				5,911,791

ワイズメンズクラブ国際協会
2020-2021 年度
東日本区理事　板村　哲也様

東日本区決算会計監査報告書

私たちは、東日本区定款第 19 条の規定に基づき、ワイズメンズクラブ国際協会東日本区の 2020-2021 年度期末決算（2020 年 7 月 1 日～2021 年 6 月 30 日）の会計監査を行いましたので、次の通り報告いたします。

監査日時：2021 年 7 月 7 日午後 13 時 30 分
監査場所：東日本区事務所（四谷）　横浜つづきワイズメンズ事務所

監査立会人：東日本区理事　　板村　哲也
　　：東日本区会計　　利根川　恵子
　　：東日本区事務所所長　　小林　隆
　　：陪席　次期東日本区監事　田中　博之　　小山　憲彦

1．　監査方法
提示された収支計算書、貸借対照表、財産目録、特別会計の諸表並びに金融機関の残高証明書、通帳、証憑書類等を監査。

2．　監査結果
監査方法に基づき、2020-2021 年 6 月 30 日現在の会計監査を実施した結果、
期末における財産の状況、会計処理は適正であることを確認いたしましたので、ここに報告させていただきます。

ワイズメンズクラブ国際協会
2020-2021 年度
東日本区監事　漆畑　義彦　漆畑
東日本区監事　辻　剛　辻剛

2021年7月1日

20-21年度Change!2022決算報告（20/7-21/6実績）

ー 修正予算ベース ー

会員増強事業主任　伊藤幾夫
推進委員会委員長　栗本治郎
同　会計　石田孝次

収入の部　2021年6月30日

	予　算	実　績	予算ー実績	備　考
前期繰越金	2,331,990	2,331,990	0	
受取利息	200	10	-190	
キャッシュレス還元				
その他の収入				
合　計	2,332,190	2,332,000	-190	

支出の部

	予　算	実　績	予算ー実績	
通信費（切手代）	62,000	95,012	33,012	ニュース送付料
ニュース印刷費	66,000	54,340	-11,660	100部or200部 （クラブ会長へ送付）
シンポジウム印刷費	6,300	44,170	37,870	Grディスカッション記録冊子印刷費
FB作成費	50,000		-50,000	
同マニュア作成費	80,000		-80,000	
同OJT指導費	20,000		-20,000	交通費補助
FB広告費	100,000	0	-100,000	
新クラブ設立助成金	200,000	100,000	-100,000	準備委員会5万円、新クラブ5万円計10万円
対外宣伝活動費	550,000	0	-550,000	※リーフレット代、ワイズ紹介名刺代
旅費交通費	0		0	
事務費	0		0	
振込手数料	10,000	7,002	-2,998	
その他	0		0	
シンポジウム会場費	10,000	0	-10,000	ZOOM開催
			0	
			0	
			0	
合　計	1,154,300	300,524	-853,776	
次期繰越金	1,177,890	2,031,476	853,586	（ジャパンネット銀行口座残高）

※期中追加予算　450,000円
本件後当該合計 550,000円

ワイズメンズクラブ国際協会
2020-2021 年度
東日本区理事　板村　哲也　様

Change！2022 推進委員会決算会計監査報告書(2020-2021 年度)

私たちは、Change！2022 推進委員会規則施行細則　第 2 条第 3 項の規定に基づき、「Change！2022 推進委員会」の会計監査(2020-2021 年度)を行いましたので、次の通り報告いたします。

監査日時：2021 年 7 月 7 日（水）13：30～
監査場所：東日本区事務所（四谷）　横浜つづきワイズメンズ事務所
メール添付による監査資料提供者
2020-2021 年度　Change！2022 推進委員会委員長　栗本治郎
2020-2021 年度　東日本区会員増強事業主任　伊藤幾夫
2020-2021 年度 Change！2022 推進委員会会計　石田孝次

監査資料　１）Change！2022　2020-2021 年度決算報告分(xlsx)
２）Change！2022　2020-2021 年度予算案(xlsx)
３）Change！2022　2020-2021 年度月次収支管理表
４）普通預金取引詳細照会 06 月分 PayPay 銀行(pdf)
５）6 月末残高(pdf)
６）6 月末引継残高(pdf)

監査立会人：　Change！2022 推進委員会委員長　栗本治郎

監査方法　：　提供された、上記資料に基づき記載内容を監査。

監査結果　：　上記資料の 2020-2021 年 6 月末現在の会計監査を実施した結果、
会計処理は適正であることを確認いたしましたので、
ここに報告させていただきます。

ワイズメンズクラブ国際協会
2020-2021 年度
東日本区監事
漆畑義彦　漆畑
東日本区監事
辻　剛　辻剛

2020-2021年度 東日本区役員および委員長等

東日本区役員	常任役員	理事	板村　哲也	東京武蔵野多摩
		次期理事	大久保　知宏	宇都宮
		直前理事	山田　敏明	十勝
		書記	小山　久恵	東京サンライズ
		会計	利根川　恵子	川越
	事業主任	地域・Ｙサ	小原　史奈子	東京たんぽぽ
		会員増強	伊藤　幾夫	東京多摩みなみ
		国際・交流	米長　晴信	甲府21
		ユース	三田　庸平	もりおか
	部長	北海道部	中村　義春	十勝
		北東部	南澤　一右	仙台青葉城
		関東東部	柿沼　敬喜	東京グリーン
		東新部	加藤　義孝	東京
		あずさ部	御園生　好子	東京サンライズ
		湘南・沖縄部	古田　和彦	横浜
		富士山部	伊藤　一芳	富士宮
監事		監事	辻　剛	横浜つづき
		監事	漆畑 義彦	富士
委員会	常置委員会	文献・組織検討委員会委員長	駒田　勝彦	甲府21
		LT委員会委員長	山下　真	十勝
		東日本区ワイズ基金運営委員会委員長	髙田　一彦	千葉
		東日本区奈良傳賞選考委員会委員長	板村　哲也	東京武蔵野多摩
	事業委員会	地域奉仕・Ｙサ事業委員会委員長	小原　史奈子	東京たんぽぽ
		ＥＭＣ事業委員会委員長	伊藤　幾夫	東京多摩みなみ
		国際・交流事業委員会委員長	米長　晴信	甲府21
		ユース事業委員会委員長	三田　庸平	もりおか
		ワイズメネット委員会委員長	澁谷　実季	所沢
	特別委員会	東日本大震災支援対策本部本部長	板村　哲也	東京武蔵野多摩
		東日本区事務所人事委員会委員長	大久保　知宏	宇都宮
		Change! 2022推進委員会委員長	栗本　治郎	熱海
専任委員等		ヒストリアン	仙洞田　安宏	甲府
		ＩＴアドバイザー	大久保　知宏	宇都宮
		トラベルコーディネーター	長澤　山泰	東京
		広報・伝達（ＰＲ）専任委員	渡辺　大輔	東京武蔵野多摩
東日本区事務所		東日本区事務所長	小林　隆	沼津
		東日本区事務所参与	小山　憲彦	東京サンライズ
東日本区担当主事		担当主事	光永　尚生	三島
理事スタッフ		副書記	渡辺　大輔	東京武蔵野多摩
		副会計	吉田　公代	川越

2020-2021年度クラブ別各種献金一覧

クラブ名	基礎人数	PWALP	BF			TOF	CS			ASF	FF	RBM	YES	EF
			現金	切手	合計		現金	年賀	合計					
札幌	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
北見	11	0	0	0	0	0	0	0	0	5,500	0	0	0	0
十勝	16	12,800	32,000	0	32,000	20,800	20,000	0	20,000	8,000	8,000	12,800	8,000	0
札幌北	9	0	18,000	0	18,000	11,700	0	0	0	0	0	7,200	0	0
仙台	13	0	0	0	0	16,900	16,250	0	16,250	0	0	0	0	0
前橋	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
宇都宮	31	24,800	0	0	0	0	38,750	0	38,750	15,500	0	0	15,500	0
仙台青葉城	14	0	0	12,300	12,300	18,200	17,500	0	17,500	7,000	0	0	0	0
足利	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
*会津	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
宇都宮東	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
那須	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
もりおか	14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
仙台広瀬川	15	0	0	0	0	19,500	18,750	0	18,750	0	0	0	0	0
石巻広域	18	5,000	15,000	0	15,000	15,000	22,500	13,144	35,644	0	0	0	5,000	0
東京江東	19	15,200	38,000	0	38,000	24,700	25,073	0	25,073	9,500	9,500	58,200	9,500	0
千葉	14	11,200	28,000	0	28,000	18,200	17,500	0	17,500	7,000	7,000	11,200	7,000	0
東京グリーン	15	12,000	30,000	0	30,000	19,500	18,750	0	18,750	7,500	7,500	12,000	7,500	0
埼玉	8	0	0	0	0	9,100	8,750	0	8,750	0	0	5,600	3,500	0
東京北	7	5,600	14,000	0	14,000	9,100	8,750	0	8,750	4,200	3,500	5,600	3,500	0
所沢	11	8,800	22,000	0	22,000	14,300	13,750	0	13,750	5,500	5,500	8,800	5,500	0
東京ひがし	14	11,200	28,000	0	28,000	18,200	17,500	0	17,500	7,000	7,000	11,200	7,000	0
川越	10	8,000	20,000	0	20,000	13,000	12,500	0	12,500	5,000	5,000	8,000	5,000	0
茨城	9	3,600	9,000	0	9,000	5,850	11,200	0	11,200	2,250	2,250	3,600	2,250	0
東京ベイサイド	15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10,000	0	0
千葉ウェスト	8	6,400	16,000	0	16,000	10,400	10,000	0	10,000	4,000	4,000	6,400	4,000	0
東京	26	10,400	65,100	280	65,380	34,600	35,265	735	36,000	16,100	20,000	22,300	13,150	0
東京むかで	10	4,000	20,000	0	20,000	13,000	12,500	0	12,500	7,000	5,000	8,000	5,000	0
東京世田谷	12	14,400	24,000	0	24,000	15,600	15,000	0	15,000	7,200	6,000	9,600	6,000	0
東京町田コスモス	8	3,200	7,000	0	7,000	7,000	7,000	0	7,000	4,300	3,500	5,600	3,500	0
東京センテニアル	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
東京多摩みなみ	10	13,200	24,000	471	24,471	18,300	15,750	0	15,750	12,100	5,500	8,800	6,500	0
東京町田スマイリング	10	4,000	0	20,100	20,100	0	12,500	0	12,500	6,000	0	0	5,000	0
甲府	32	0	64,000	486	64,486	41,600	40,000	0	40,000	16,000	16,000	25,600	16,000	0
東京西	10	8,800	22,000	304	22,304	16,500	14,750	0	14,750	5,500	5,500	8,800	5,500	0
東京武蔵野多摩	11	8,800	22,000	0	22,000	14,300	13,750	0	13,750	8,250	5,500	8,800	5,500	0
*松本	10	8,000	20,000	0	20,000	13,000	12,500	0	12,500	5,000	5,000	8,000	5,000	0
東京サンライズ	16	14,400	36,000	266	36,266	23,400	22,500	4,718	27,218	9,000	9,000	14,400	9,000	0
甲府21	38	30,400	76,000	857	76,857	49,400	47,500	0	47,500	19,000	19,000	30,400	19,000	0
東京八王子	13	0	26,000	0	26,000	16,900	16,250	0	16,250	0	0	10,400	0	0
東京たんぽぽ	7	5,600	14,000	203	14,203	15,100	15,000	1,323	16,323	8,500	6,500	10,600	3,500	0
*富士五湖	11	0	22,000	107	22,107	14,300	13,750	0	13,750	11,000	0	8,800	5,500	0
*長野	10	8,000	20,000	0	20,000	13,000	12,500	0	12,500	5,000	5,000	8,000	5,000	0
横浜	12	9,600	24,000	0	24,000	15,600	15,000	0	15,000	12,000	6,000	9,600	6,000	0
*沖縄那覇	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鎌倉	8	0	0	0	0	10,400	10,000	0	10,000	4,000	4,000	6,400	4,000	0
横浜とつか	12	0	0	0	0	0	0	0	0	50,000	0	0	0	0
厚木	15	0	0	0	0	10,000	0	0	0	0	0	0	0	0
金沢八景	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
横浜つづき	16	0	32,000	0	32,000	20,800	20,000	0	20,000	8,000	8,000	12,800	8,000	0
*沖縄	15	0	18,000	0	18,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0
横浜つるみ	9	0	0	0	0	0	0	0	0	4,500	4,500	0	0	0
*熱海	44	35,200	88,000	0	88,000	57,200	55,000	0	55,000	22,000	22,000	35,200	22,000	0
*沼津	14	0	26,000	0	26,000	16,900	16,250	0	16,250	6,500	6,500	10,400	6,500	0
*伊東	12	0	26,000	0	26,000	16,900	16,250	0	16,250	6,500	6,500	10,400	6,500	0
*三島	11	0	20,000	0	20,000	13,000	0	0	0	0	0	0	0	0
*下田	6	0	0	0	0	7,800	7,500	0	7,500	0	0	4,800	0	0
*熱海グローリー	13	20,000	20,000	0	20,000	13,000	12,500	0	12,500	5,000	5,000	8,000	5,000	0
*御殿場	21	20,000	0	0	0	0	0	0	0	10,500	0	16,800	0	0
富士	14	0	26,000	0	26,000	0	0	0	0	0	0	10,400	0	0
*富士宮	20	20,000	0	0	0	24,700	23,750	0	23,750	0	0	.	0	0
板村哲也(東京武蔵野多摩)														CHF120
田中博之(東京多摩みなみ)														CHF120
合計	803	362,600	1,012,100	35,374	1,047,474	756,750	760,288	19,920	780,208	356,900	233,250	473,500	254,400	CHF240

東日本区　メネット献金一覧表

［2020年7月～2021年6月］

	クラブ名	期首会員数	国内・絵本	国内・大震災	国際･プロジェクト	国際･登録費	合　　計
北海道部	札幌	8					**0**
	北見	11					**0**
	十勝	18	4,000	3,000	3,000	2,000	**12,000**
	札幌北	9					**0**
(4)	小　　計	46	4,000	3,000	3,000	2,000	**12,000**
北東部	仙台	13	4,000	5,000	2,000	600	**11,600**
	前橋	7					**0**
	宇都宮	31					**0**
	仙台青葉城	14	10,000	5,000	600	400	**16,000**
	足利	1					**0**
	会津	5					**0**
	宇都宮東	8					**0**
	那須	6					**0**
	もりおか	14	20,000	5,000	3,000	1,000	**29,000**
	仙台広瀬川	15	3,000	4,000	3,000	1,000	**11,000**
	石巻広域	18					**0**
(11)	小　　計	132	37,000	19,000	8,600	3,000	**67,600**
関東東部	東京江東	22					**0**
	千葉	14	3,000	3,000	3,000	1,000	**10,000**
	東京グリーン	16	10,000	10,000	5,000	200	**25,200**
	埼玉	8					**0**
	東京北	12	5,000	5,000	3,000	600	**13,600**
	所沢	11					**0**
	東京ひがし	15					**0**
	川越	10	10,000	5,000	5,000	0	**20,000**
	茨城	9	4,000	4,000	2,000	0	**10,000**
	東京ベイサイド	15					**0**
	千葉ウェスト	(8)	3,000	3,000	3,000	1,000	**10,000**
(11)	小　　計	132	35,000	30,000	21,000	2,800	**88,800**
東新部	東京	27	10,000	10,000	5,000	1,000	**26,000**
	東京むかで	12	1,000	1,000	1,000	1,000	**4,000**
	東京世田谷	11					**0**
	東京町田コスモス	8	1,000	1,000	1,000	1,000	**4,000**
	東京センテニアル	8	2,000	2,000	1,000	0	**5,000**
	東京多摩みなみ	12	2,000	2,000	2,000	300	**6,300**
	東京町田スマイリング	10	1,500	0	1,500	0	**3,000**
(7)	小　　計	88	17,500	16,000	11,500	3,300	**48,300**
あずさ部	甲府	33	5,000	5,000	2,000	1,300	**13,300**
	東京西	12	5,000	5,000	0	0	**10,000**
	東京武蔵野多摩	11	1,000	1,000	1,000	0	**3,000**
	松本	10					**0**
	東京サンライズ	19	3,000	3,000	3,000	1,000	**10,000**
	甲府21	38	5,000	5,000			**10,000**
	東京八王子	13	3,000	3,000	3,000	1,000	**10,000**
	東京たんぽぽ	9	3,000	0	2,000	0	**5,000**
	富士五湖	11					**0**
	長野	10					**0**
(10)	小　　計	166	25,000	22,000	11,000	3,300	**61,300**
湘南・沖縄部	横浜	12					**0**
	沖縄那覇	1					**0**
	鎌倉	8					**0**
	横浜とつか	12	6,000				**6,000**
	厚木	15	1,000	1,000	1,000	0	**3,000**
	金沢八景	12					**0**
	横浜つづき	17	10,000	0	0	0	**10,000**
	沖縄	15					**0**
	横浜つるみ	9					**0**
(8)	小　　計	101	17,000	1,000	1,000	0	**19,000**
富士山部	熱海	45	6,000	6,000	6,000	2,000	**20,000**
	沼津	15					**0**
	伊東	18					**0**
	三島	11	2,000	2,000	0	400	**4,400**
	下田	7					**0**
	熱海グローリー	13					**0**
	御殿場	21	5,000	3,000	1,000	1,000	**10,000**
	富士	15					**0**
	富士宮	20					**0**
(9)	小　　計	165	13,000	11,000	7,000	3,400	**34,400**
その他	メネットのつどい						**0**
							0
							0
合　　計		830	**148,500**	**102,000**	**63,100**	**17,800**	**331,400**

THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS
JAPAN EAST REGION 2020-2021

ワイズメネット報

Notes & News

国際会長主題　「価値観、エクステンション、リーダーシップ」
"VALUES, EXTENSION and LEADERSHIP."
アジア太平洋地域会長「変化をもたらそう」　"Make A Difference."
東日本区理事　「変化をたのしもう！」　"Let's enjoy Changes."

2021.10.01 発行　第2号通巻65号

事業主題「ワイズメネットの理解を深めよう ―新たな可能性を求めて」

ワイズメネット委員長 澁谷 実季（所沢）

◇ 事業報告

〔国内プロジェクト〕

・絵本事業は、10YMCAの57施設に284冊をお届けいたしました。
北海道YMCA1施設、盛岡YMCA4施設、仙台YMCA13施設、栃木YMCA3施設、
茨　城YMCA3施設、山梨YMCA9施設、東京YMCA5施設、横浜YMCA15施設、
千　葉YMCA1施設、埼玉YMCA3施設

・東日本大震災支援について、次年度に贈呈先を検討いたします。

〔国際プロジェクト〕

・TOFプロジェクト費、国際登録費を国際本部へ送金いたしました。

〔未開催のもの〕

・ワイズメネットのつどい及びワイズメネットアワーは、コロナ禍のために開催できませんでした。

◇ 献金報告

〔国内プロジェクト〕絵本事業148,500円　東日本大震災102,000円
〔国際プロジェクト〕TOF支援 63,100円　国際登録費 17,800円
総額331,400円の献金を拝領いたしました。

◇ 総評

今年一年コロナ禍の影響を大きく受け、対面で何かをするということは叶わず、ワイズメネット委員会としての活動が滞ってしまいましたことをお詫びいたします。委員会のメインであるワイズメネットのつどいについても、委員長の力不足もあり開催に辿りつくことができませんでした。次期も引き続き委員長となります。最新のZoomなどを駆使して、ワイズメネットの皆さまとお会いする機会を設けたいと思います。

ワイズメネット委員会に連なってくださった委員のみなさま、ワイズメンズクラブに連なるみなさま、ワイズメネット委員会をお覚えいただきたくさんの献金をお送りいただき感謝いたします。

1年間ありがとうございました。